

富岡町 住民意向調査 報告書

令和2年3月

復興庁
福島県
富岡町

富岡町 住民意向調査

報告書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問 11（1））	7
2-1-2 世帯人数（問 4・問 8）	7
2-1-3 現在の居住地域（問 7）	8
2-1-4 現在の住居形態（問 9）	8
2-1-5 世帯の分散状況（問 10）	9
2-2 将来の意向	10
2-2-1 富岡町への帰還意向（問 12）	10
2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由（問 13）	11
2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じている こと（問 14）	12
2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族（問 15）	12
2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し（問 16）	13
2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態（問 18）	13
2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（問 19）	14
2-2-8 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に 必要な施策（問 20）	15
2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと（問 22）	16
2-2-10 富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、 帰還しない理由（問 21・問 24）	17
2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（問 23・問 25）	18

2-2-12	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 (問 23-1・問 25-1)	19
2-2-13	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域 (問 26)	19
2-2-14	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する住居形態 (問 27)	20
2-2-15	富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために 必要な施策 (問 28)	20
III	調査結果	21
3-1	回答者の属性	23
3-1-1	性別	23
3-1-2	年齢	23
3-2	東日本大震災発生時の状況	24
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	24
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	25
3-2-3	震災発生当時の住まいの住居形態	25
3-2-4	震災発生当時の職業 (就業形態)	26
3-2-5	震災発生当時の業種	27
3-2-6	震災発生当時の勤務先の場所	28
3-3	現在の状況	29
3-3-1	現在の居住地域	29
3-3-2	現在の世帯構成・人数	29
3-3-3	現在の住居形態	30
3-3-4	世帯の分散状況	30
3-3-5	世帯が分散して住まざるを得なかった理由	31
3-3-6	現在の職業 (就業形態)	32
3-3-7	現在の業種	33
3-4	将来の意向	34
3-4-1	富岡町への帰還意向	34
3-4-2	富岡町への帰還を決めた理由	37
3-4-3	富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること	38
3-4-4	富岡町内の買い物環境で充実させてほしいもの	39
3-4-5	生涯学習機会希望するもの	40
3-4-6	雇用確保の支援として希望する施策	41
3-4-7	医療環境の拡充として立地を希望する医療機関・診療科	42
3-4-8	介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設	43
3-4-9	保育・教育環境として希望する支援や施設設備	44

3-4-10	現在の見守り活動についての考え	45
3-4-11	富岡町へ帰還する場合の家族	46
3-4-12	富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し	46
3-4-13	富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所	47
3-4-14	富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種	47
3-4-15	富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種	48
3-4-16	富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態	48
3-4-17	富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態	49
3-4-18	富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由	49
3-4-19	富岡町が整備した災害公営住宅・借上型町営住宅のうち 希望する団地	50
3-4-20	富岡町へ帰還する場合に必要な施策	50
3-4-21	富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間） に必要な施策	51
3-4-22	富岡町への帰還の判断がつかない理由	52
3-4-23	富岡町への帰還を判断するために必要なこと	53
3-4-24	富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種	54
3-4-25	富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所	54
3-4-26	富岡町へ戻った場合に希望する就労形態	55
3-4-27	富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔まだ帰還の判断がつかない方〕	55
3-4-28	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔まだ帰還の判断がつかない方〕	56
3-4-29	富岡町に帰還できない・帰還しない理由	57
3-4-30	富岡町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還できない方、帰還しない方〕	58
3-4-31	富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還できない方、帰還しない方〕	59
3-4-32	富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域	59
3-4-33	富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する 住居形態	60
3-4-34	富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするため に必要な施策	60
3-5	復興公営住宅	61
3-5-1	福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向	61
3-5-2	入居を希望する復興公営住宅の立地市町村	61

3-6	情報入手	62
3-6-1	富岡町からの情報の入手経路	62
3-6-2	行政から欲しい情報	62
3-7	意見・要望	63
3-7-1	意見に係る記入内容の分類結果	64
3-7-2	生活について	65
3-7-3	震災発生前の居住地について	67
3-7-4	賠償について	69
3-7-5	帰還について	70
3-7-6	避難期間中及び将来の住宅について	72
3-7-7	除染について	74
3-7-8	復旧・復興について	76
3-7-9	原発の安全性について	78
3-7-10	原発事故に対する対応について	79
3-7-11	その他	81
IV	●考資料	83
4-1	使用調査票	85

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた富岡町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	富岡町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 6,612 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和元年8月26日（月）～令和元年9月9日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、富岡町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 2,932世帯（有効回収率44.3%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

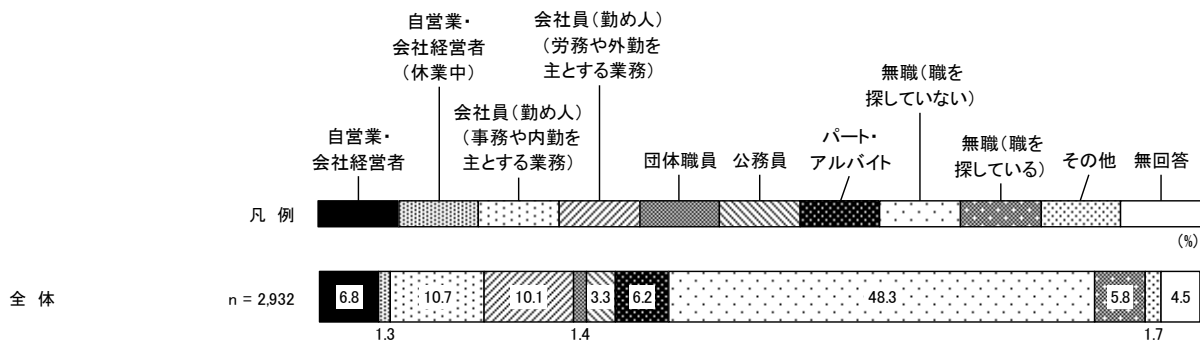
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問11（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が10.7%、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」10.1%と高くなっている。

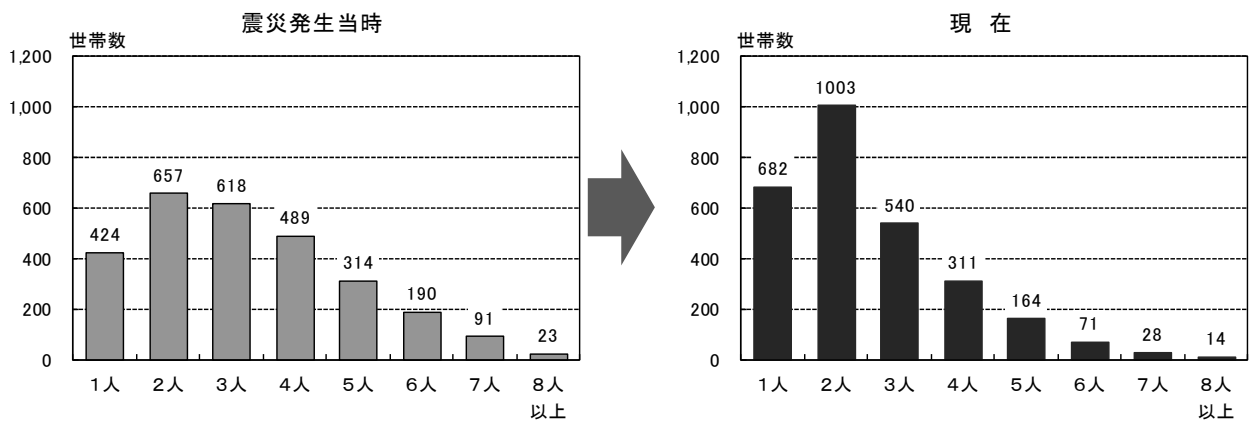
<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>



2-1-2 世帯人数（問4・問8）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が657世帯と最も多く、次いで「3人」が618世帯、「4人」が489世帯となっている。
現在の世帯人数は、「2人」が1003世帯と最も多く、次いで「1人」が682世帯、「3人」が540世帯となっている。

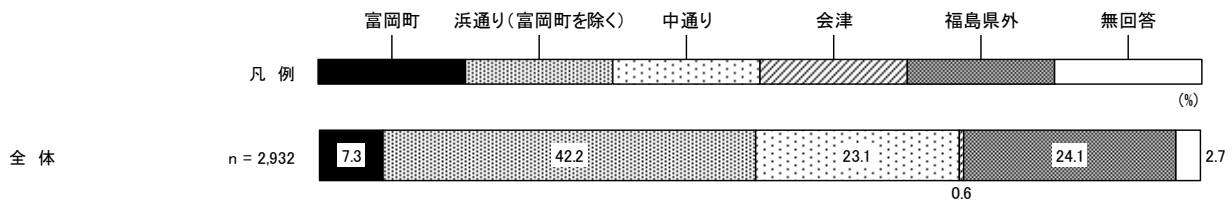
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 現在の居住地（問7）

現在の居住地については、「浜通り（富岡町を除く）」が42.2%と最も高く、次いで「福島県外」が24.1%、「中通り」が23.1%となっている。

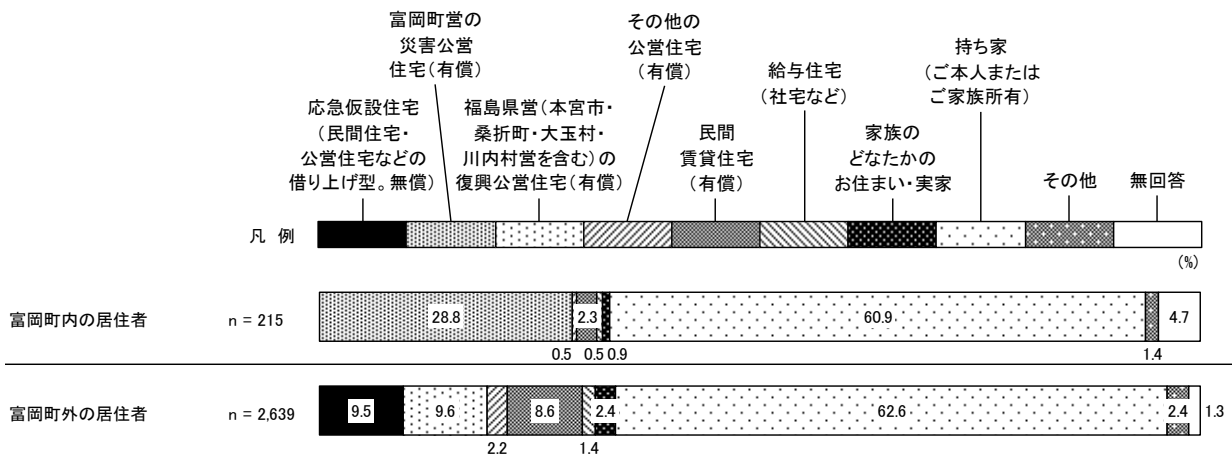
<図表2-1-3 現在の居住地>



2-1-4 現在の住居形態（問9）

現在の住居形態について、富岡町内の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が60.9%と最も高く、次いで「富岡町営の災害公営住宅（有償）」が28.8%となっている。
 富岡町外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が62.6%と最も高く、次いで「福島県営（本宮市・桑折町・大玉村・川内村営を含む）の復興公営住宅（有償）」が9.6%、「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が9.5%となっている。

<図表2-1-4 現在の住居形態（現在の居住地別）>

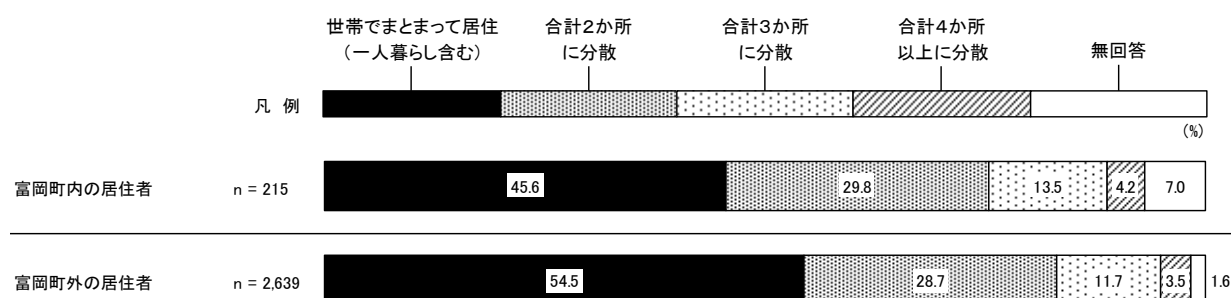


2-1-5 世帯の分散状況（問 10）

世帯の分散状況について、富岡町内の居住者では「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が45.6%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が29.8%、「合計3か所に分散」が13.5%となっている。

富岡町外の居住者では「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が54.5%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が28.7%、「合計3か所に分散」が11.7%となっている。

<図表2-1-5 世帯の分散状況（現在の居住地域別）>



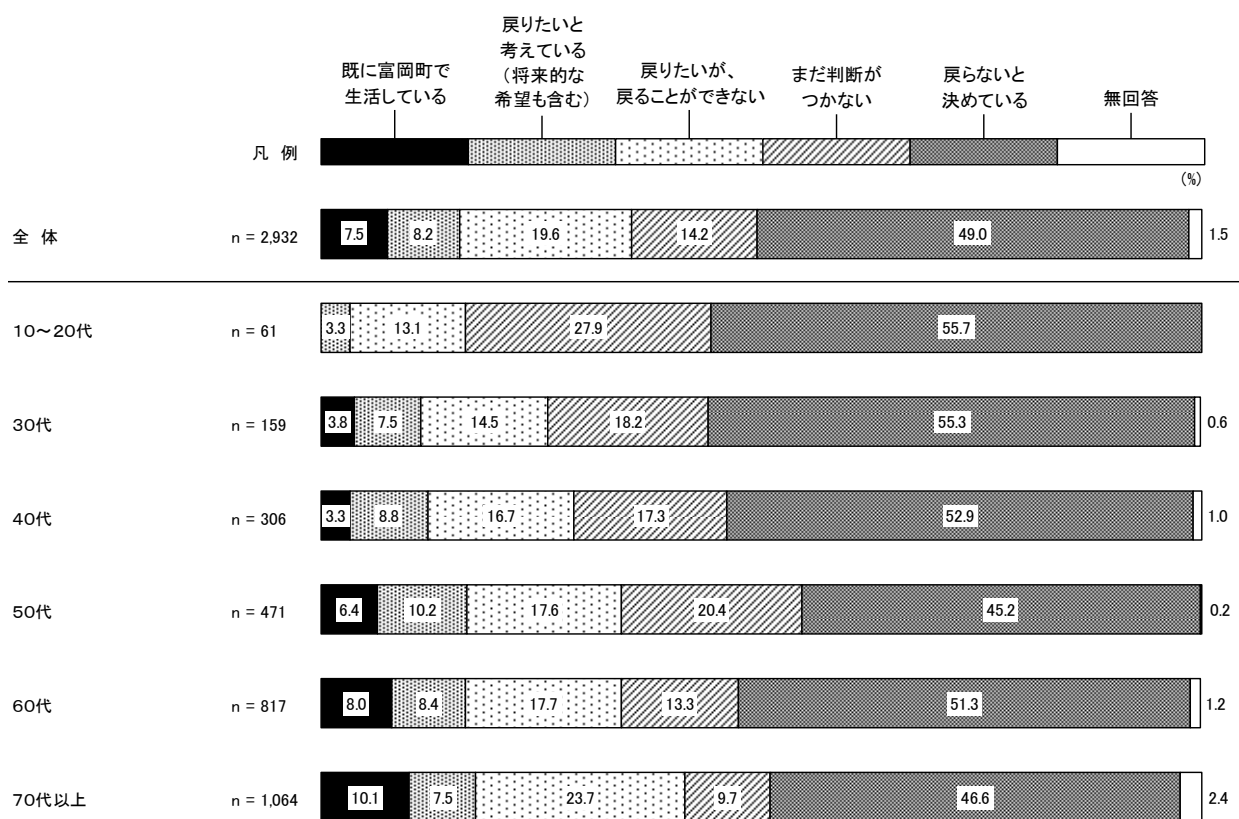
2-2 将来の意向

2-2-1 富岡町への帰還意向（問 12）

富岡町への帰還意向については、「既に富岡町で生活している」（7.5%）、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」（8.2%）、「戻りたいが、戻ることができない」（19.6%）をあわせると、富岡町への帰還意向のある人は 35.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、富岡町への帰還意向のある人は高年齢層ほど高く、70代以上では 41.3%となっている。一方、「戻らないと決めている」は、10～20代で 55.7%、30代で 55.3%、40代で 52.9%、60代で 51.3%と過半数を占めている。

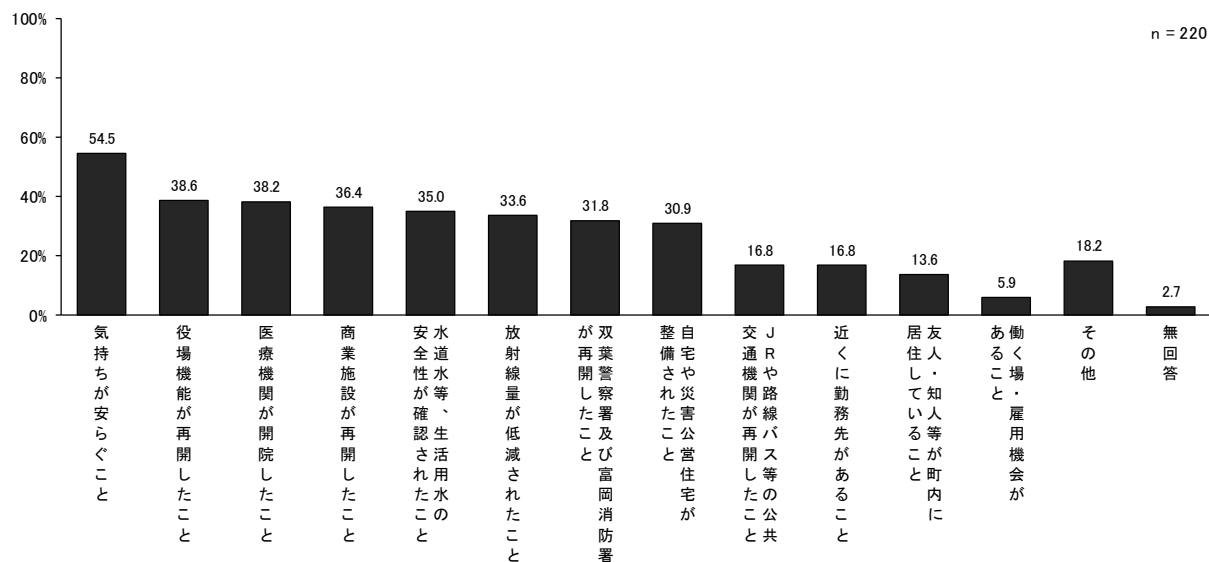
<図表 2-2-1 富岡町への帰還意向（年齢別）>



2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由（問 13）

富岡町への帰還を決めた理由については、「気持ちが安らぐこと」が54.5%と最も高く、次いで「役場機能が再開したこと」が38.6%、「医療機関が開院したこと」が38.2%となっている。

<図表2-2-2 富岡町への帰還を決めた理由>

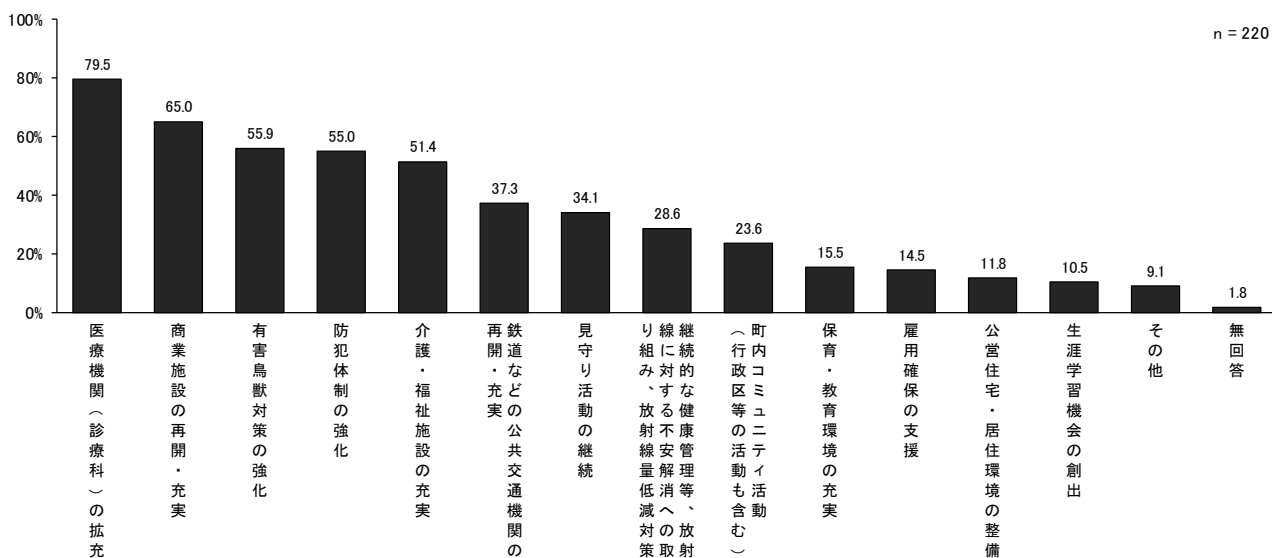


※問 12 で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること（問 14）

富岡町内での今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関（診療科）の拡充」が79.5%と最も高く、次いで「商業施設の再開・充実」が65.0%、「有害鳥獣対策の強化」が55.9%となっている。

<図表2-2-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること>

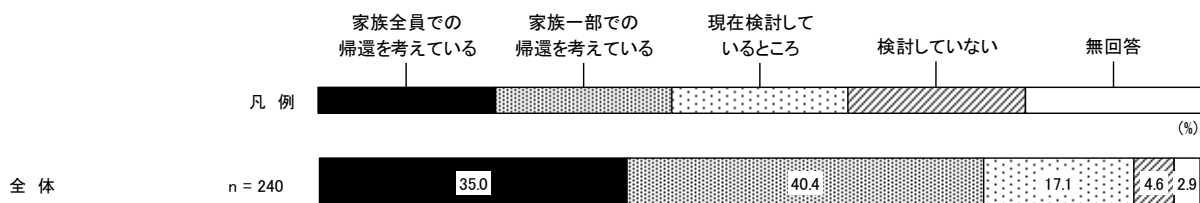


※問 12 で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ
※複数回答可

2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族（問 15）

富岡町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が40.4%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が35.0%、「現在検討しているところ」が17.1%となっている。

<図表2-2-4 富岡町へ帰還する場合の家族>

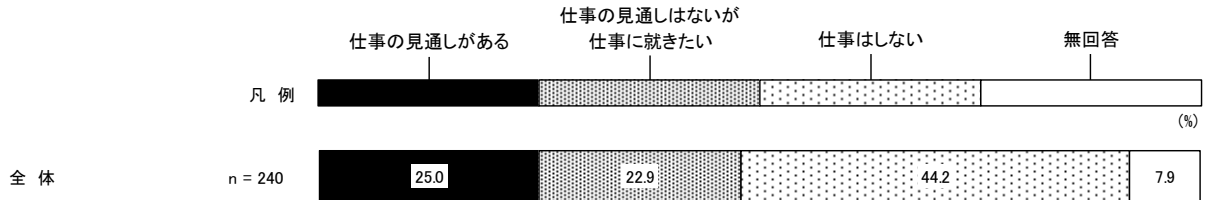


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し（問 16）

富岡町へ帰還した場合の仕事の見通しについては、「仕事の見通しがある」が25.0%、「仕事の見通しはないが仕事に就きたい」が22.9%、「仕事はしない」が44.2%となっている。

<図表2-2-5 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し>

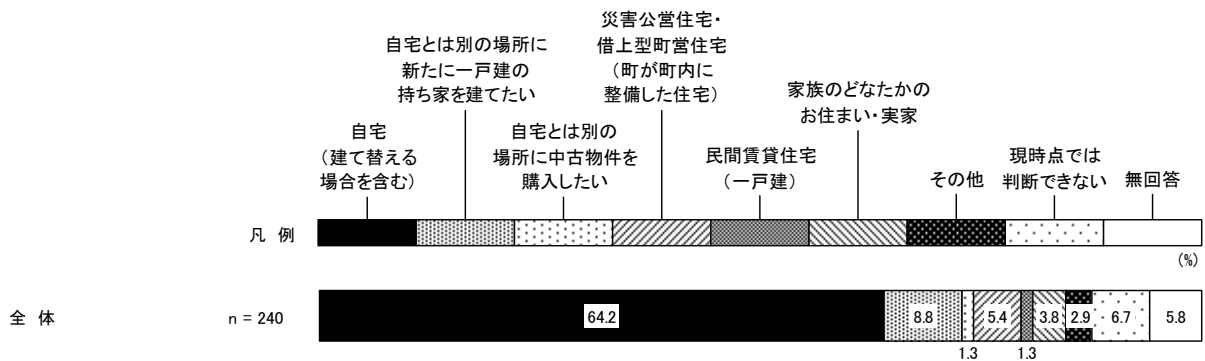


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態（問 18）

富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態については、「自宅（建て替える場合を含む）」が64.2%と最も高く、次いで「自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」が8.8%、「災害公営住宅・借上型町営住宅（町が町内に整備した住宅）」が5.4%となっている。

<図表2-2-6 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態>

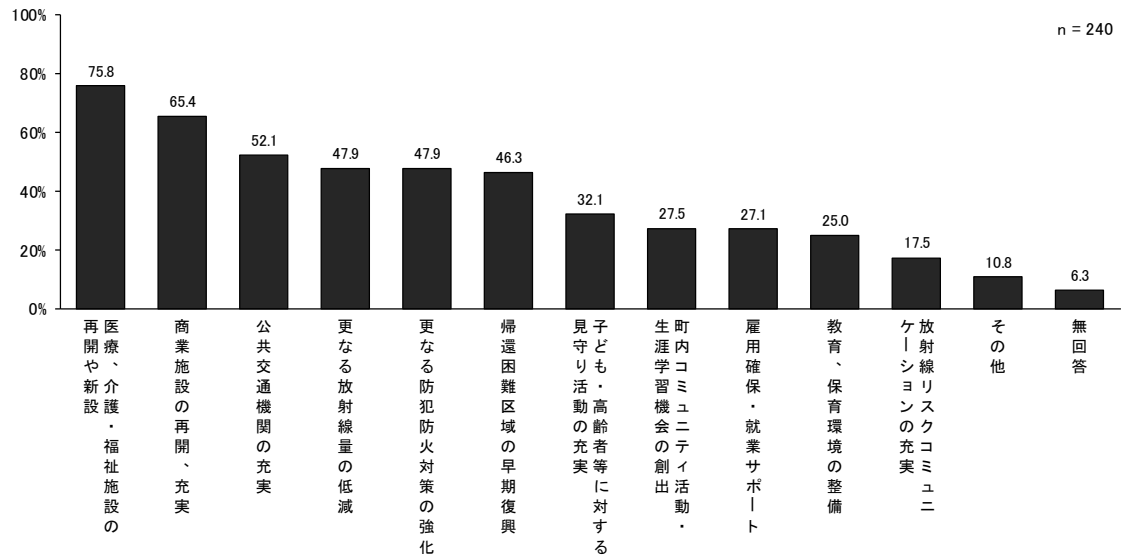


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策（問 19）

富岡町へ帰還する場合に必要な施策については、「医療、介護・福祉施設の再開や新設」が75.8%と最も高く、次いで「商業施設の再開、充実」が65.4%、「公共交通機関の充実」が52.1%となっている。

<図表2-2-7 富岡町へ帰還する場合に必要な施策>

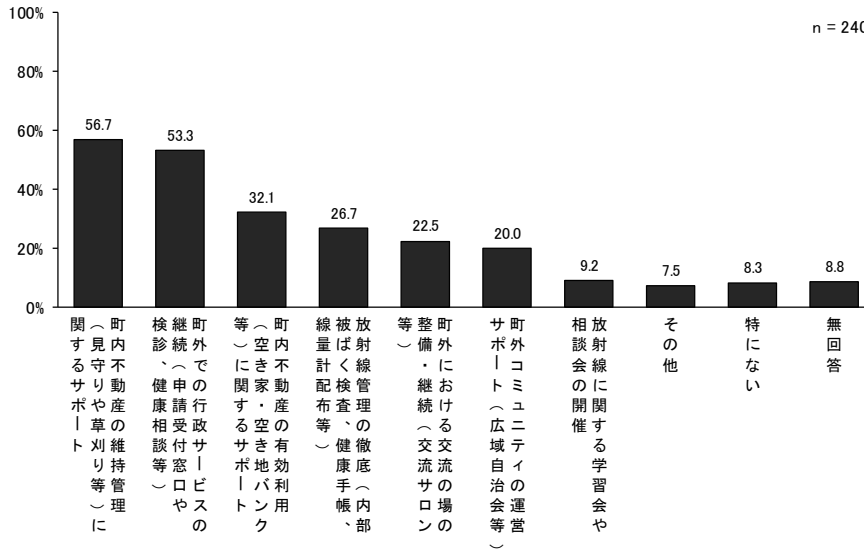


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-8 富岡町へ帰還するまで(避難生活を継続している期間)に必要な施策(問20)

富岡町へ帰還するまで(避難生活を継続している期間)に必要な施策については、「町内不動産の維持管理(見守りや草刈り等)に関するサポート」が56.7%と最も高く、次いで「町外での行政サービスの継続(申請受付窓口や検診、健康相談等)」が53.3%、「町内不動産の有効利用(空き家・空き地バンク等)に関するサポート」が32.1%となっている。

<図表2-2-8 富岡町へ帰還するまで(避難生活を継続している期間)に必要な施策>

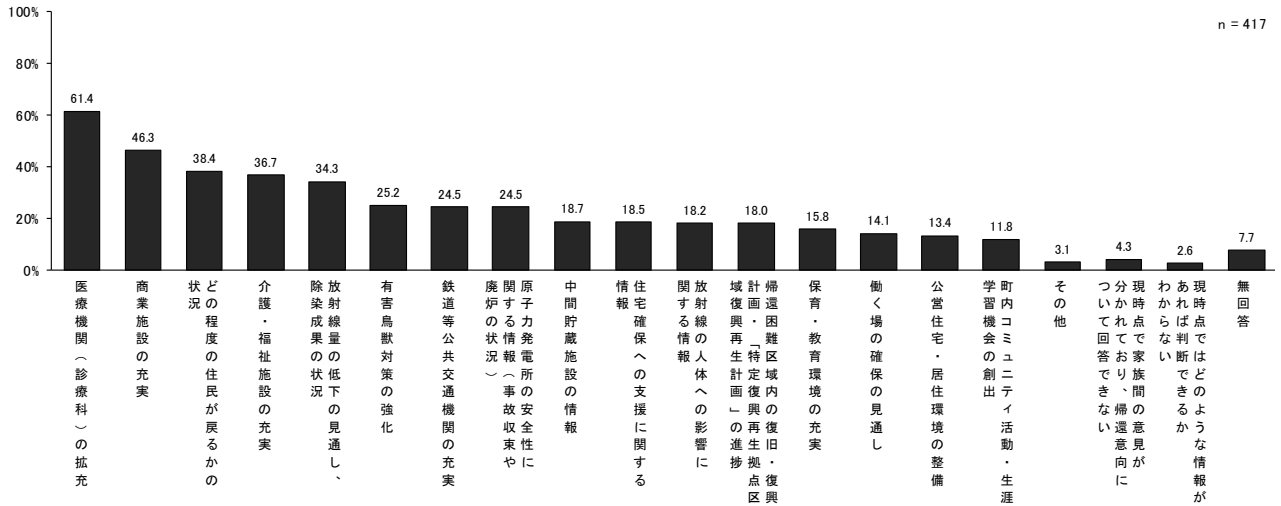


※問12で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと（問 22）

富岡町への帰還を判断するために必要なことについては、「医療機関（診療科）の拡充」が61.4%と最も高く、次いで「商業施設の充実」が46.3%、「どの程度の住民が戻るかの状況」が38.4%となっている。

<図表2-2-9 富岡町への帰還を判断するために必要なこと>



※問 12 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※複数回答可

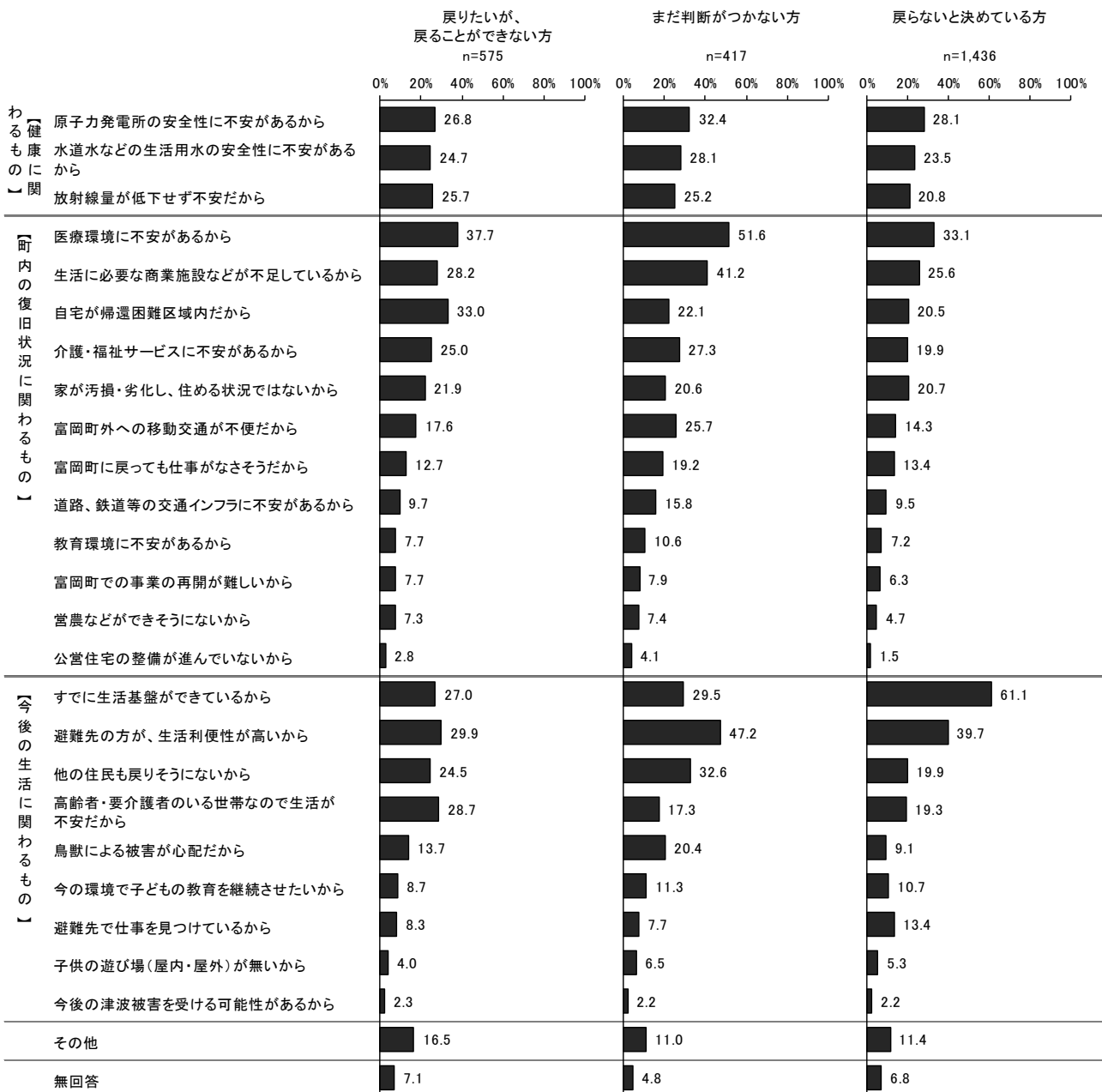
2-2-10 富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由 (問21・問24)

富岡町への帰還について、帰還ができない理由は、「医療環境に不安があるから」が37.7%と最も高く、次いで「自宅が帰還困難区域内だから」が33.0%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が29.9%となっている。

帰還の判断がつかない理由は、「医療環境に不安があるから」が51.6%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が47.2%、「生活に必要な商業施設などが不足しているから」が41.2%となっている。

帰還しない理由は、「すでに生活基盤ができてきているから」が61.1%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が39.7%、「医療環境に不安があるから」が33.1%となっている。

<図表2-2-10 富岡町への帰還ができない、帰還の判断がつかない、帰還しない理由(富岡町への帰還意向別)>



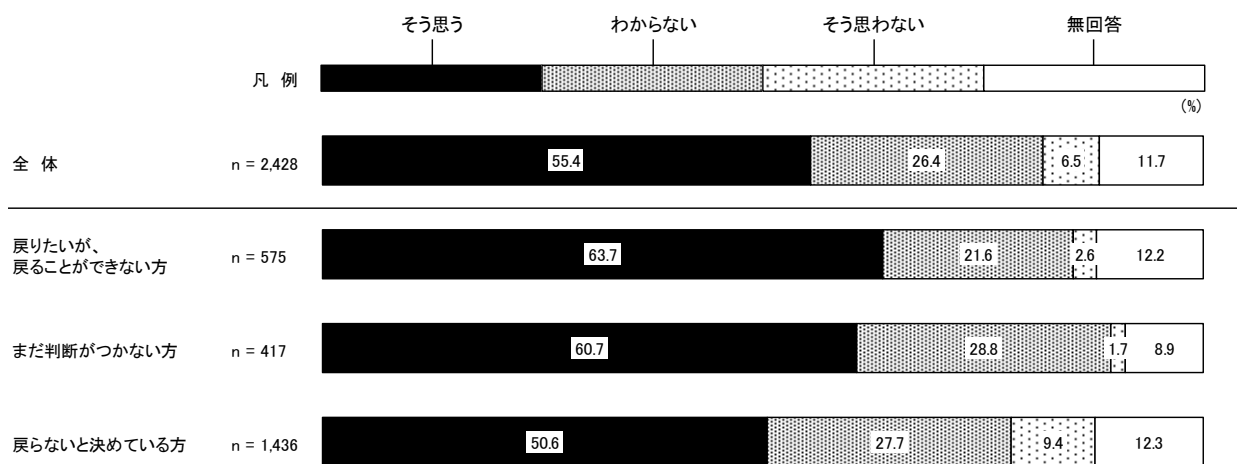
※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（問 23・問 25）

富岡町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が55.4%、「わからない」が26.4%、「そう思わない」が6.5%となっている。

帰還意向別に「そう思う」の割合をみると、戻りたいが、戻ることができない方では63.7%、まだ判断がつかない方では60.7%と、ともに6割以上となっているが、戻らないと決めている方では50.6%となっている。

<図表2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（富岡町への帰還意向別）>

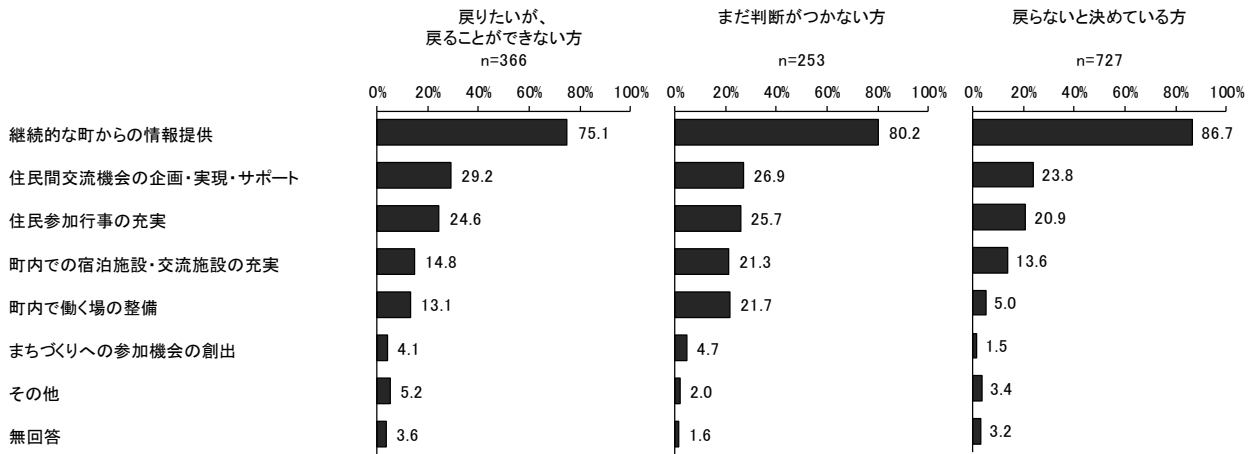


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（問 23-1・問 25-1）

富岡町との「つながり」を保つために必要な施策については、どの帰還意向の方においても「継続的な町からの情報提供」が7割以上と最も高く、「住民間交流機会の企画・実現・サポート」と「住民参加行事の充実」が2割以上となっている。また判断がつかない方においては、「町内での働く場の整備」「町内での宿泊施設・交流施設の充実」も2割以上となっている。

<図表2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（富岡町への帰還意向別）>

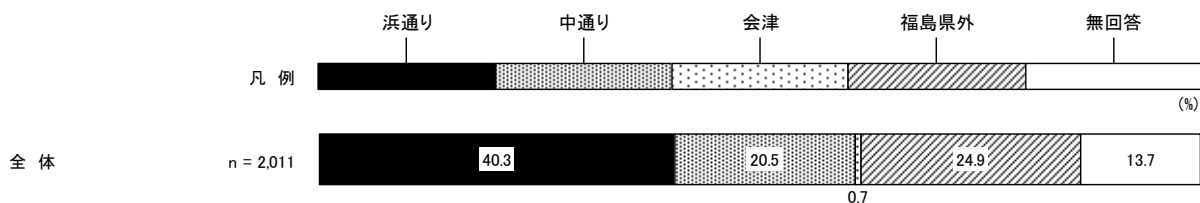


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-13 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域（問 26）

富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域については、「浜通り」が40.3%と最も高く、次いで「福島県外」が24.9%、「中通り」が20.5%となっている。

<図表2-2-13 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域>

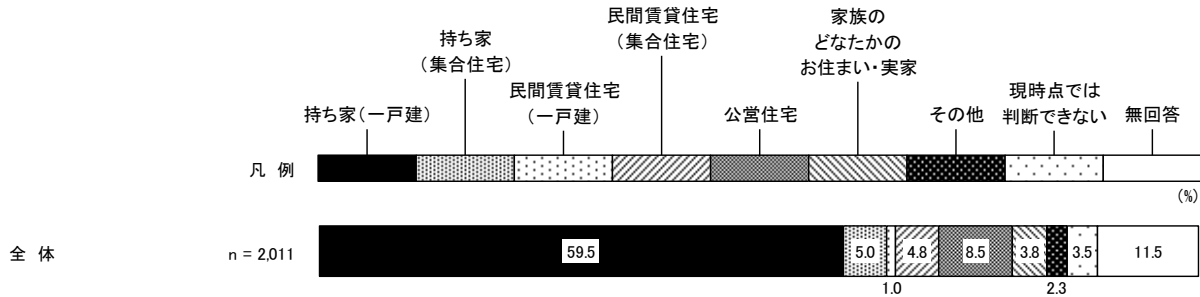


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-14 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する住居形態（問 27）

富岡町に帰還しない場合に居住を希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が 59.5%と最も高く、他の住居形態はいずれも 1 割未満となっている。

＜図表 2-2-14 帰還しない場合に居住を希望する住居形態＞

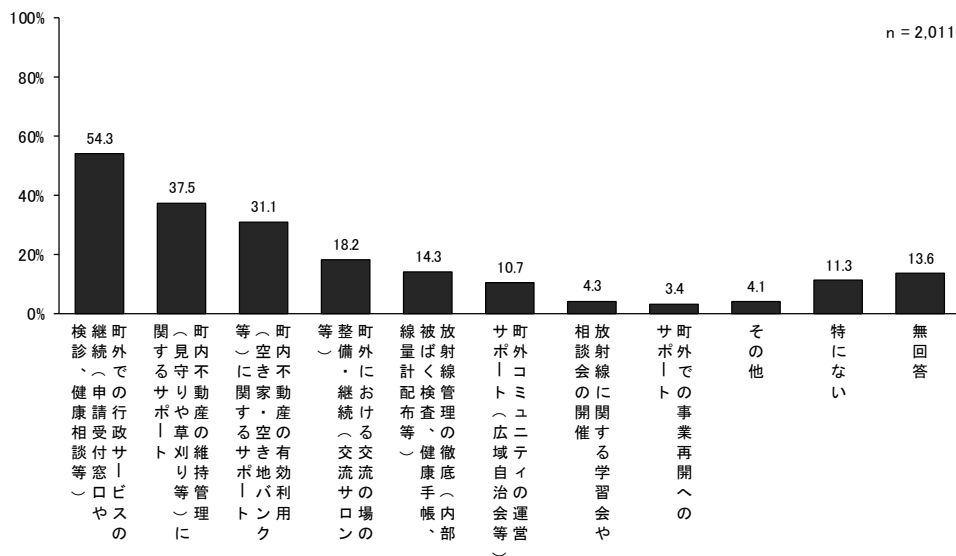


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-15 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策(問 28)

富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策については、「町外での行政サービスの継続（申請受付窓口や検診、健康相談等）」が 54.3%と最も高く、次いで「町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）」に関するサポートが 37.5%、「町内不動産の有効利用（空き家・空き地バンク等）」に関するサポートが 31.1%となっている。

＜図表 2-2-15 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策＞



※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

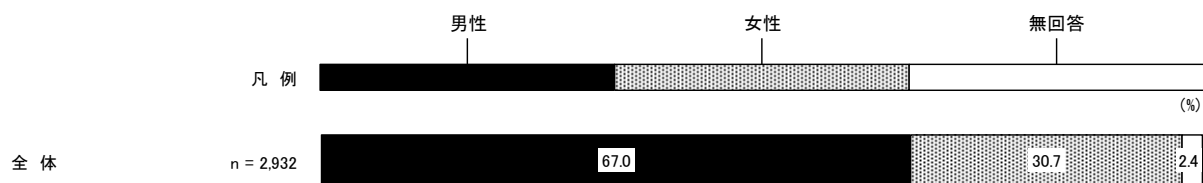
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 性別を教えてください。(〇は1つ)

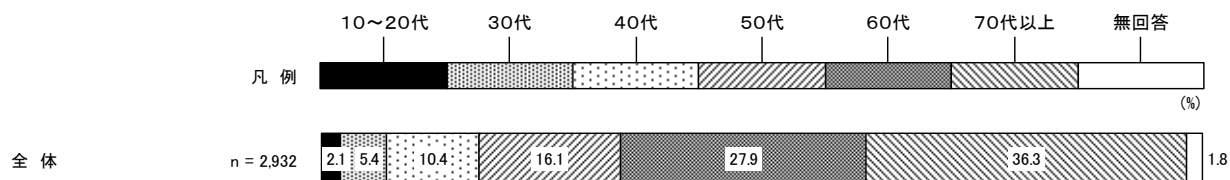
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-1-2 年齢>

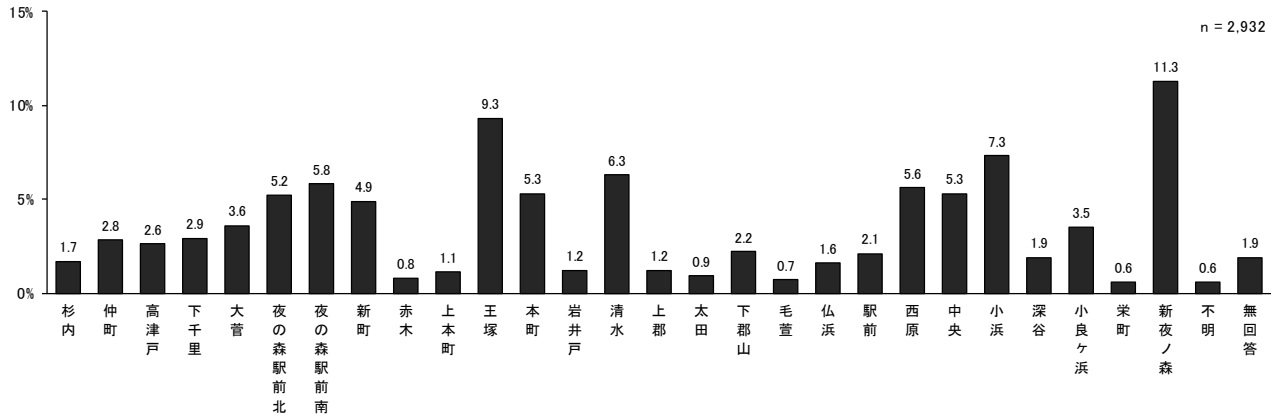


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

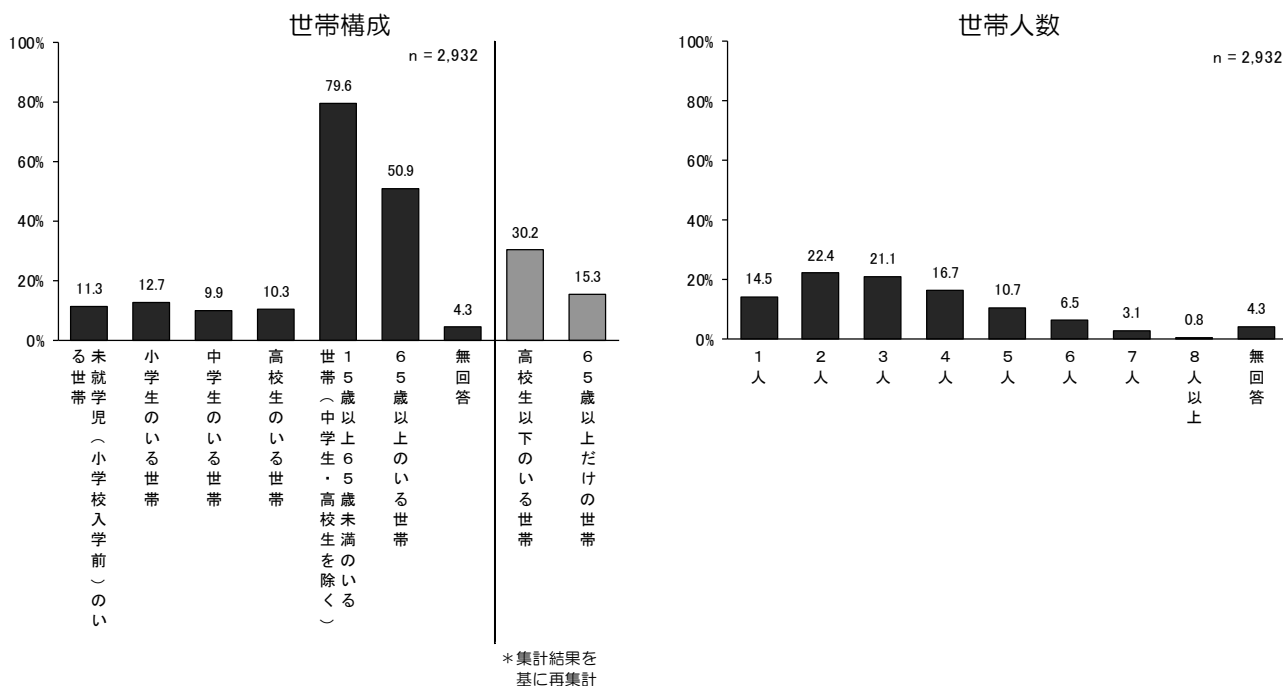
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、震災発生当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

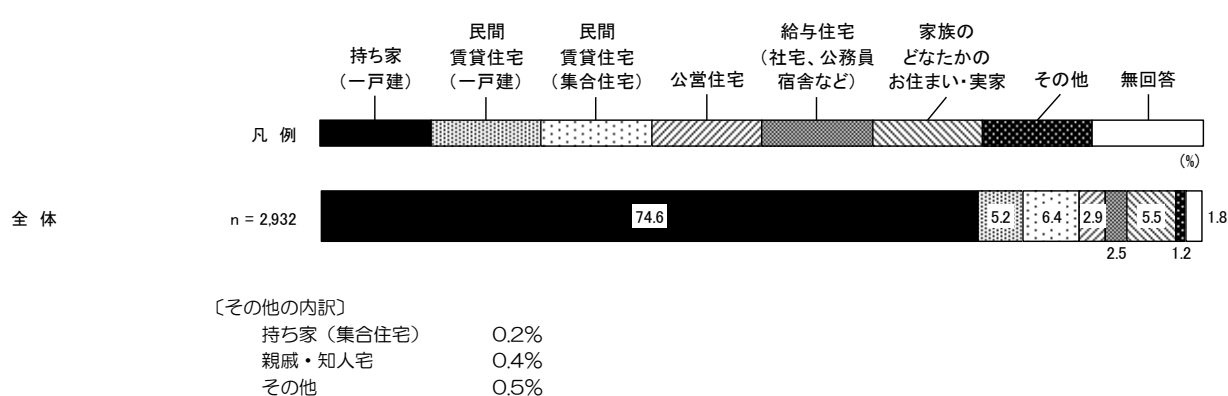
<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-2-3 震災発生当時の住まいの住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

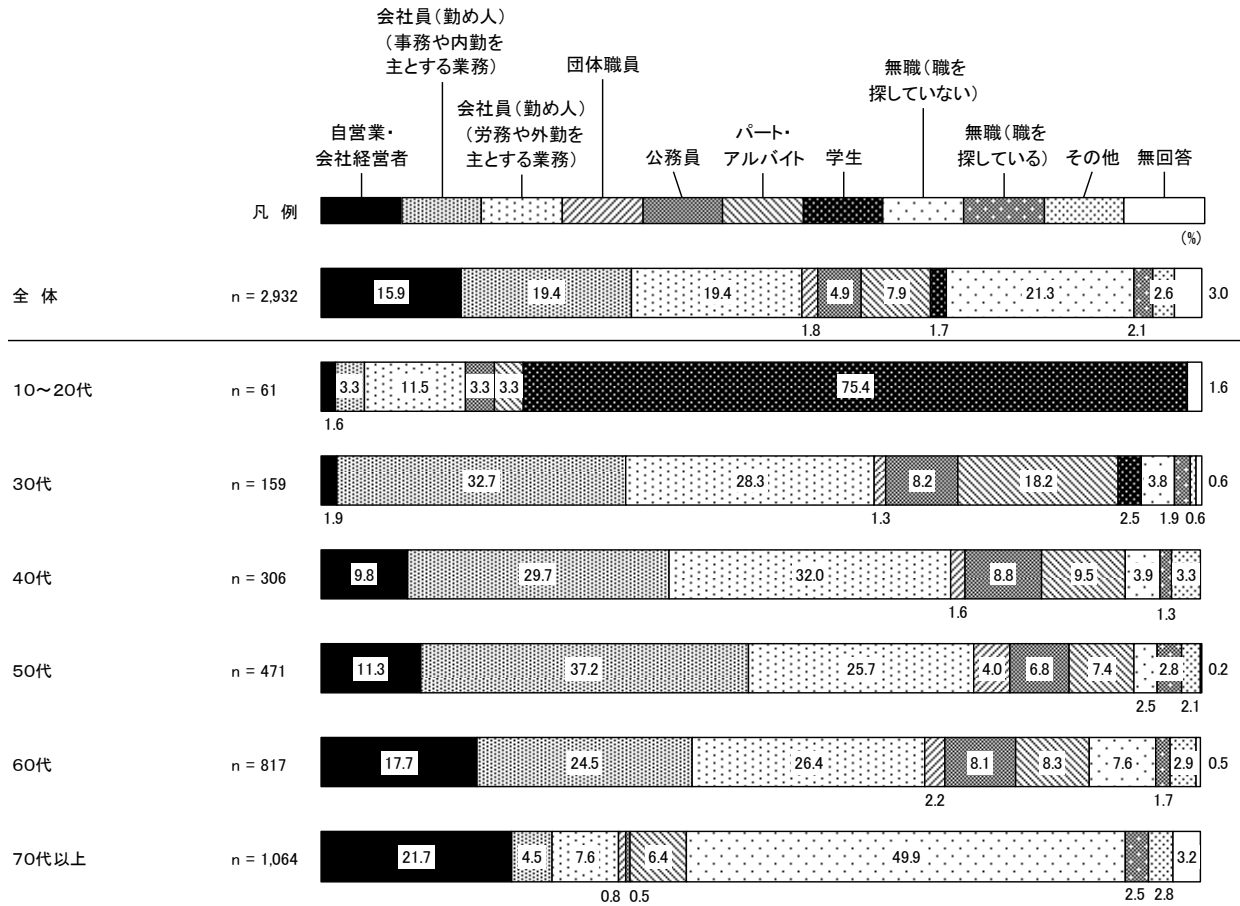
<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



3-2-4 震災発生当時の職業（就業形態）

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。
 (1) 震災発生当時のあなたの職業（就業形態）(〇は1つ)

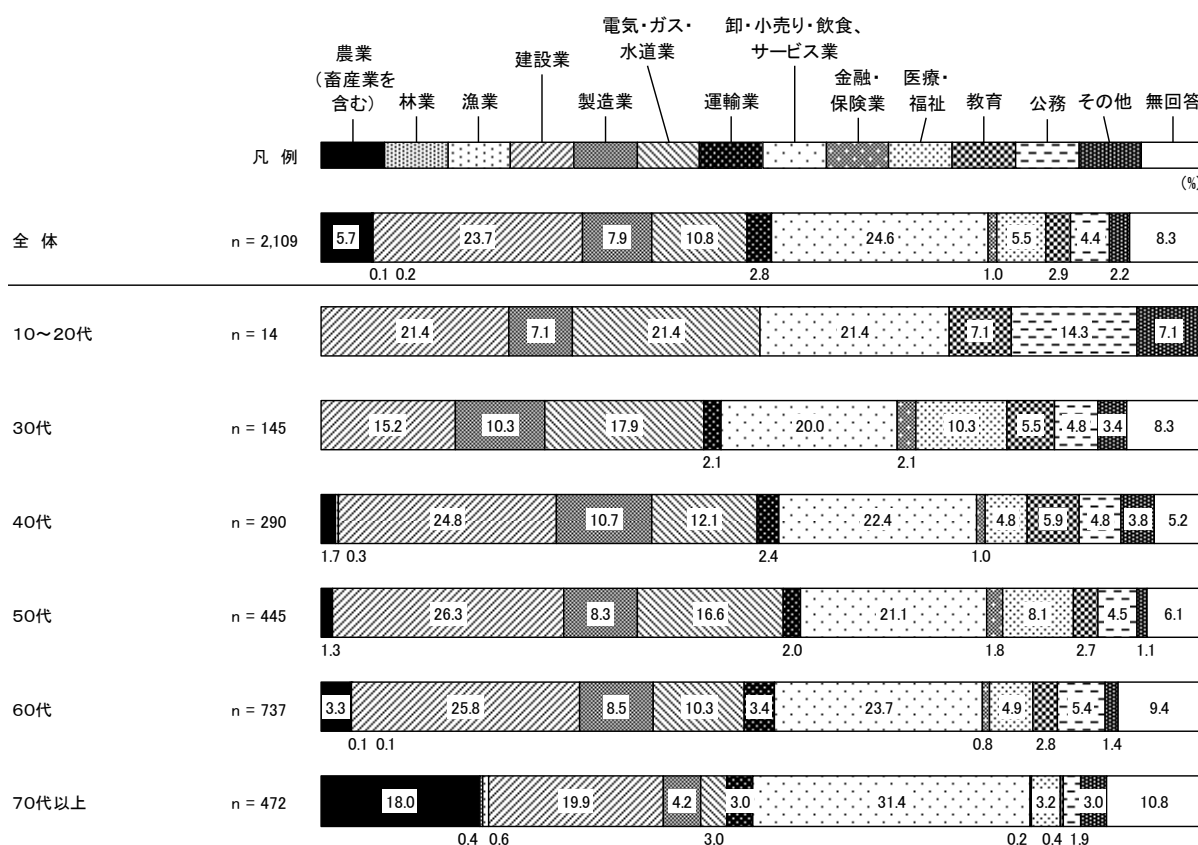
<図表3-2-4 震災発生当時の職業（就業形態）（年齢別）>



3-2-5 震災発生当時の業種

【就業していた方（問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）に伺います。】
 問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。
 （2） 震災発生当時のあなたの業種（〇は1つ）

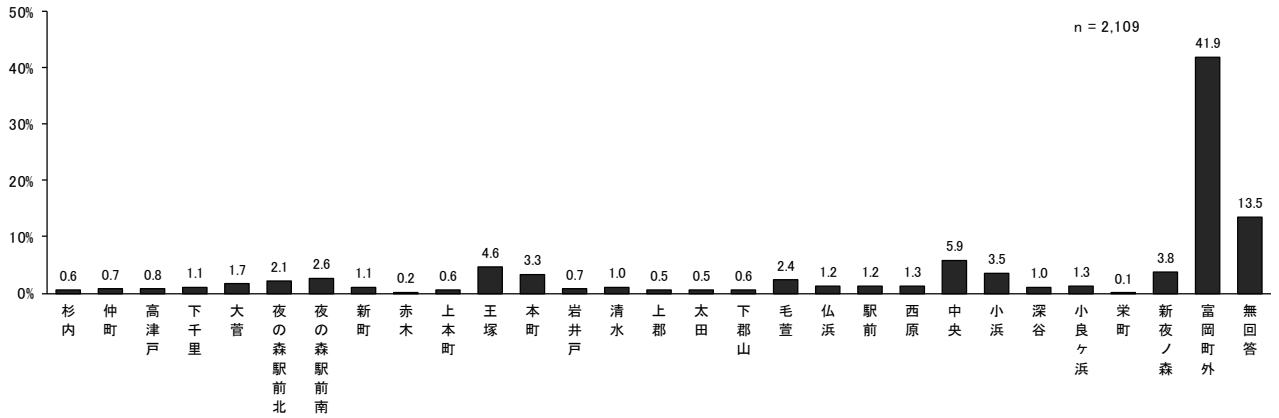
< 図表3-2-5 震災発生当時の業種（年齢別） >



3-2-6 震災発生当時の勤務先の場所

【就業していた方（問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）に伺います。】
 問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。
 （3）震災発生当時の勤務先の場所（〇は1つ）

<図表3-2-6 震災発生当時の勤務先の場所>

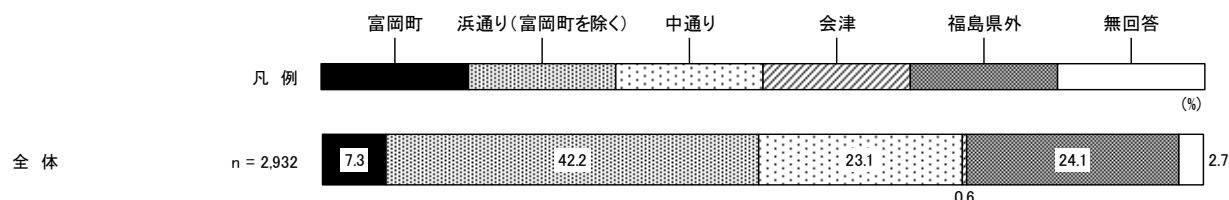


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住地

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(〇は1つ)

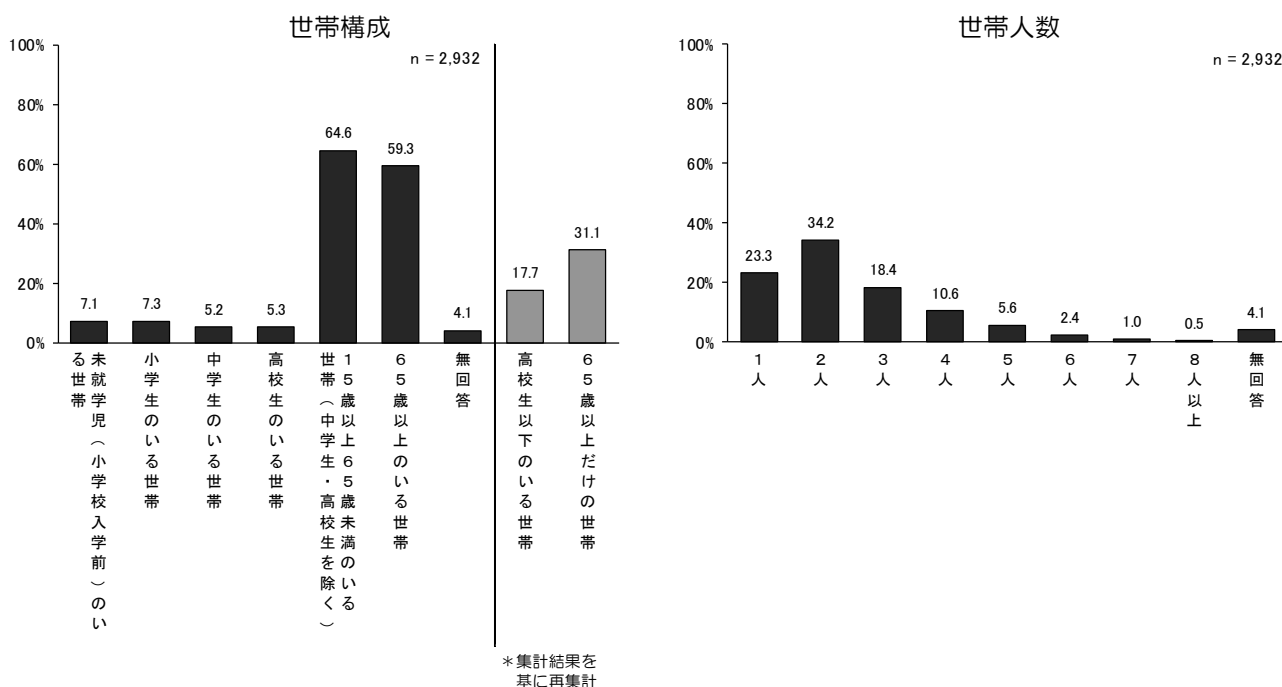
<図表3-3-1 現在の居住地>



3-3-2 現在の世帯構成・人数

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

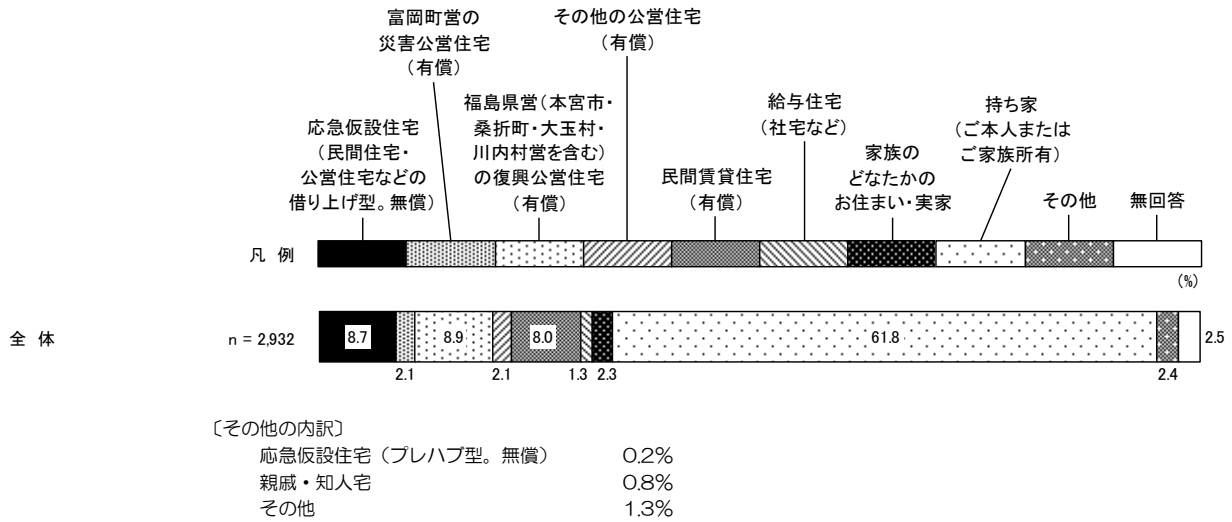
<図表3-3-2 現在の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の住居形態

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

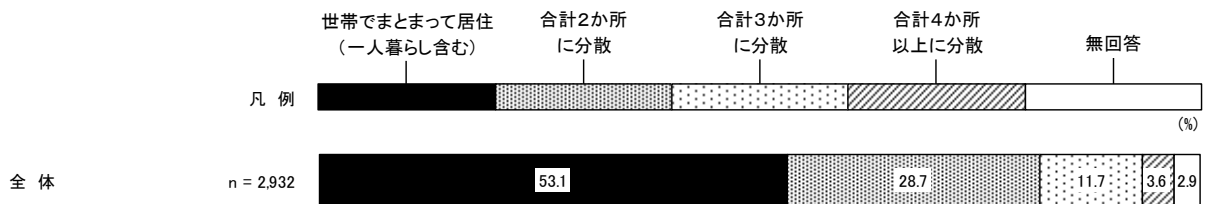
<図表3-3-3 現在の住居形態>



3-3-4 世帯の分散状況

問10 震災発生当時一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(〇は1つ)

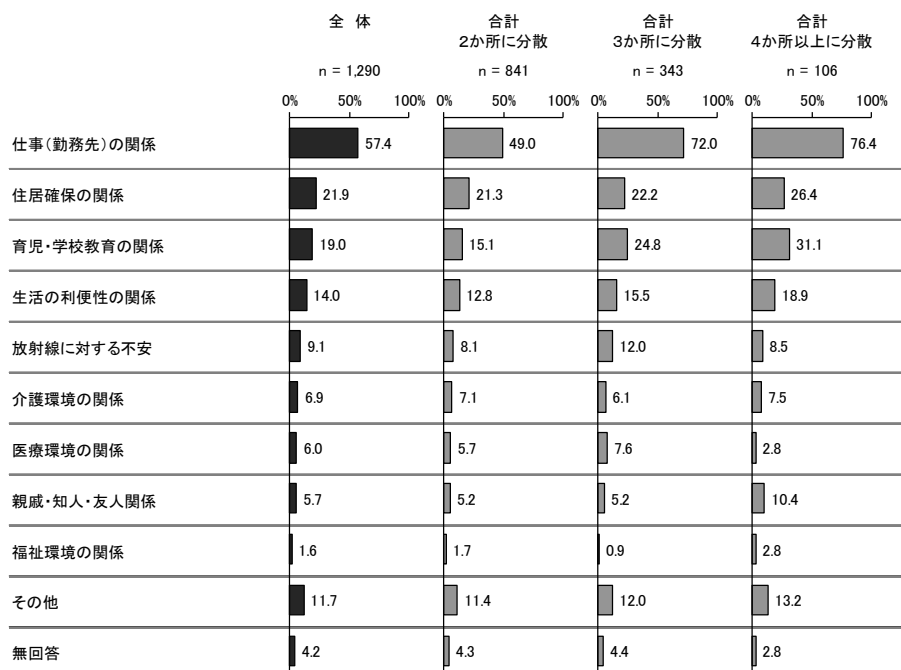
<図表3-3-4 世帯の分散状況>



3-3-5 世帯が分散して住まざるを得なかった理由

【分散してお住まいになられている方（問10で「2」から「4」と回答した方）に伺います。】
 問10-1 分散してお住まいにならざるを得なかった理由は何ですか。（〇は3つまで）

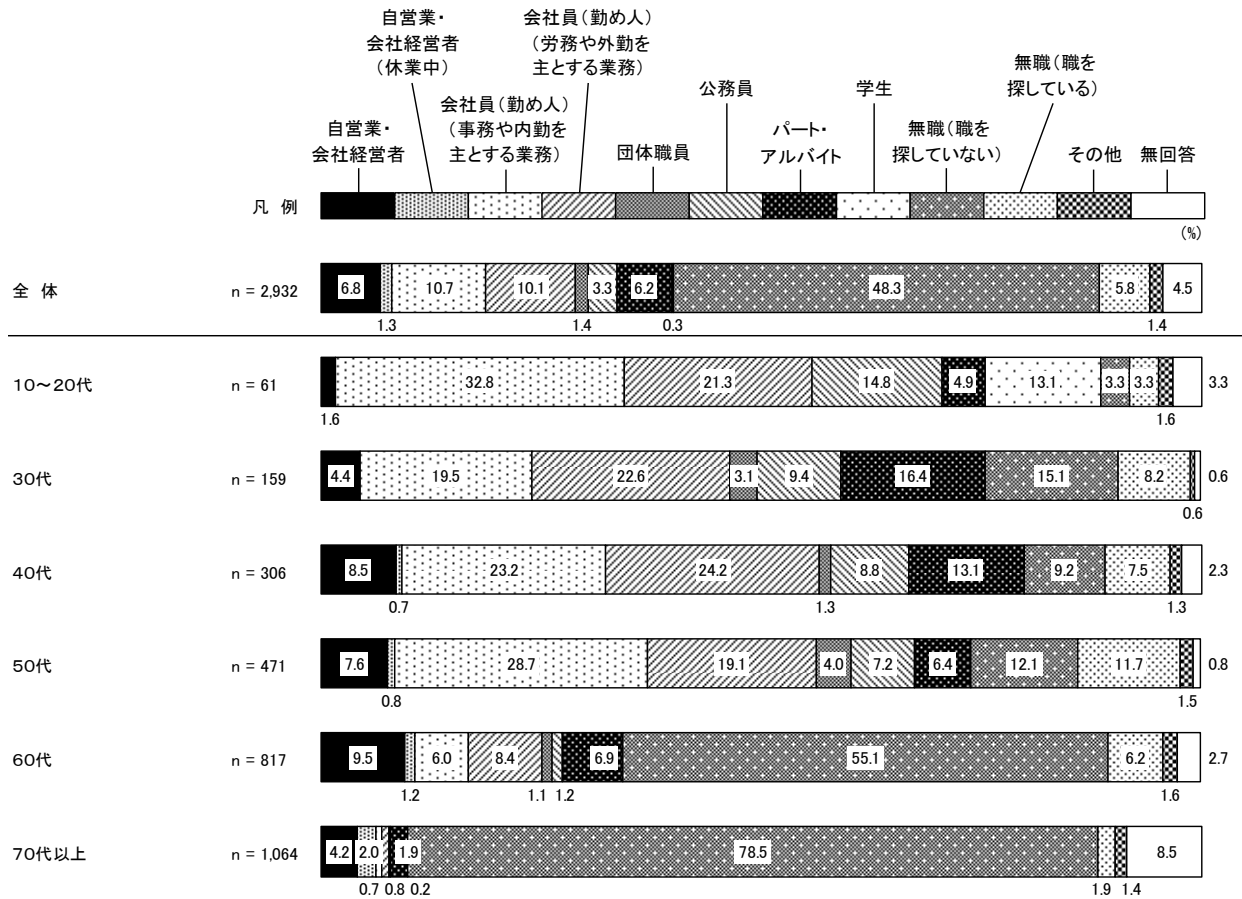
<図表3-3-5 世帯が分散して住まざるを得なかった理由（分散か所数別）>



3-3-6 現在の職業（就業形態）

問 11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。
 (1) 現在のあなたの職業（就業形態）(〇は1つ)

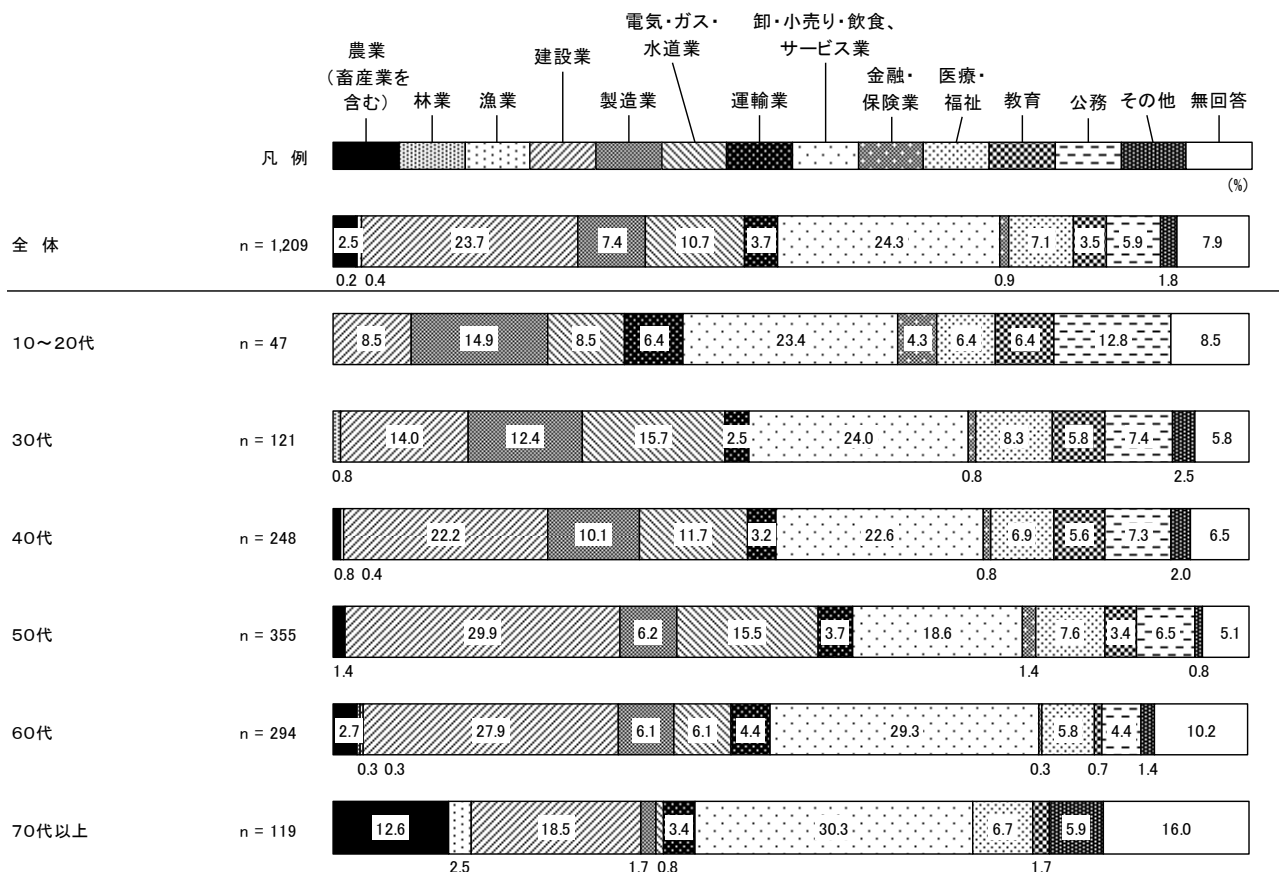
<図表3-3-6 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-3-7 現在の業種

【就業していた方（問 11（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）に伺います。】
 問 11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。
 (2) 現在のあなたの業種（〇は1つ）

<図表3-3-7 現在の業種（年齢別）>

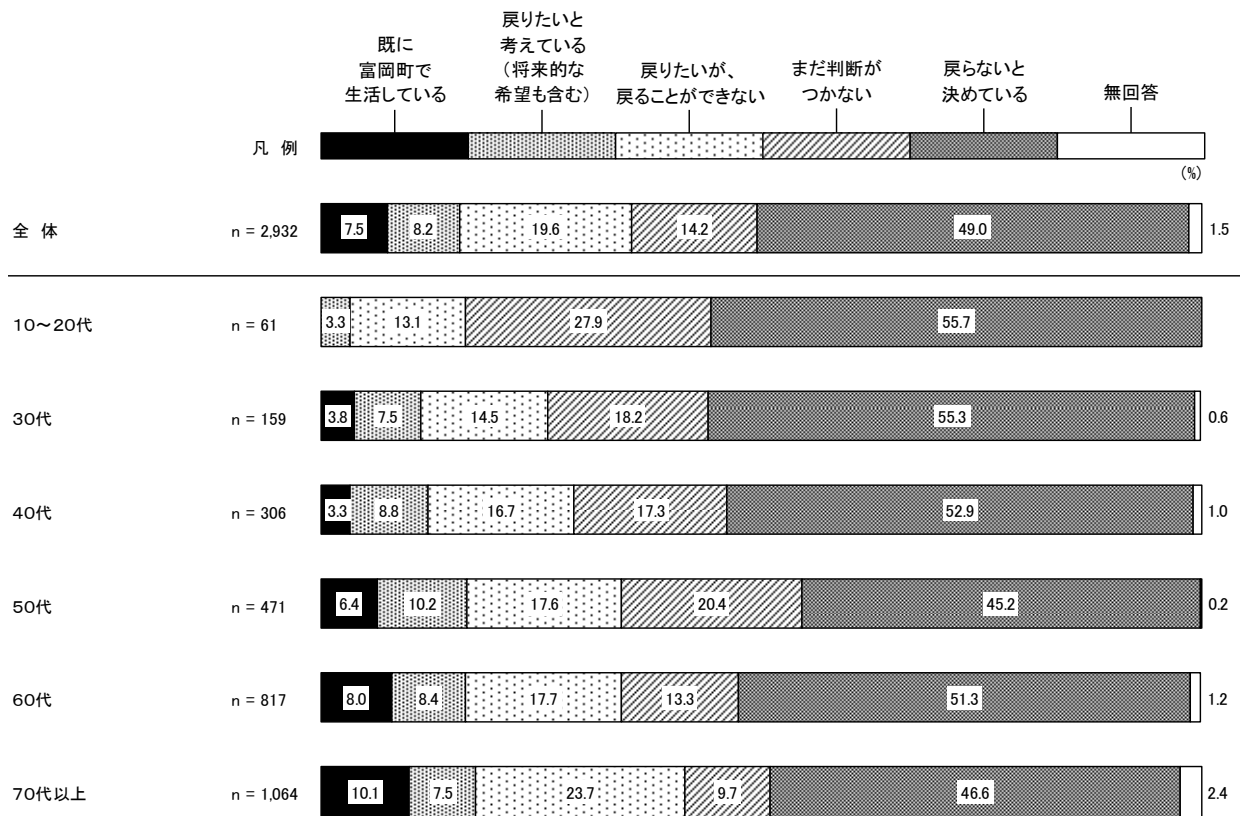


3-4 将来の意向

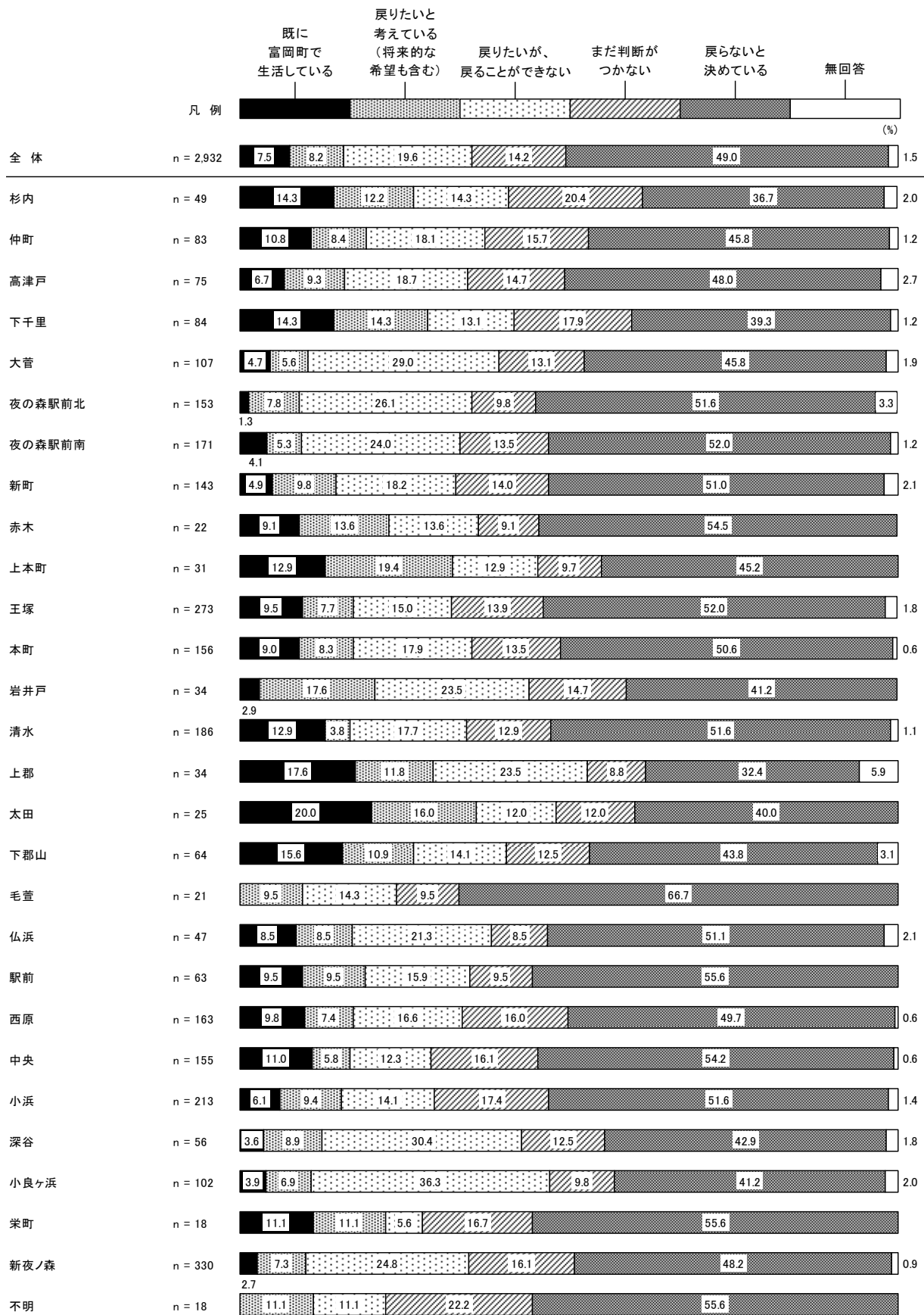
3-4-1 富岡町への帰還意向

問 12 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「5」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(〇は1つ)

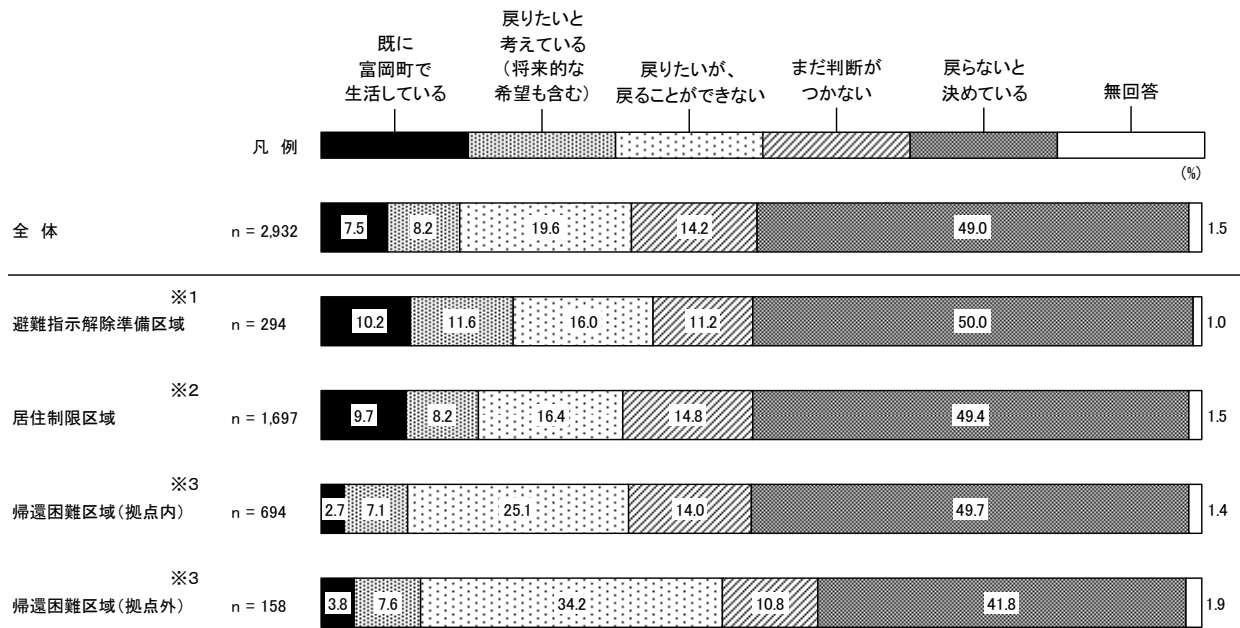
<図表3-4-1-1 富岡町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 富岡町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-4-1-3 富岡町への帰還意向（避難指示区域別）>

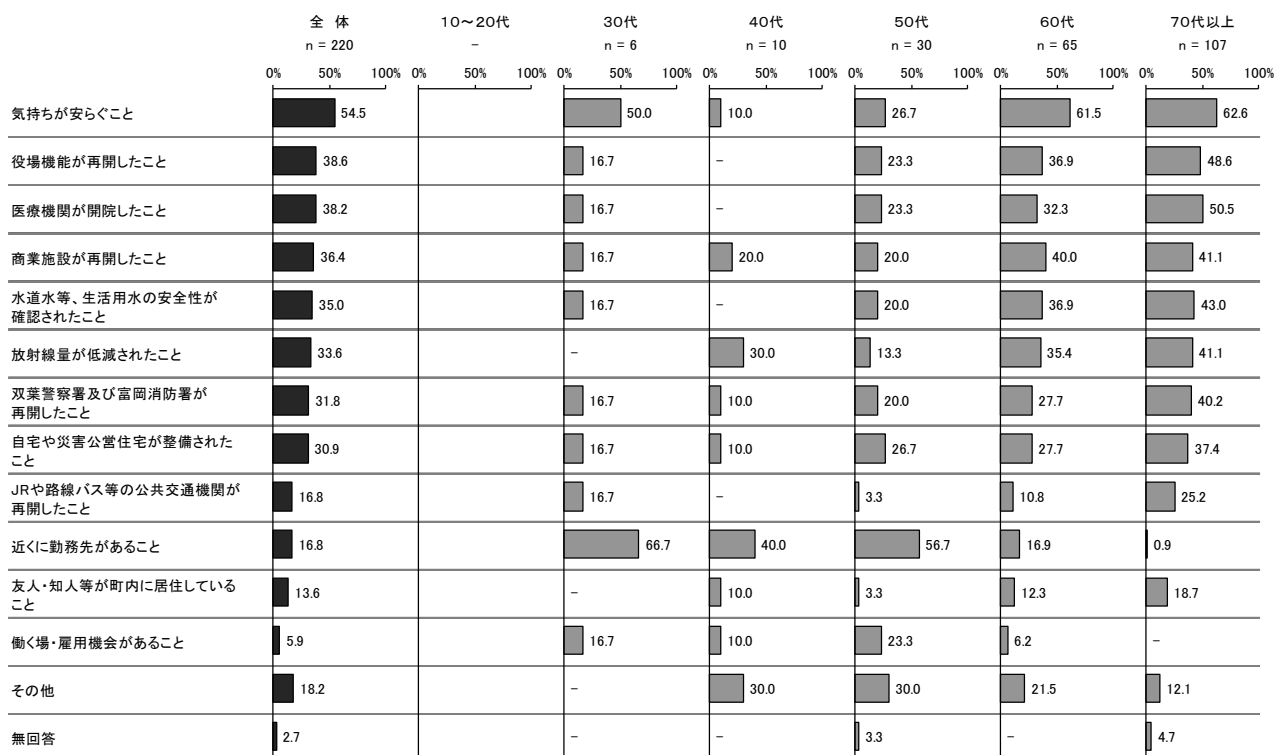


※1 平成29年4月1日に避難指示解除済み
 ※2 平成29年4月1日に避難指示解除済み
 ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと

3-4-2 富岡町への帰還を決めた理由

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】
 問 13 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

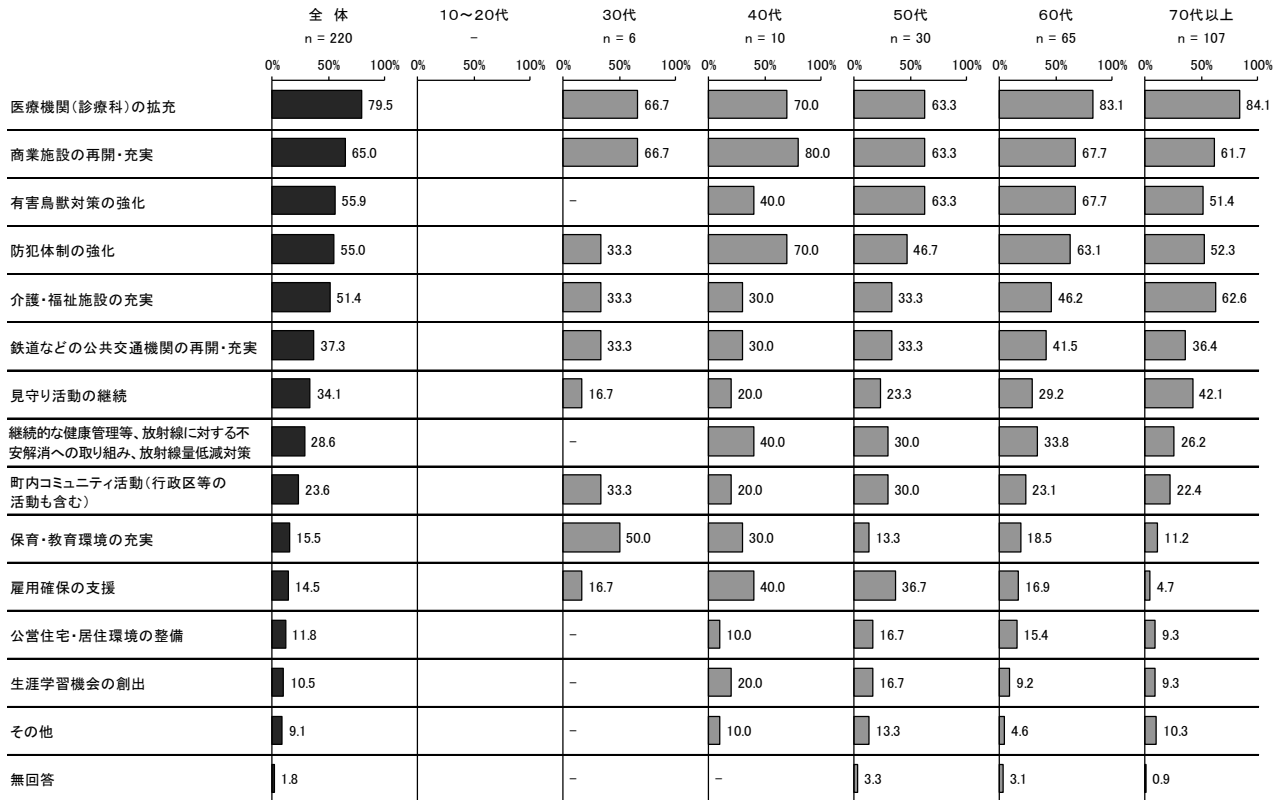
<図表3-4-2 富岡町への帰還を決めた理由(年齢別)>



3-4-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】
 問 14 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(〇はいくつでも)

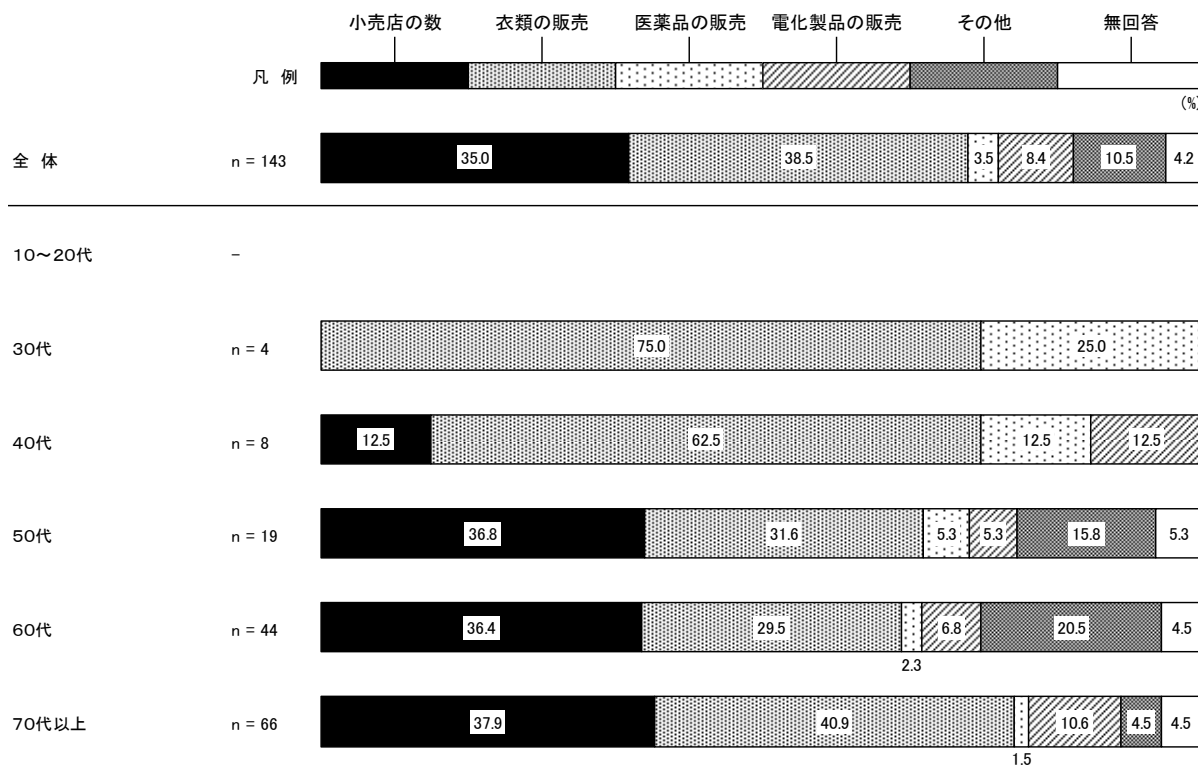
<図表3-4-3 富岡町内での今後の生活において必要だと感じていること(年齢別)>



3-4-4 富岡町内の買い物環境で充実させてほしいもの

【問 14 で「7. 商業施設の再開・充実」と回答した方に伺います。】
 問 14-1 町内の買い物環境で、充実させてほしいものを教えてください。(〇は 1 つ)

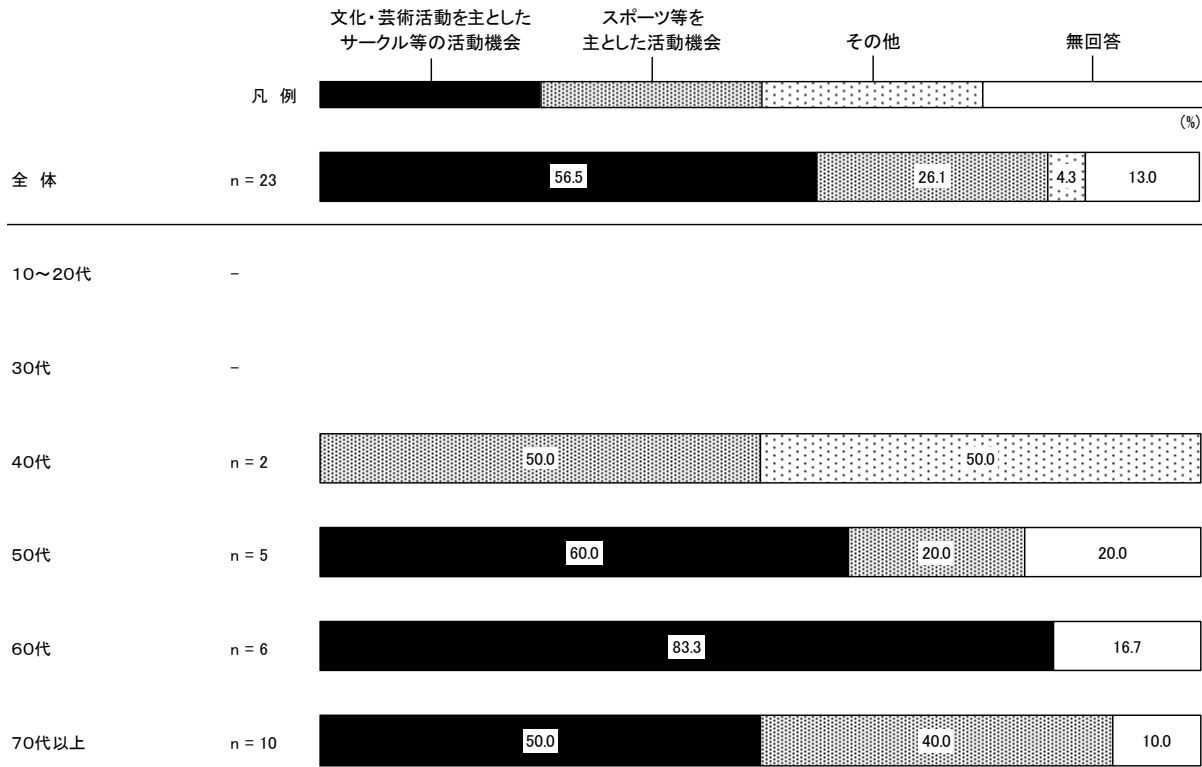
<図表3-4-4 富岡町内の買い物環境で充実させてほしいもの(年齢別)>



3-4-5 生涯学習機会希望するもの

【問 14 で「8. 生涯学習機会の創出」と回答した方に伺います。】
 問 14-2 生涯学習機会、どのようなものを希望されますか。(〇は 1 つ)

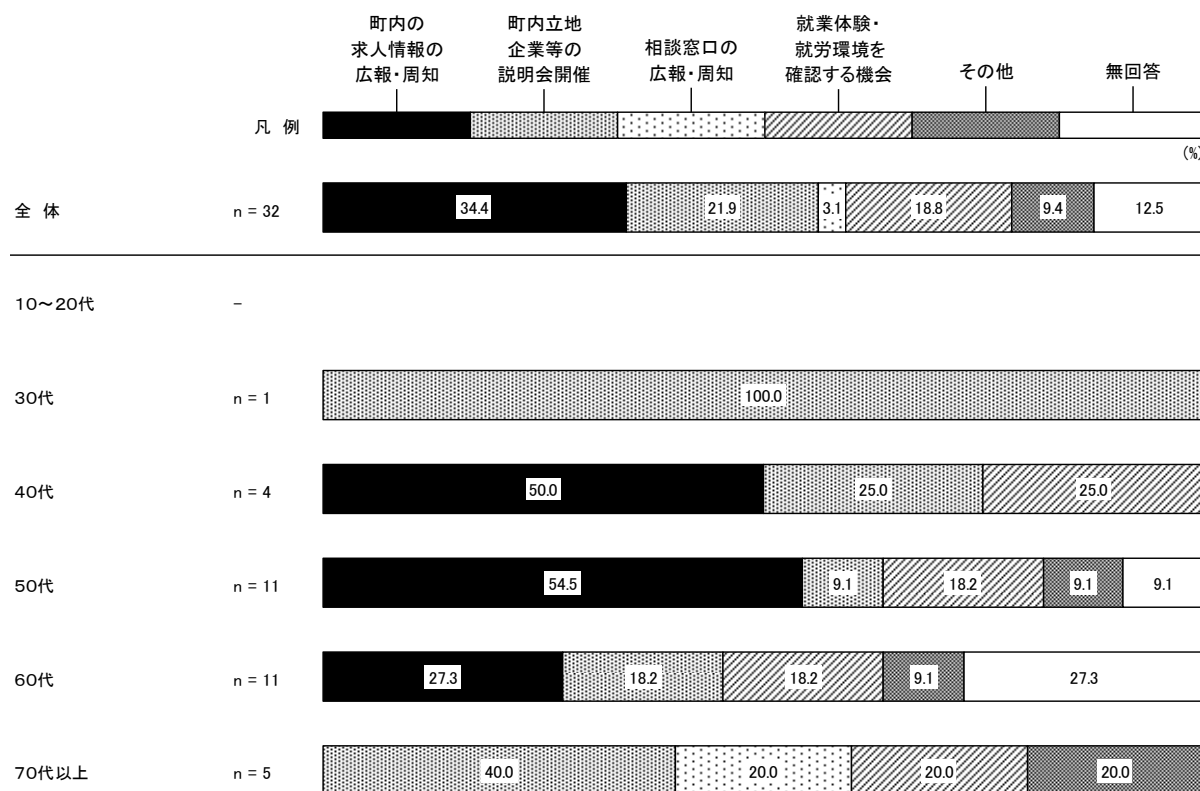
<図表3-4-5 生涯学習機会希望するもの(年齢別)>



3-4-6 雇用確保の支援として希望する施策

【問 14 で「9. 雇用確保の支援」と回答した方に伺います。】
 問 14-3 雇用確保の支援として、どのような支援施策を希望されますか。(〇は 1 つ)

<図表3-4-6 雇用確保の支援として希望する施策（年齢別）>

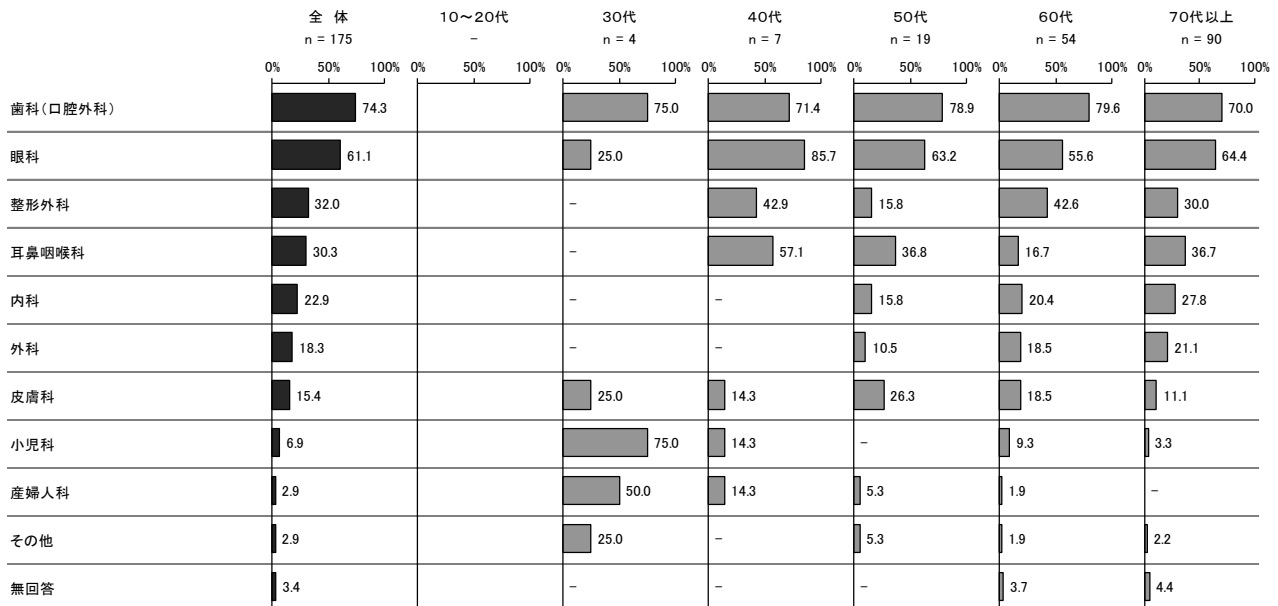


3-4-7 医療環境の拡充として立地を希望する医療機関・診療科

【問 14 で「10. 医療機関（診療科）の拡充」と回答した方に伺います。】

問 14-4 医療機関の拡充として、どのような医療機関・診療科の開院を希望されますか。特に必要だと考える診療科に○をつけてください。（○は3つまで）

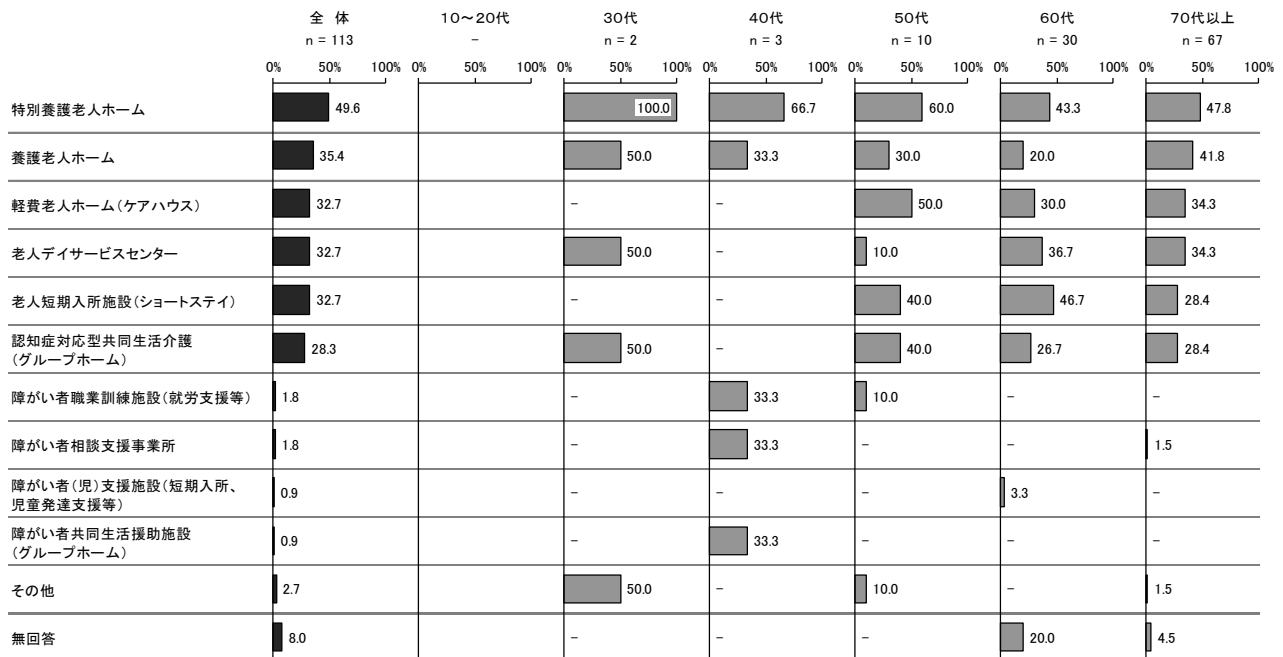
<図表3-4-7 医療環境の拡充として立地を希望する医療機関・診療科（年齢別）>



3-4-8 介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設

【問14で「11. 介護・福祉施設の充実」と回答した方に伺います。】
 問14-5 介護・福祉施設として、どのような施設の立地・再開を希望されますか。(〇は3つまで)

<図表3-4-8 介護・福祉施設として立地・再開を希望する施設(年齢別)>

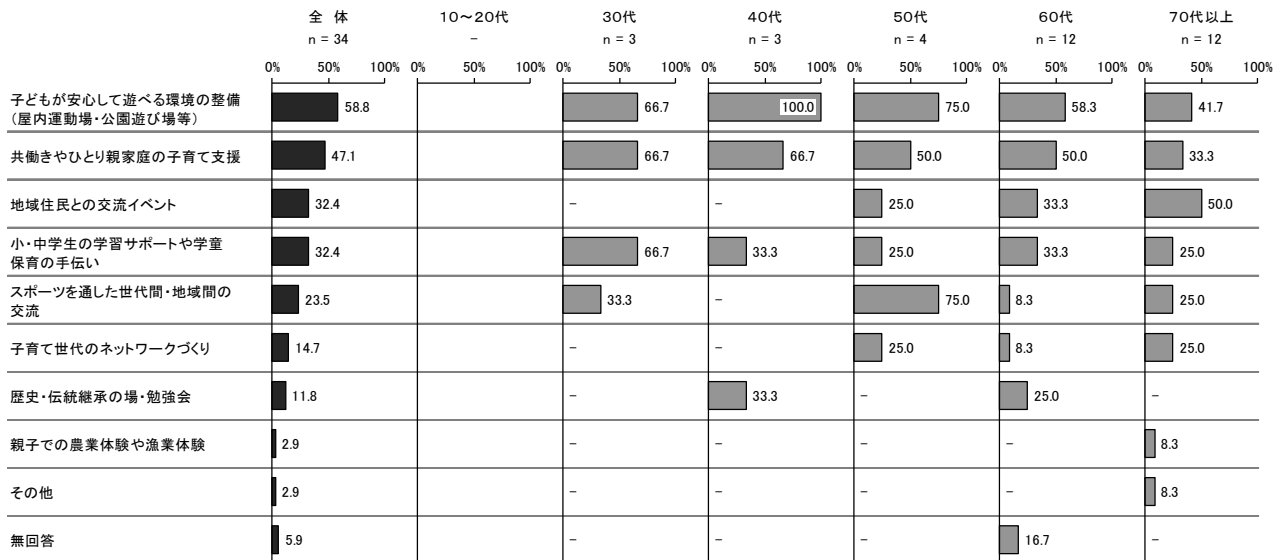


3-4-9 保育・教育環境として希望する支援や施設設備

【問 14 で「12. 保育・教育環境の充実」と回答した方に伺います。】

問 14-6 保育・教育環境として、どのような支援や施設整備を希望されますか。(〇は3つまで)

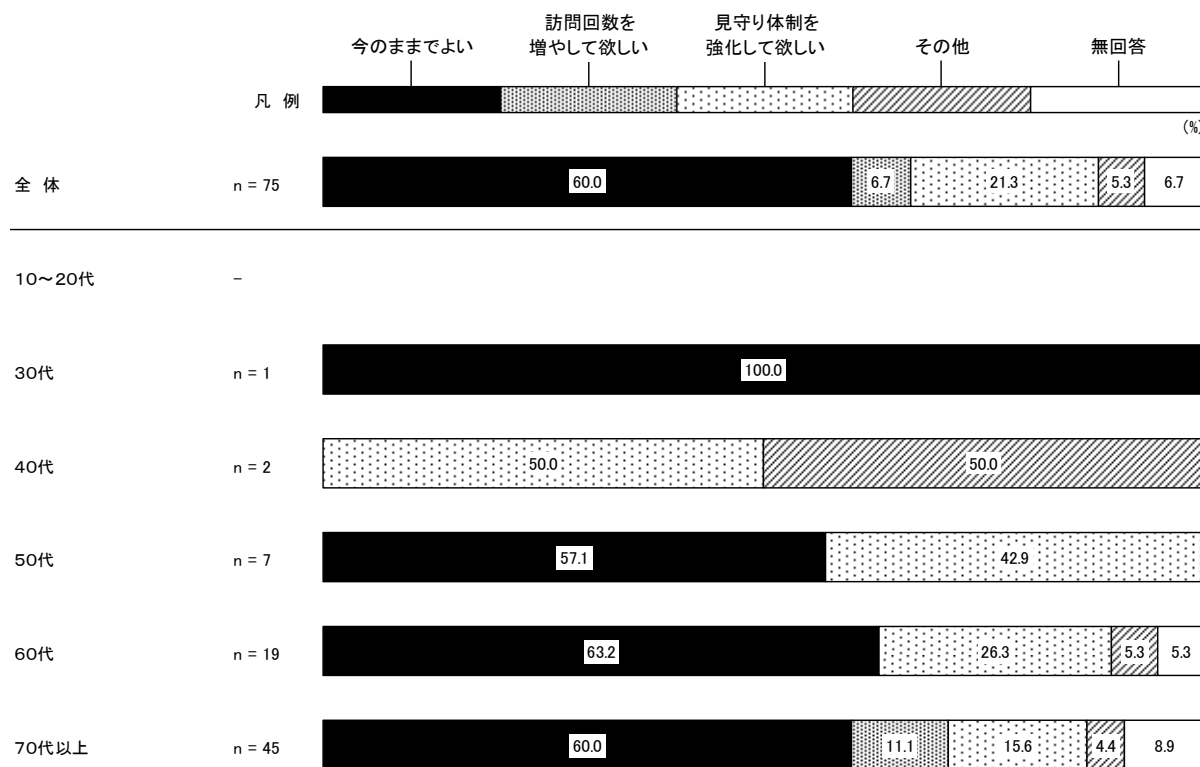
<図表3-4-9 保育・教育環境として希望する支援や施設設備（年齢別）>



3-4-10 現在の見守り活動についての考え

【問 14 で「13. 見守り活動の継続」と回答した方に伺います。】
 問 14-7 現在行われている見守り活動についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

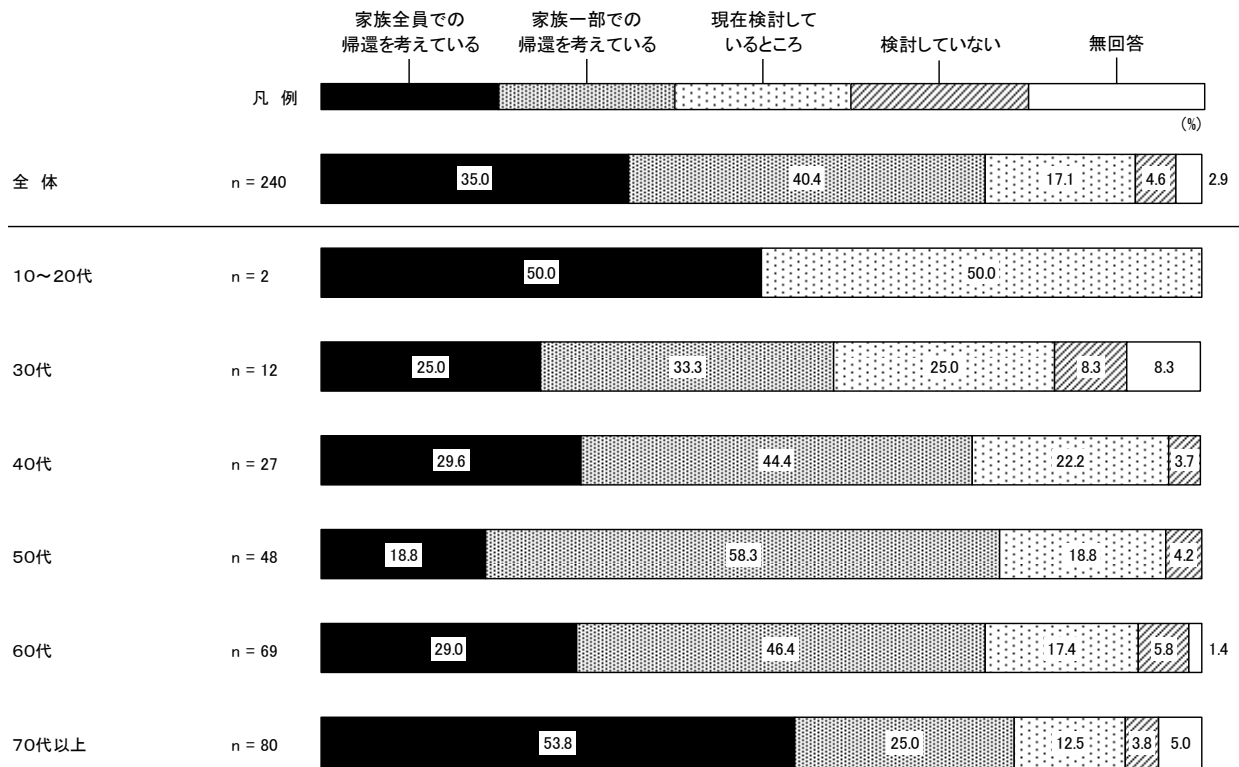
<図表3-4-10 現在の見守り活動についての考え(年齢別)>



3-4-11 富岡町へ帰還する場合の家族

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
問 15 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

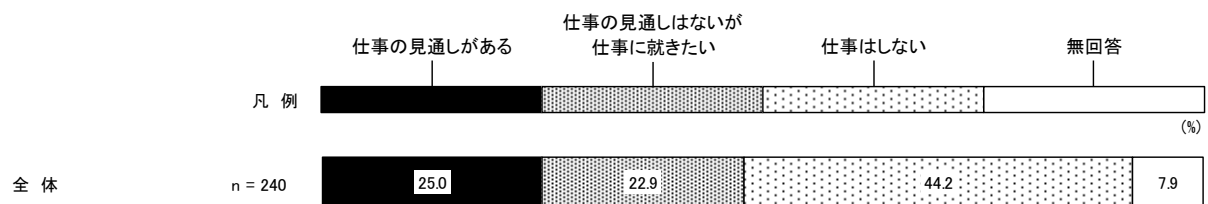
<図表3-4-11 富岡町へ帰還する場合の家族（年齢別）>



3-4-12 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
問 16 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。（〇は1つ）

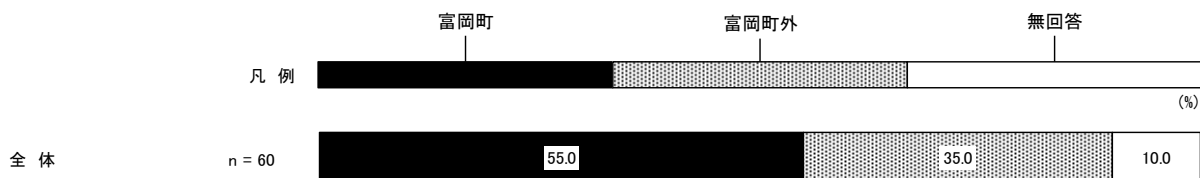
<図表3-4-12 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し>



3-4-13 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】
 問 16-1 見通しがたっている仕事の場所（勤務先）はどこですか。（〇は1つ）

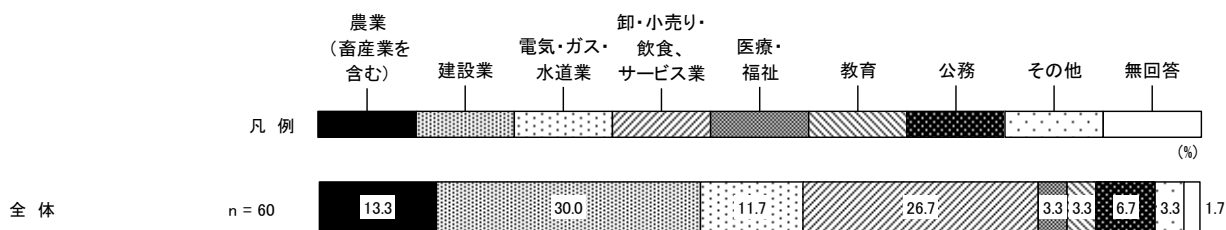
<図表3-4-13 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所>



3-4-14 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】
 問 16-2 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-14 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種>



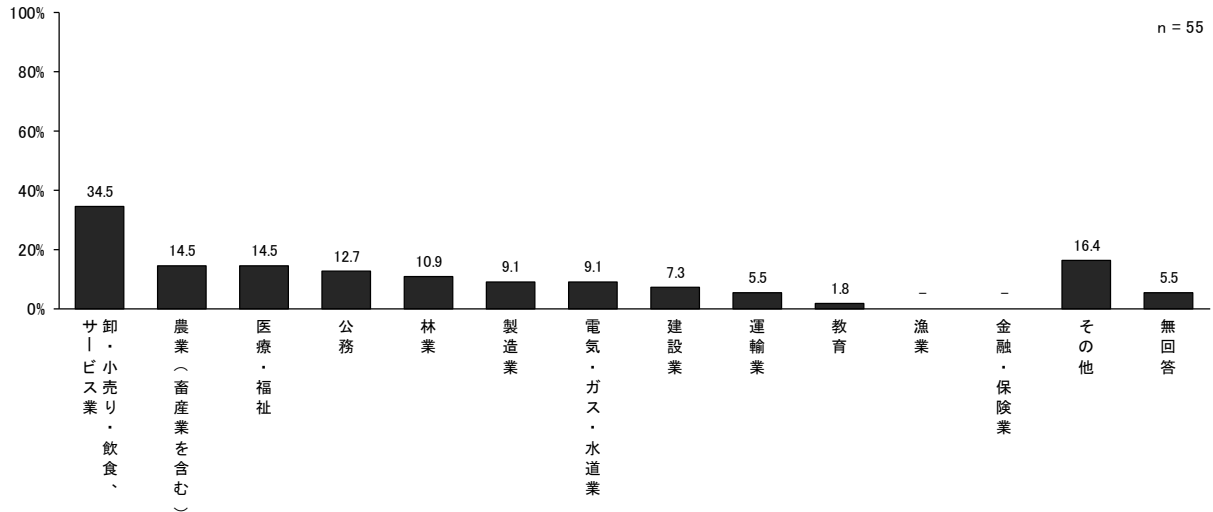
〔その他の内訳〕

林業	-
漁業	-
製造業	-
運輸業	-
金融・保険業	-
その他	3.3%

3-4-15 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。
問 17-1 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(〇はいくつでも)

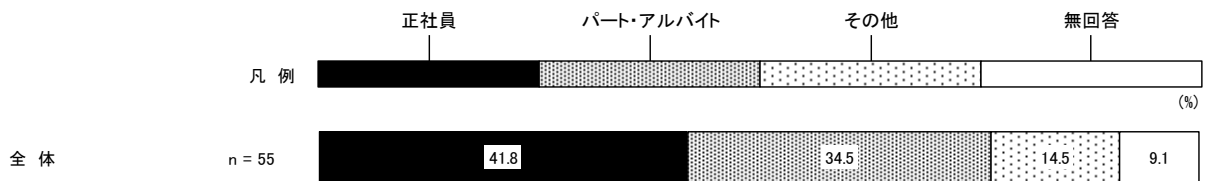
<図表 3-4-15 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する業種>



3-4-16 富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。
問 17-2 どのような就労形態を希望しますか。(〇は1つ)

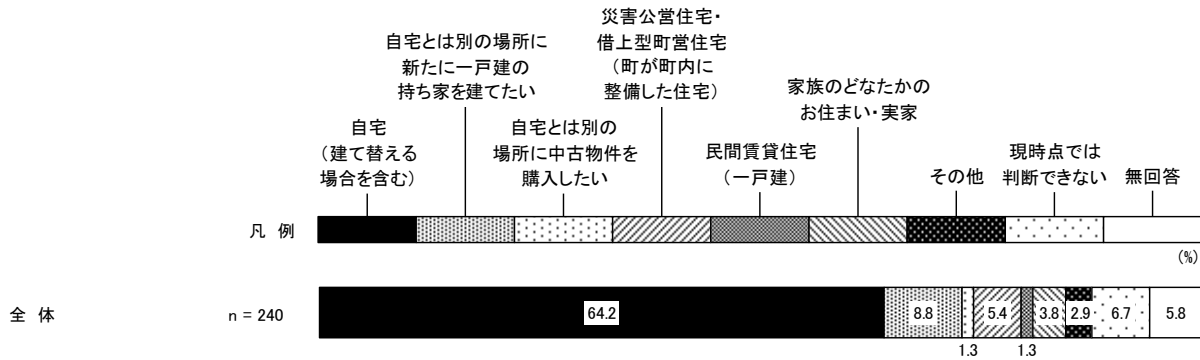
<図表 3-4-16 富岡町へ帰還した場合に希望する就労形態>



3-4-17 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】
 問 18 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。（〇は1つ）

<図表3-4-17 富岡町へ帰還した場合に希望する住居形態>



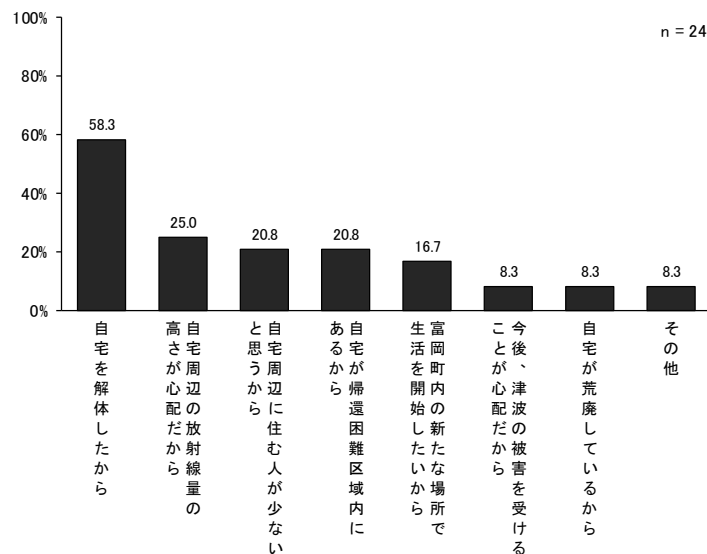
〔その他の内訳〕

自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい	-
復旧予定の町営住宅 (王塚団地 (一戸建))	0.8%
復旧予定の町営住宅 (新田団地 (集合住宅))	-
民間賃貸住宅 (集合住宅)	0.8%
給与住宅 (社宅など)	-
親戚・知人宅	0.4%
その他	0.8%

3-4-18 富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問 18 で「2」「3」「4」と回答した方に伺います。】
 問 18-1 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。（〇はいくつでも）

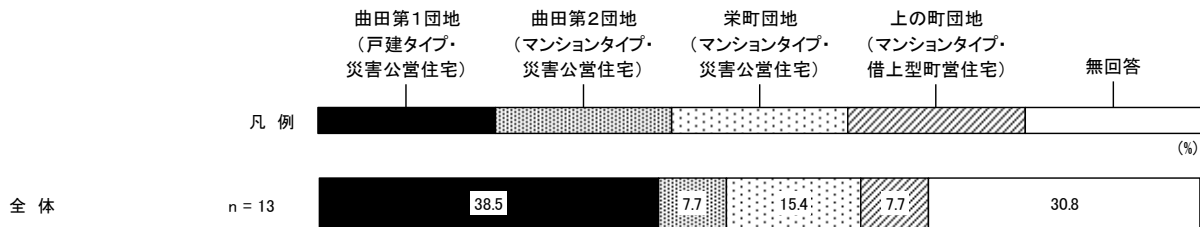
<図表3-4-18 富岡町へ帰還した場合に元の持ち家以外を希望する理由>



3-4-19 富岡町が整備した災害公営住宅・借上型町営住宅のうち希望する団地

【問 18 で「5」と回答した方に伺います。】
 問 18-2 富岡町が整備した災害公営住宅・借上型町営住宅のうち、最も希望する団地はどこですか。(〇は1つ)

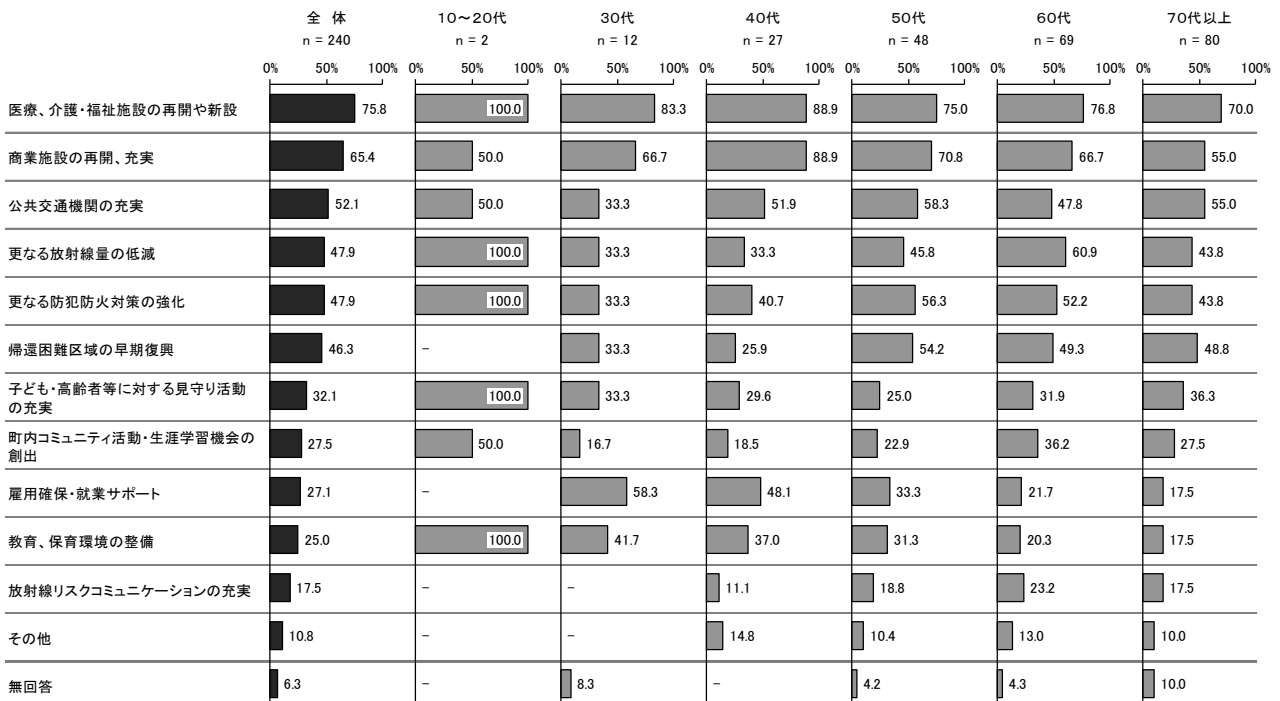
<図表3-4-19 富岡町が整備した災害公営住宅・借上型町営住宅のうち希望する団地>



3-4-20 富岡町へ帰還する場合に必要な施策

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】
 問 19 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

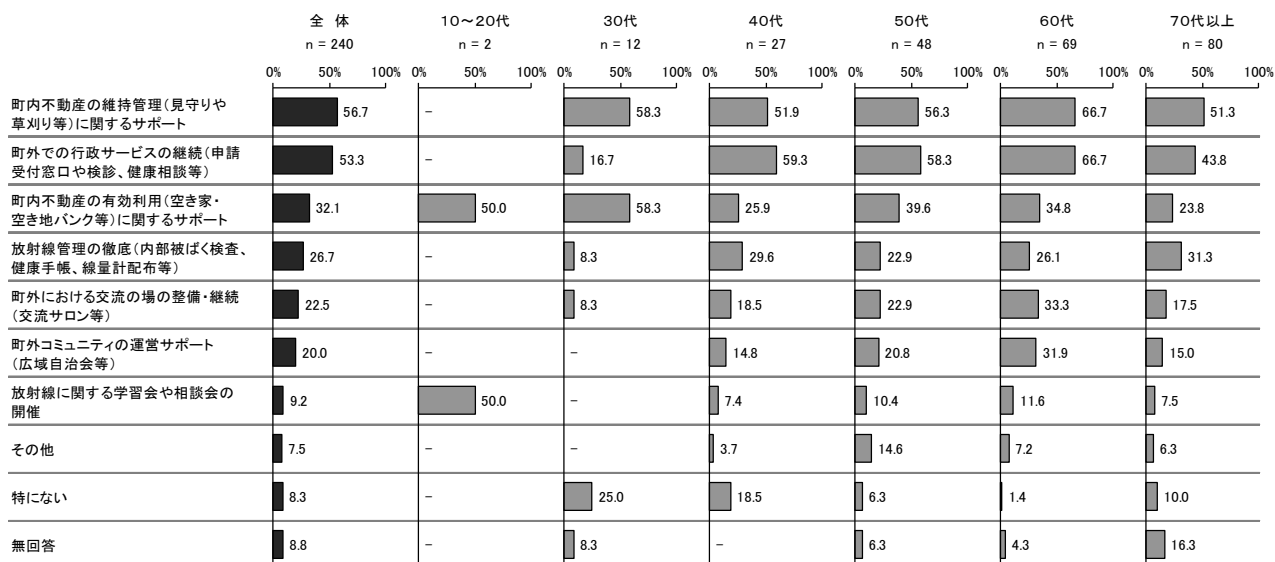
<図表3-4-20 富岡町へ帰還する場合に必要な施策 (年齢別)>



3-4-21 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】
 問 20 富岡町に戻るまで（避難生活を継続している期間）に、どのような施策が必要と考えますか。
 （〇はいくつでも）

<図表3-4-21 富岡町へ帰還するまで（避難生活を継続している期間）に必要な施策（年齢別）>

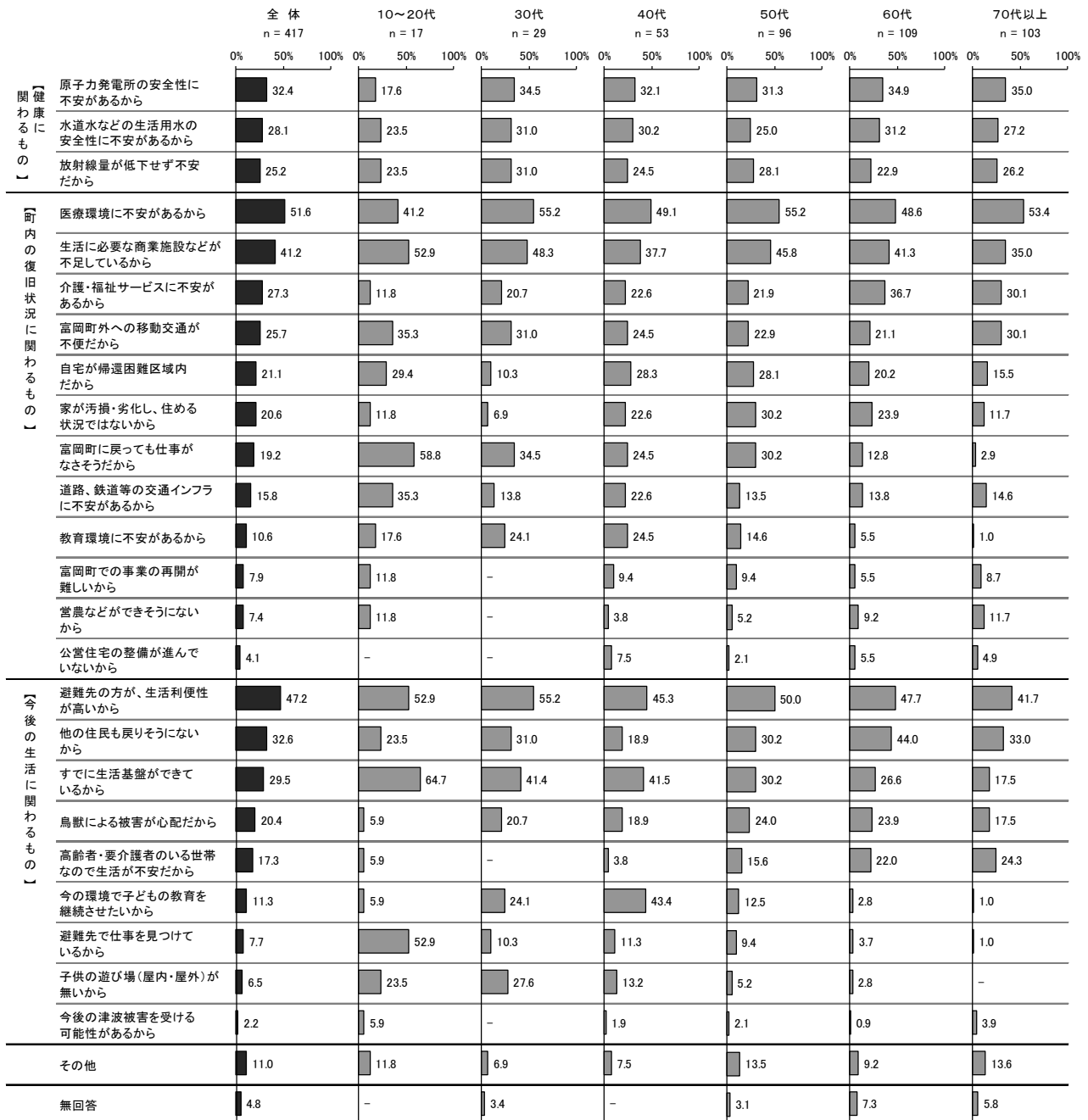


3-4-22 富岡町への帰還の判断がつかない理由

【問12で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表3-4-22 富岡町への帰還の判断がつかない理由(年齢別)>

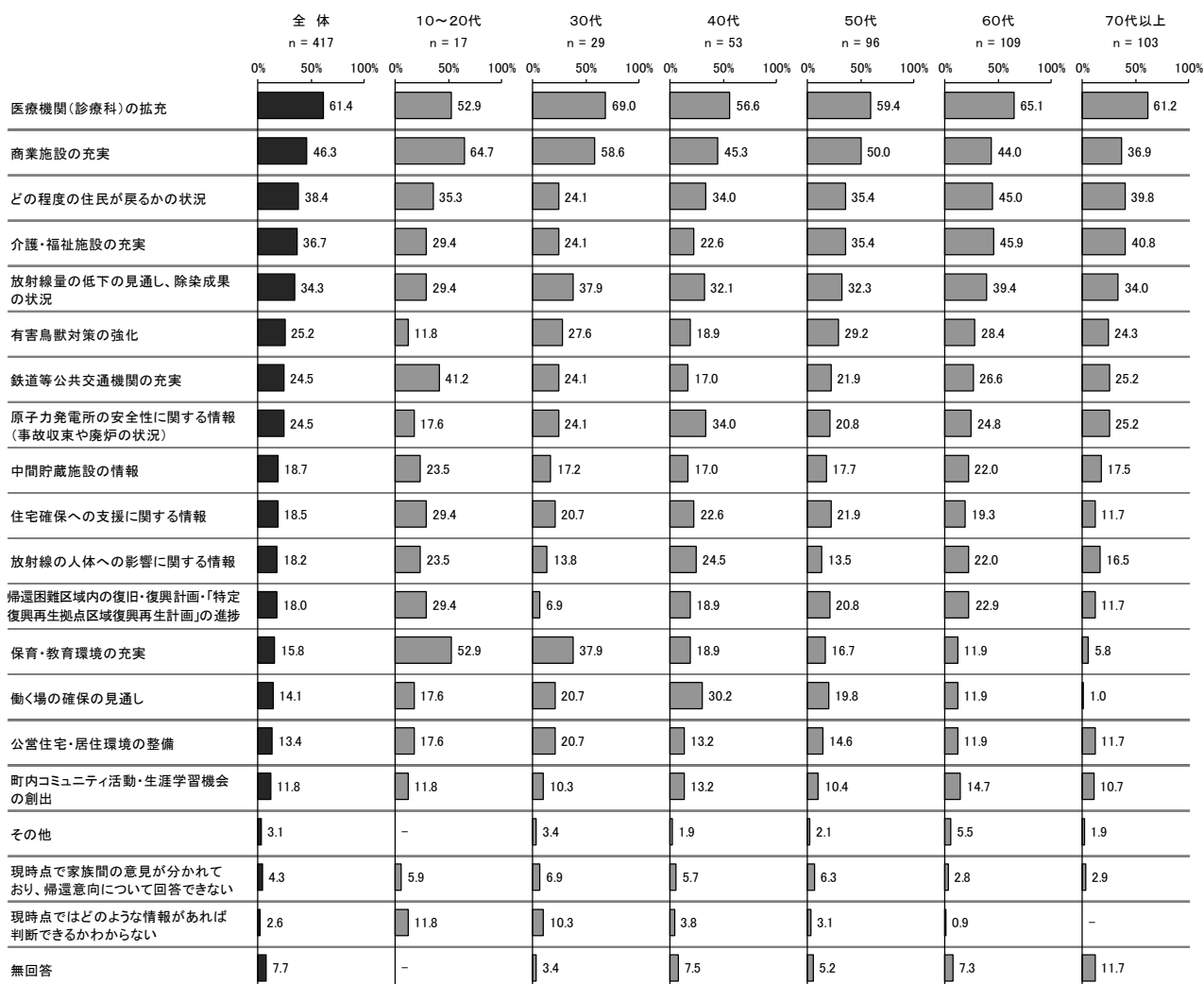


3-4-23 富岡町への帰還を判断するために必要なこと

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

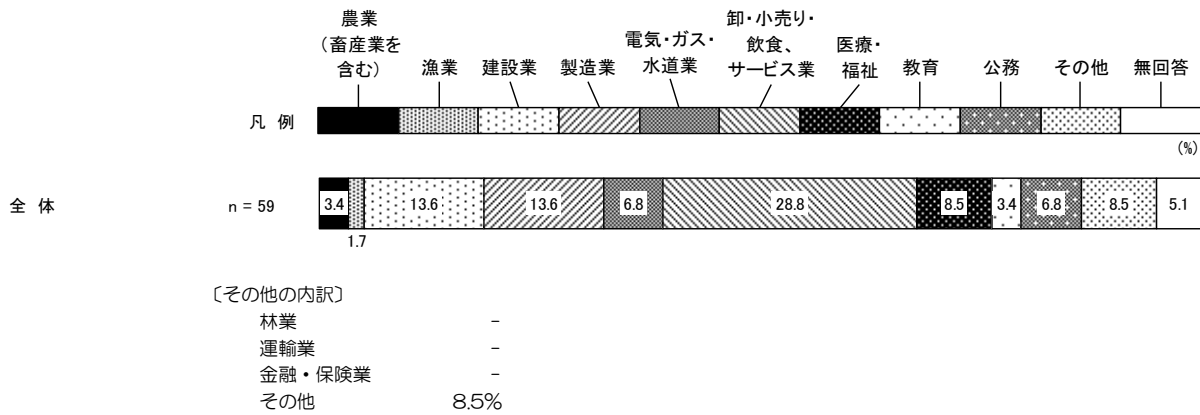
<図表3-4-23 富岡町への帰還を判断するために必要なこと(年齢別)>



3-4-24 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種

【問 22 で「11. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】
 問 22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(〇は1つ)

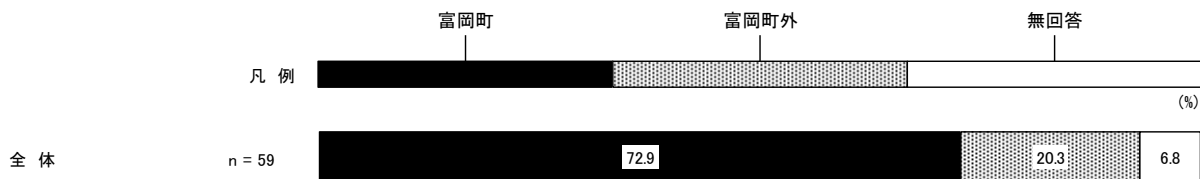
<図表 3-4-24 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の業種>



3-4-25 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所

【問 22 で「11. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】
 問 22-2 仕事の場所 (勤務先) はどこを希望しますか。(〇は1つ)

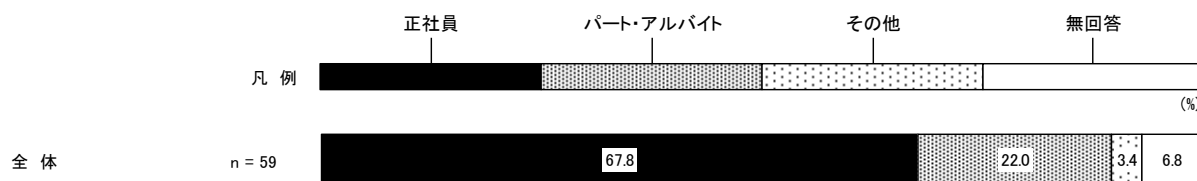
<図表 3-4-25 富岡町へ帰還した場合に希望する仕事の場所>



3-4-26 富岡町へ戻った場合に希望する就労形態

【問 22 で「11. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】
 問 22-3 どのような就労形態を希望しますか。(〇は1つ)

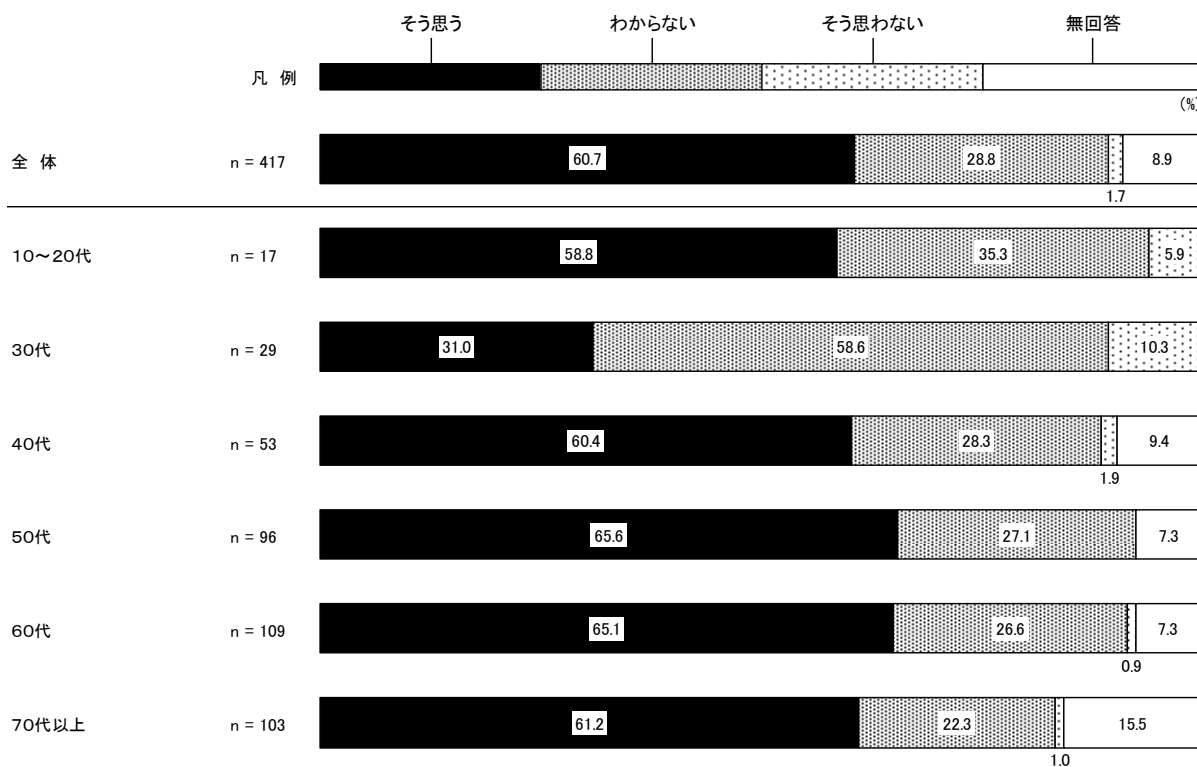
<図表3-4-26 富岡町へ戻った場合に希望する就労形態>



3-4-27 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔まだ帰還の判断がつかない方〕

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】
 問 23 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

<図表3-4-27 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔まだ帰還の判断がつかない方〕(年齢別)>

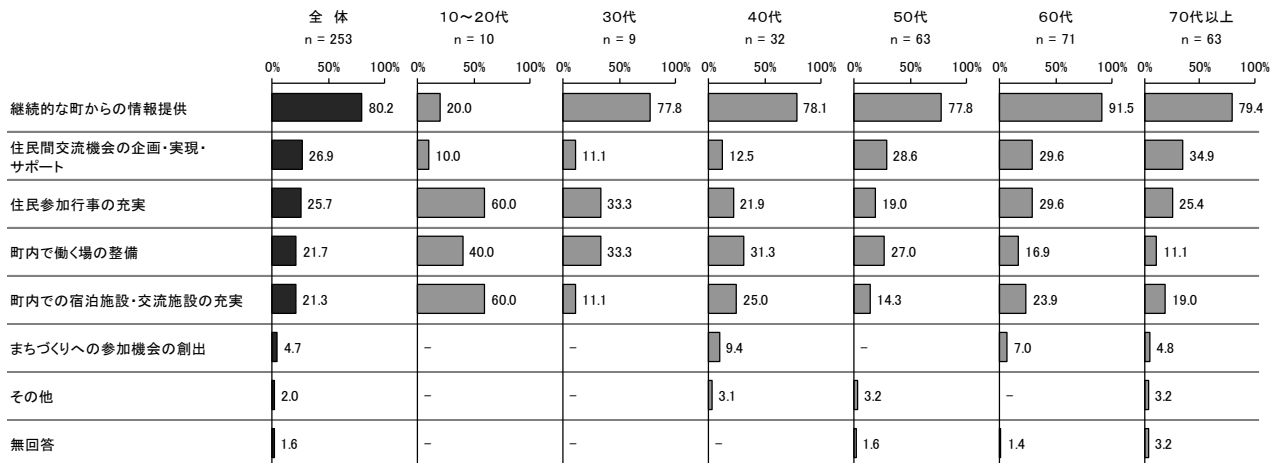


3-4-28 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策〔まだ帰還の判断がつかない方〕

【問 23 で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】

問 23-1 町との「つながり」を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

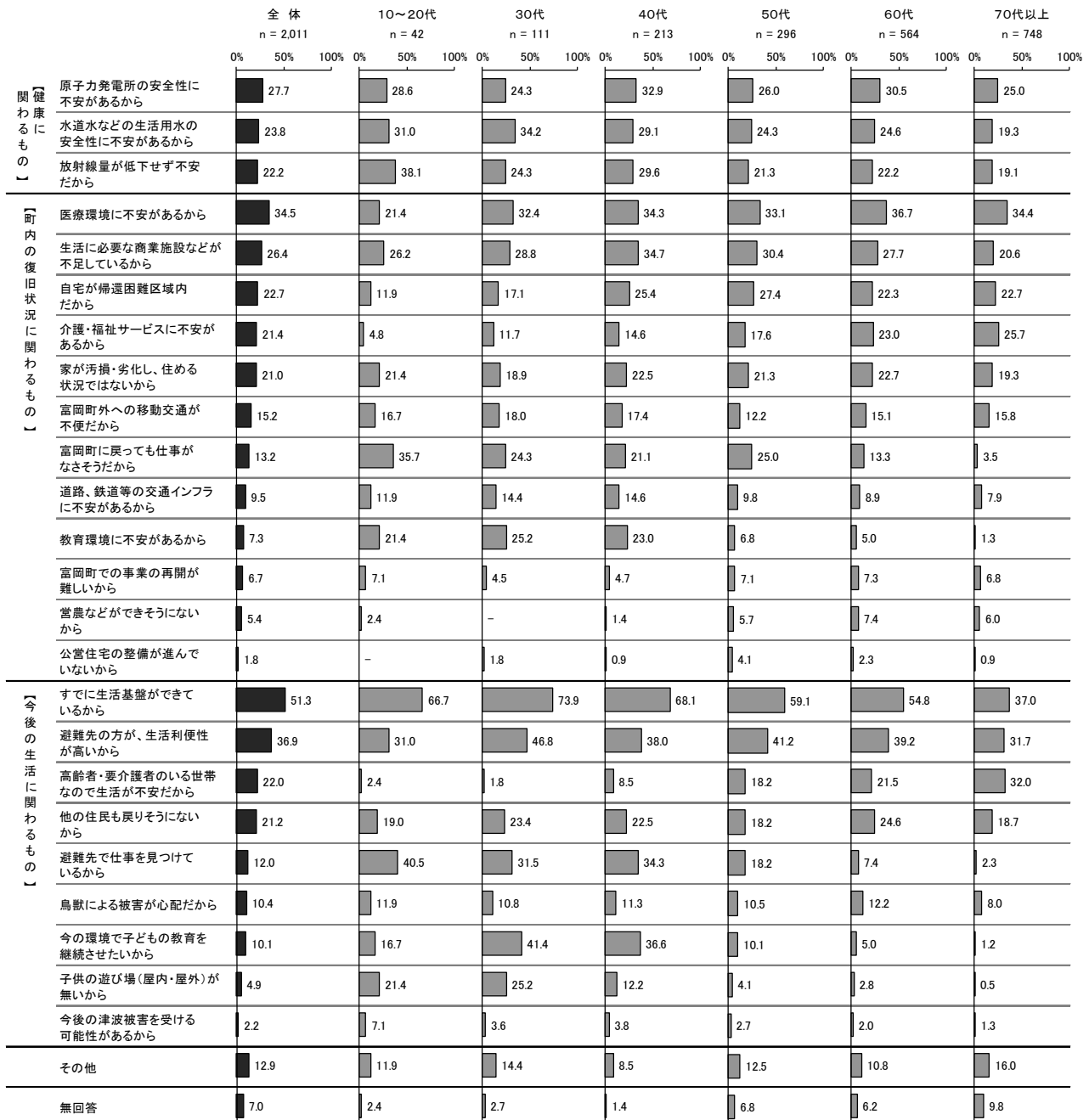
<図表 3-4-28 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策〔まだ帰還の判断がつかない方〕(年齢別)>



3-4-29 富岡町に帰還できない・帰還しない理由

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問24 富岡町への帰還について、「戻ることができない」、または「戻らない」理由を教えてください。
 (〇はいくつでも)

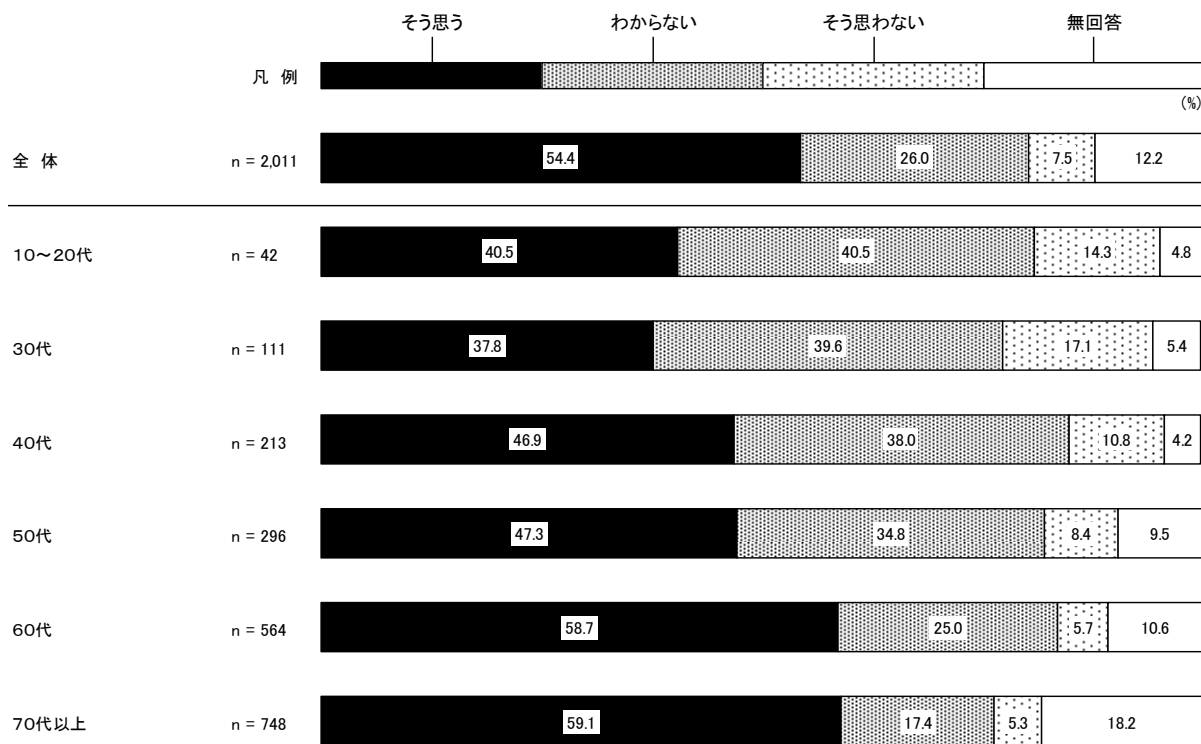
<図表3-4-29 富岡町に帰還できない・帰還しない理由(年齢別)>



3-4-30 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔帰還できない方、帰還しない方〕

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問 25 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

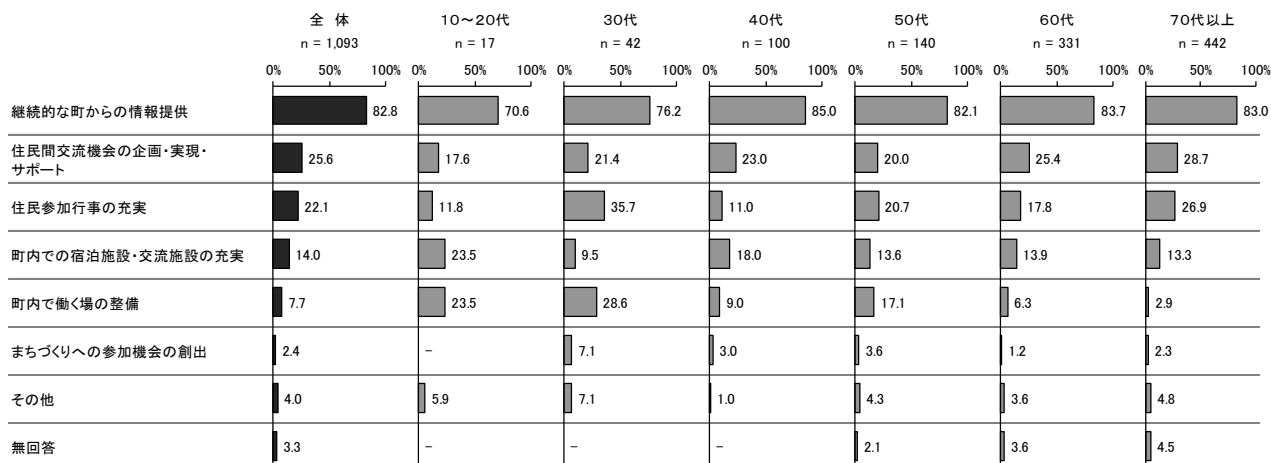
<図表3-4-30 富岡町との「つながり」を保ちたいか〔帰還できない方、帰還しない方〕(年齢別)>



3-4-31 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 〔帰還できない方、帰還しない方〕

【問 25 で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】
問 25-1 町との「つながり」を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

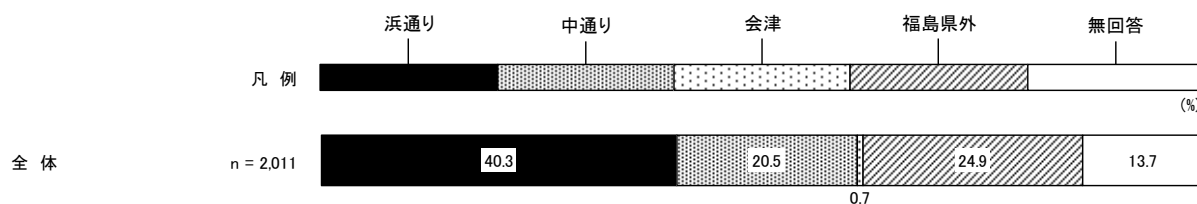
<図表3-4-31 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策〔帰還できない方、帰還しない方〕(年齢別)>



3-4-32 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
問 26 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)地域はどちらですか。(〇は1つ)

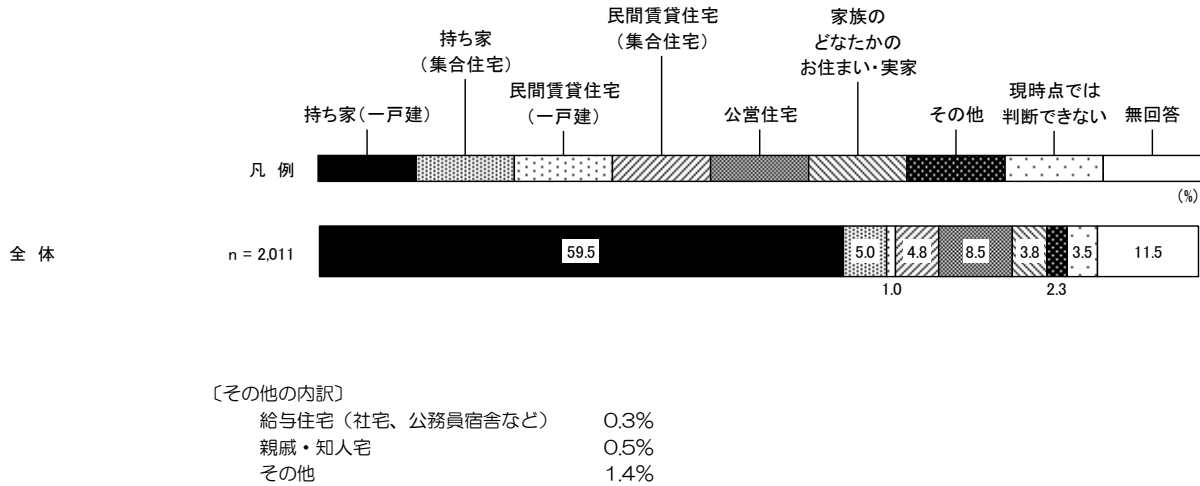
<図表3-4-32 富岡町に帰還しない場合に居住を希望する地域>



3-4-33 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問 27 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

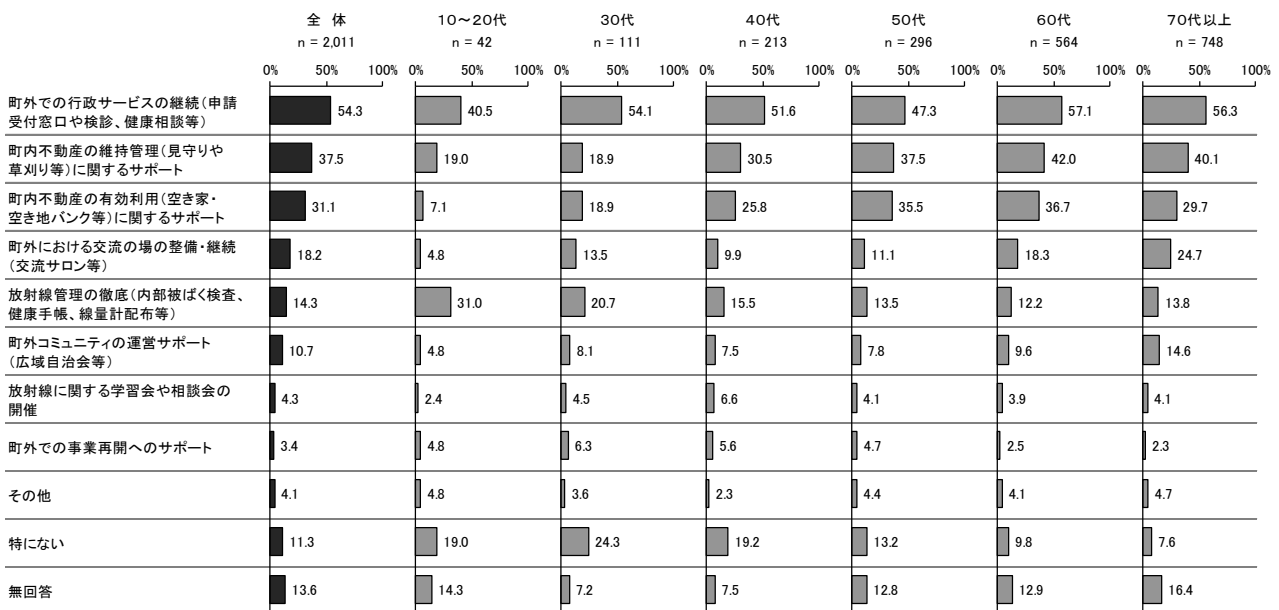
＜図表 3-4-33 富岡町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態＞



3-4-34 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問 28 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

＜図表 3-4-34 富岡町に帰還せず町外で生活する方をサポートするために必要な施策（年齢別）＞

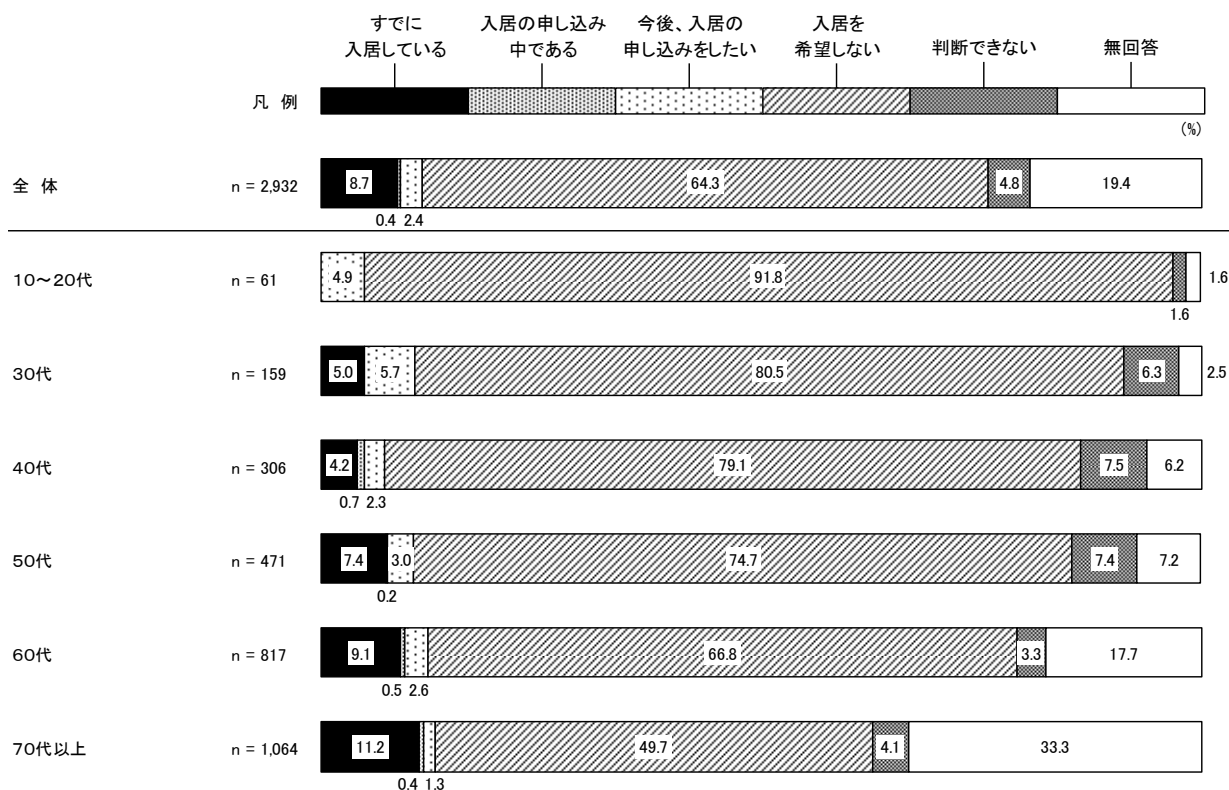


3-5 復興公営住宅

3-5-1 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向

問 29 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向について教えてください。（〇は1つ）

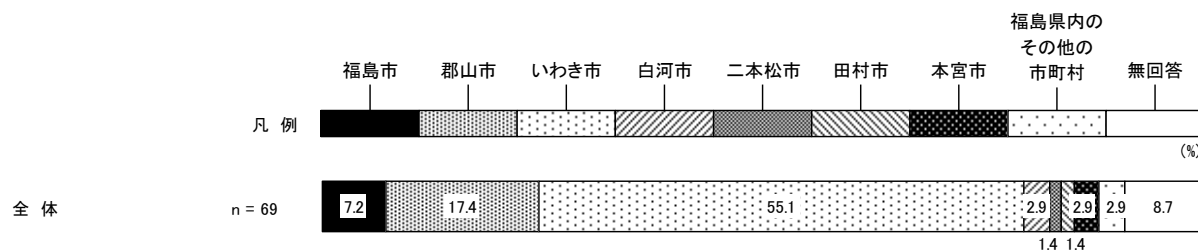
<図表3-5-1 福島県営の復興公営住宅（富岡町外）への入居意向（年齢別）>



3-5-2 入居を希望する復興公営住宅の立地市町村

【問 29 で「3. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方に伺います。】
 問 29-1 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-2 入居を希望する復興公営住宅の立地市町村>



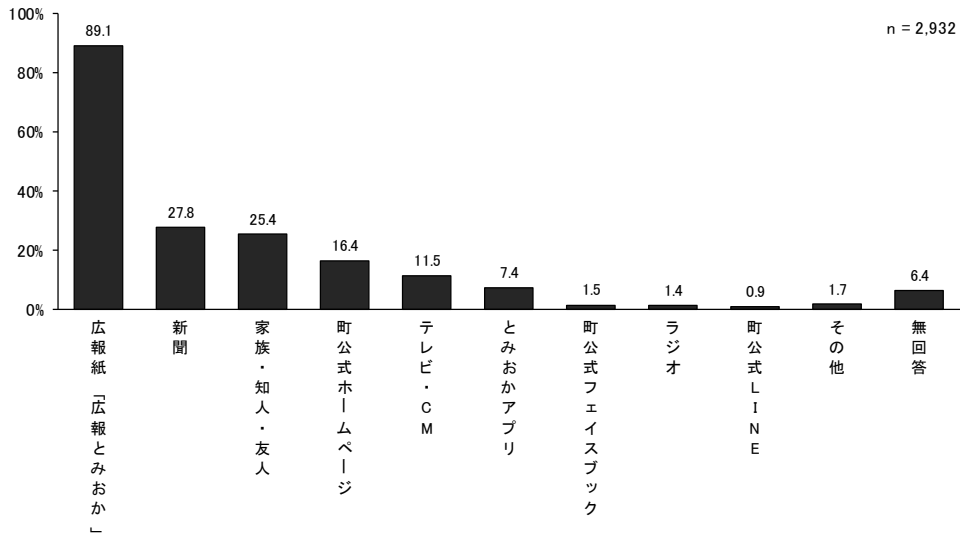
〔福島県内のその他の市町村の内訳〕
 会津若松市 -
 南相馬市 -
 福島県内のその他の市町村 2.9%

3-6 情報入手

3-6-1 富岡町からの情報の入手経路

問 30 日ごろ、富岡町の行政情報やイベント開催情報を得るために、どのようなツールを活用していますか。(〇は3つまで)

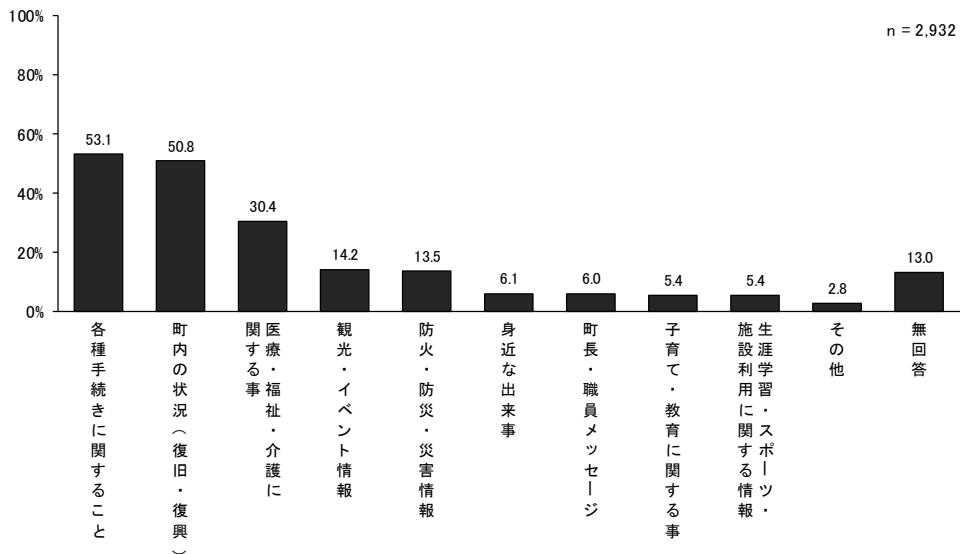
<図表3-6-1 富岡町からの情報の入手経路>



3-6-2 行政から欲しい情報

問 31 行政からの情報で強い関心があるものは何ですか。(〇は3つまで)

<図表3-6-2 行政から欲しい情報>



3-7 意見・要望

問 32 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書き下さい。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、907 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

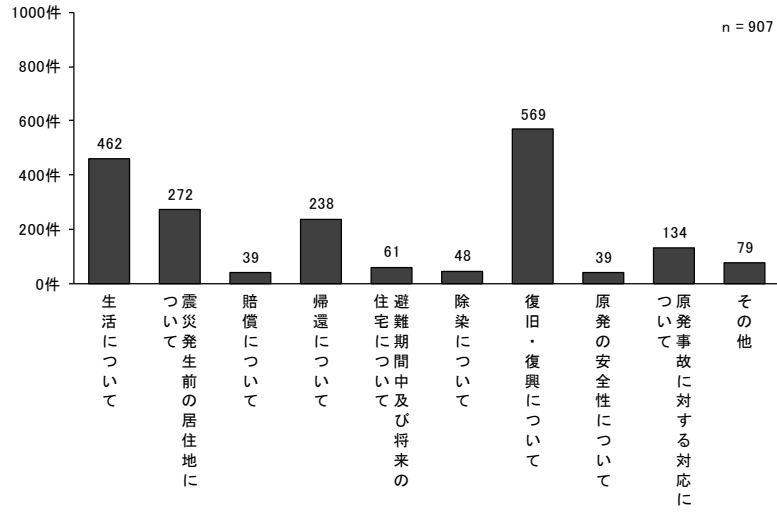
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意識について ・除染作業にかかる費用の他への活用について ・除染作業の効果等について ・除染作業の実施箇所等について ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染産廃物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・中長期的スケジュールについて ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅の建設地・形態等について ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

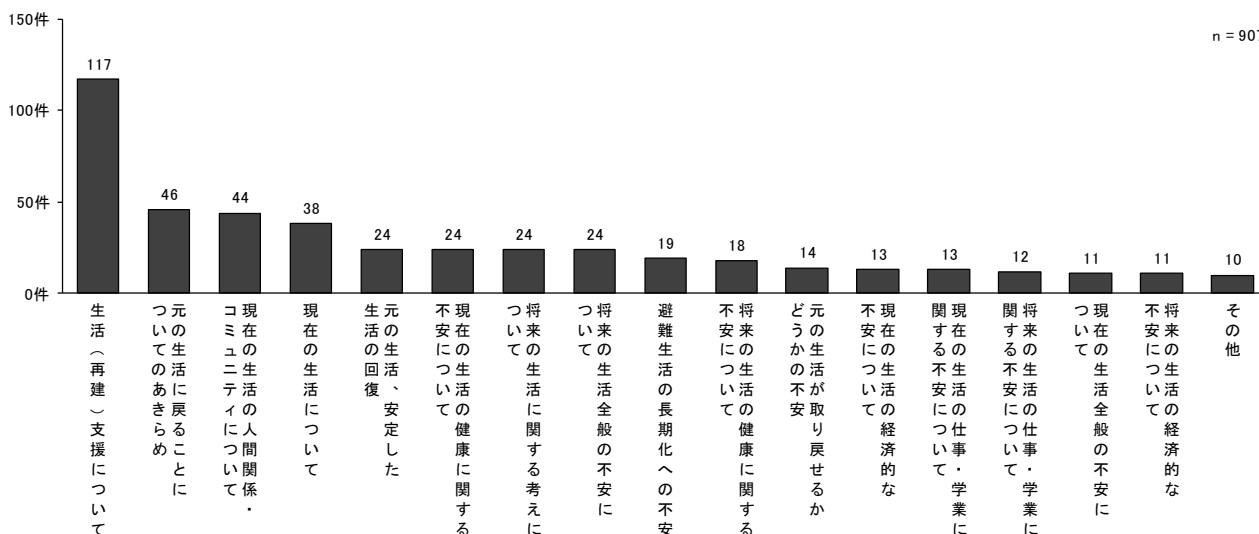
3-7-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-7-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-7-2 生活について

<図表3-7-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【生活（再建）支援について】

- 仮設を出なくてはいけなくなり公営住宅にきたが、やはり便利ではなく、苦手な人付き合い（行事等）もしなくてはとストレスになります。かと言って町の様子を見ても、何だか怖くて戻りたくない…。以前と変わってしまい、震災から時間や年数は経っても、ずっと心の傷は残る。サポートが必要だと思う。（30代）
- 富岡町に帰還する理由として、小学校が再開することで戻ってきたが、放課後に預ける所がなく、15時50分には子どもが帰宅する。共働きのため、子どもが帰宅する時間に仕事が終わらなく、あわてて帰宅することが多々ある。小学校を再開する以上、放課後は教室で17時30分頃まで預ける所を作ってもらいたい。夏休み、冬休み、春休みも同じで、預ける所がないとその分仕事を休まなければならない。町で子供を戻す条件として、児童館の整備をするべきだと思う。共働きの家庭には厳しいと思う。（40代）
- 医療費、高速道料金の無料化の継続。廃屋になった宅地の不動産の税の軽減化。時々自宅に帰る為の、年間一定の交通費の支給化の実現。（70代以上）

【元の生活に戻ることについて】

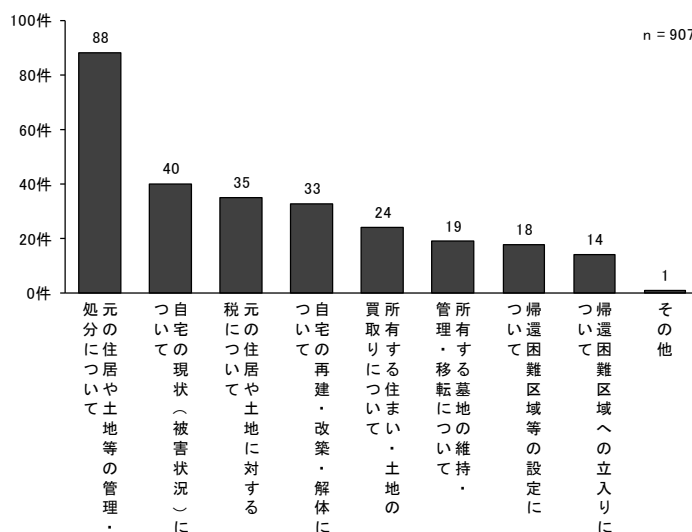
- 原発事故が起こり、放射線まみれの地域を復興させることに、何の意味がありますか。福島県の外で生活させることに重点をおくのが、福島県民の健康のためだと思います。双葉郡をきれいにするにお金を使うのはやめて欲しい。無駄！一時的に人が増えても、過疎化する場所だと確信しています。（40代）
- もう8年が過ぎようとしています。未だ帰宅困難であり、最近は空襲に入られる被害を受けて、戻る事はもう考えられる状況ではありません。今後、色々な負担が増加する一方で、富岡町にいた事の思い出以外に希望・期待が持てないと言わざるを得ない。住めない住居、不動産等の活用方法、管理維持への負担を軽減して頂きたい。（50代）
- 住んでいた富岡町民で人生を終わりたいと思っており、住民票の移動については考えていないが、帰還困難区域内であり、家が汚損・劣化して住める状態ではなく、富岡町内に新しく新築する資金もない。心の中では富岡町に住みたい気持ちでいっぱいです。他地区に住んでいても楽しいことは何もありません。寂しい気持ちです。（70代以上）

[現在の生活の人間関係・コミュニティについて]

- 富岡町の復興が進んで、町の人に戻っている事はとても嬉しい。現在は東京にいるが、町のためにできることがあるなら何でもしたい。同級生とも町の話はよくするので、若い人の交流の場（20代等）を県内外で設けてみてはどうか。そういうものがあるのであれば、教えて欲しい。東京でも食事会のようなものが開催されているが、年齢層が高く、あまり進んで参加できなかった（したかったが）。広報誌も、20代の人（若い世代）の記事があると嬉しい。（10～20代）
- 福島県内に住んでいる時には、知り合いの人たちとの交流によって情報を得たりできましたが、今はそれもなく、毎日の忙しさに情報を得ることを後回しにしています。町の時の友人も、いわきに住んでいたり、郡山に住んでいたりバラバラになっていて、会うのもひと苦労です。集まるイベントなども高齢者ばかりで、若い年代の人たちなどは参加しません。阪神大震災でもコミュニティが問題視されていましたが、双葉郡に関しては本当にバラバラになってしまったと感じます。全国に散ってしまった人たちを結びつける、心を寄せ合える手段を作っていって欲しいと願っています。（50代）
- 町内に戻っている人々の交流会を開き、町で楽しめる施設を作ってもらいたい。浪江、川内、楡葉では、ゆったりできる入浴場があり、高齢者や入居者の憩いの場となっています。また、老人福祉では特養は必ず必要となってくると思う。在宅訪問をする人や看取りを、地域での活動にしなければ町は活気づかず、作業員の町になってしまうと思う、帰ってきた町民は淋しい思いをしていくだろう。いわきに集中しているのは商業店が多くあるからで、便利で楽しい気分だからなのかもしれない。早く全町を帰れるようにして、少しでも人口を増やして欲しい。（60代）

3-7-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-7-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- 不動産の草刈りや除草剤などは、今まで通りでお願いします。県外から草刈りに行くのは無理。空き地バンクに登録しても売れるは事なく、税金はかかるので困っています。（40代）
- 農家だが後継者がいない為、田畑の処分に困っています。同じ宅地の中にある畑（番地は異なる）は、人家が少い為一種農地となっていて、農地転用ができない。現在の状況を考慮し、国や県等はしっかりと考えて欲しい。太陽光発電は農地転用が可能だが、何故だか理由がわからない。あまりにも都合が良いと思う。（60代）
- 夜の森駅前北区に住んでいたが、9年目に入っても避難解除されていません。町外に持ち家があり、現状では夜の森の住宅に住む必要がなくなります。敷地は猪に荒らされています。何十年と暮らした場所ですので、離れるのはつらいです。町とのつながりはこの先もずっと継続していきたいが、土地の有効活用をお願いしたいです。（70代以上）

【自宅の現状（被害状況）について】

- 自宅が帰還困難区域で、立ち入りの度のがっかりしている。動物に家や土地が荒らされ、やりたい放題。雑草対策と併せ、行政には本当に何とかして欲しい。（50代）
- 空き巣に入られ、窓を割られてガラスの破片が散らばり、部屋が荒らされ、湿気でカビが増え、さらに、窓が割られたせいで、獣、猪に入られて物が壊され、荒れ放題になってしまった。一気に帰還の気も失せたような気がする。一部では、ゲートを取り外して自由に出入り出来るようにすると聞いたが、空き巣が増えるのでは？自由に出入りが出来れば、人の目もあり空き巣は入らないだろうというが、人目を避けて夜の活動が増えるのではないかと。もっと防犯カメラや夜警を増して欲しい。（60代）
- 年に何回か自宅に帰り、庭の除草、清掃、お墓参りをします。近くの家は誰も戻らず、解体したところも多く、異様な雰囲気になっています。猪が玄関・ドアに体当たりしてへこませ、入り口付近を掘り起こしたりと、何回行っても同じ光景を目のあたりにする。半年も来なければ大変な事になりそうです。（70代以上）

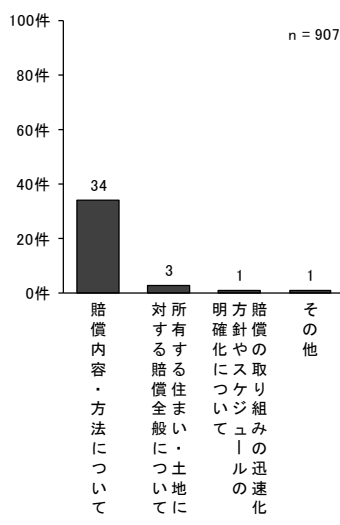
Ⅲ 調査結果

【元の住居や土地に対する税について】

- 県外で既に家を購入した人に対する、富岡町の土地などの税の軽減税の継続をさらに延ばして欲しい。また、ふるさと帰還通行カードの利用期間をさらに延ばして欲しい。(30代)
- 帰還困難区域が解除になった後も、土地の固定資産税については免税をお願いします。(50代)
- 最近の悩みは、居住していた土地(建物は解体済)についてで、売却・賃貸等が望ましいが、現状を鑑みると不可能と思えると同時に、固定資産税が課税されると負の財産を抱えることになり、負担です。(60代)

3-7-4 賠償について

<図表3-7-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[賠償内容・方法について]

- 浪江町の方々が東電の賠償の増額を裁判で求めている。至極当然のことで、富岡町もぜひ取り組んで欲しい。ふるさとを失ったのに、皆さんは何も感じないの？スピーディーとかいう何億もするようなシステムを使用もせず、避難先にも放射能を撒き散らし（日本全土も含む）、我々や仲間たちが被ばくした。なぜ黙っているのか？（40代）
- 補償はどのように解決するのか。いつまでに補償金を出すのか、はっきりした返事が必要だと思います。最終的な結果を待っています。（50代）
- 富岡町に戻る人と戻らない人で、支援対象内外の区別がはっきりしている。迷っていても、対象外の方は失望している。賠償金にしても、避難区域内外で格差があり、本当に残念です。この点で帰る気力が無くなります。（70代以上）

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

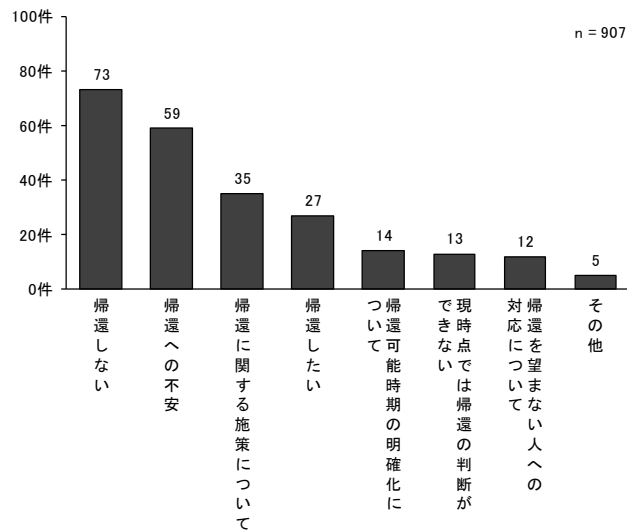
- 夫婦で就業しているため、土地の管理がままならないので、不動産の維持・管理をお願いしたい。土地の管理で戻った時の経費が不担になっているので、追加の賠償をお願いしたい。（60代）
- 帰還困難の土地は買い取りをお願い致します。できる人から自立するように言われ、家を建てました。この建てた家売って帰る事はできません。建てる時は高く取られ、売る時は安くなってしまいます。双葉、大熊ばかりを特別扱いしないで下さい。富岡と浪江も同等の扱いをして下さい。帰還困難の土地を買う人は、いますか？土地の買い取りをして下さい。土地バンクでは売れないです。（60代）
- 住居確保に関する賠償により家（マンション）を購入したが、維持・管理について多額の費用がかかり、永続的に所有することが憂慮される。（70代以上）

[賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

- 東京電力からの補償、賠償については引き続き交渉を続け、早く結果、成果を出して欲しい。（60代）

3-7-5 帰還について

<図表3-7-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還しない】

- もう町の面影がなくなりつつある場所に帰還する必要があるのか。富岡町から定期的に広報等が届くが、希望制にしてはどうか（不必要だと感じている人もいるはず）。「復興」というが、何が復興しているのかわかりにくい。そもそも若い人が町内に帰還しないということは、既に町として成り立っていないのでは？（10～20代）
- インフラや教育環境等の整備に力を入れられていることに関して、努力されていることは十分伝わってきます（ニュースや広報で見えています）。ゆくゆくは町の再建という視点で、ひとつひとつを重ねていくことはわかるのですが、正直な所「戻りたいが戻れない」という答えでかたまっていきます。“イメージ”ではなく、“事実”として生活ができない、我が子を育てられないという考えが強いのが実際のこちらの考えです。元に戻すことだけが町の復興ではないと思います。整備すればするほど、金のバラまきのように感じてしまいます。あきらめようとは思っていませんが、別の利用に視点におく必要があると思います。あの頃に戻りたいけど、現実を考えると無理という、悲しいですがそう言わざるを得ない。（30代）
- 富岡町はようやく終の棲家を建てた場所で、強い愛着があります。残念ながら、年齢や健康状態等を考え、移住させるを得ないとの結論になりました。それでも、富岡町の素晴らしい復興を期待しています。（60代）

【帰還への不安】

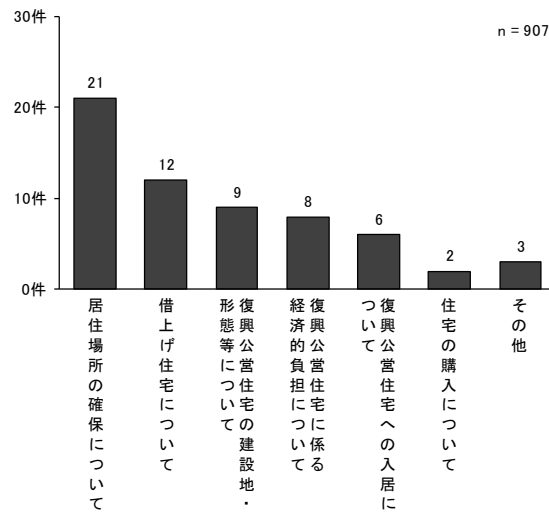
- 町の復興が進んでいるとはいえ、震災前の状態には戻っていない。震災後に生まれた子供は、町にゆかりも何もない。「戻れと」言っている方々は、今の状態の町に永住できますか？（10～20代）
- 帰還しても周りの環境がよくない。猪は減っているものの、近所には昔からの知り合いは皆無で、違う人が住んでいる。また近所の家は壊している家が多く、景色も一変。砂利置き場や作業車輛の置き場になっているので、帰ってきたとしても、幸せであるかどうかわからない。（50代）
- アパート等が沢山増えていたり、元々の住民の家を借りたり、買ったりして住んでいる作業員が大勢いて、治安が（帰還に迷っている理由のひとつ）心配！個人情報保護法があり難しいのかもしれないが、住民に少しでも不安を感じさせる事の無い様に、工事に携わる事業者（東電、JV、etc）に徹底して伝えてもらいたい。（60代）

【帰還に関する施策について】

- 昨年参加したとみRockがとても良いイベントだったので、今後とも（今年も開催されますが）こういったライブイベントなどがあると帰りたくなると思いました。（10～20代）
- 第二原発の廃炉も決まり、長い目で見ての産業をどうするのか。若者達が戻るというよりは、移住をしてくれる様な町作りを考えていかなければと思っています。具体的な案は出てきませんが、魅力のある物が見いだせれば…と常に頭の中で思っています。（50代）
- 富岡町へ戻るための対策を考えるべきである。①役場職員、町会議員は率先して町へ戻る。②戻った町民に対しての優遇処置を考える。③戻りたくても戻れない人の意見を、よく聞く事が重要である。（70代以上）

3-7-6 避難期間中及び将来の住宅について

〈図表3-7-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見〉



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【居住場所の確保について】

- 公営住宅に住んでおり居場所は確保出来ているが、収入を得ると家賃が急激に上がる。これは「働かない方がいいの？」と不信でしかない。一生懸命前を進もうとしているのに、働く事が損のように感じます。戻りたくても、持ち家は廃墟のようで帰れない。家を壊したいが、全壊でないと壊してもらえない。理不尽です。生きる事の意味を失います。住めない草だらけの我が家を見ると、やるせない。本当に理不尽です。(50代)
- 大熊町と同じ帰還困難区域なのに、富岡町は来年の3月で仮設住宅が終わってしまう。何故なのですか。帰還困難区域が解除するまで住居を確保して欲しい。住む所をなんとかして欲しい。援助を希望します。助けて下さい。(60代)
- 富岡町に戻って生活したいとも考えるが、帰町の際に見る町内には、町民の姿を見ることがなく、買い物をして作業の人々ばかりを目にする。町に以前のように人が戻ってくるのか不安に思う。月の半分くらい町へ戻って生活するのでも可能な住居を提供してもらえたら、帰ってみたい。一人暮らしは無理なので、同居家族が可能な時期に暮らせる自由な賃貸住宅を望む。(70代以上)

【借上げ住宅について】

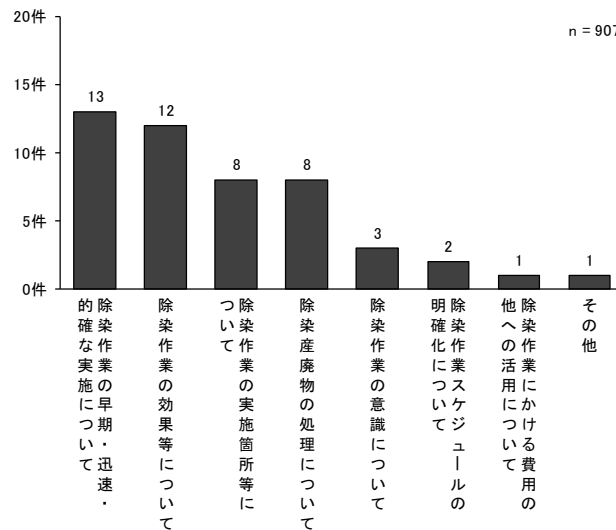
- 帰宅困難区域において、借上げ住宅の無償打ち切りの意味がわかりません。せめて家賃補助等の配慮を検討して欲しいです。(40代)
- 生活基盤が出来ており、あえて元に戻そうとは思っていない。富岡町は帰宅困難区域とそうでない区域同じに考えている様だが、帰宅困難区域の住民には、解除出来るまでは借上げ住宅、ふるさと帰還通行カードを延長するべきだと思う。(50代)
- 借上げ住宅が来年3月で終了しますが、1月～3月は引越し料金が3倍に上がります。その為、早急の引越しをしないとイケません。県は今年の6月末までに引っ越さないと家賃の援助はなくなり、東電も同様です。来年の3月の期限はいかなものかと残念に思います。東電も県も、これですべての終了感が見え見えです。東京での引っ越し料金がどれだけ大変か考えて欲しい。(60代)

〔復興公営住宅の建設地・形態等について〕

- 家族の中で意見がまとまっておらず、子どもの話を一切聞こうとしない家庭環境だったので、現在非常に困っている。富岡町に住民票がある若者に対しての、単身用の復興住宅（アパート）を建設して欲しいです。（10～20代）
- 最初から復興公営住宅を、県も町も一緒に建設できなかったのでしょうか。（60代）
- 公営住宅に入居していますが、高齢者（車イス）と同居できる住居ではなく、施設を探すのが大変である。（60代）

3-7-7 除染について

<図表3-7-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[除染作業の早期・迅速・的確な実施について]

- ・桜並木の除染も大切だろうが、まずは住民の家屋の除染を進めて欲しい！！（50代）
- ・原子力災害から8年経過しているが、帰還困難区域の除染が遅れているのでは。月日が経過するごとに、町民が戻らなくなる。ふるさとの町内には、行事等のみ戻るだけに思います。（50代）
- ・帰還困難区域の整備除線が遅すぎる。私達町民が死亡する前に整備を願う。（70代以上）

[除染作業の効果等について]

- ・環境省、町でも協議しているが、土地については3回除染していても線量が下がらない事や、田畑についても線量が高いので、戻りたいが戻る事が出来ない。又、線量が高いのに固定資産税を取る事はおかしい。今現在避難している団体職員に声を掛け合って、富岡町の復興を見学してもらいましたが、「まだ復興されていない」「住民が少なく原発関係者だけだ」と話を聞きました。「元の町に戻すのには何年かかるかわからないだろう」と言っていました。（50代）
- ・除染の継続的な実施と、除染後の再モニタリングを定期的に変更して欲しい。風雨などで線量が上らない事の確認。双葉郡などで働いている町民も多いので、富岡町内に一戸建の町営住宅を安価で提供して欲しい。平日だけでも生活する人が増えれば、自然に復興が加速すると思います。（50代）
- ・以前の富岡町のように住める事が出来るようにしてもらいたい。放射線量の高い所には帰りたくない。放射線量は下がっていると国は言っているが、全然下がっていないと思っている。（70代以上）

[除染作業の実施箇所等について]

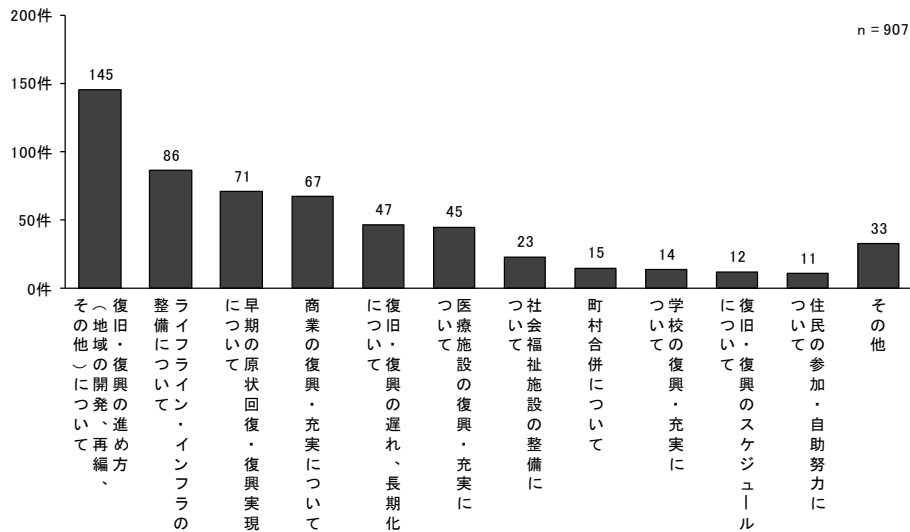
- ・家の敷地にある、雨水の排水溝の底に沈んでいる汚泥にある放射能を除去し、放射線量を測って欲しいと思っているが、国は空中の線量測定だけしかしてくれないと言うのでとても不安である。町で生活する場合は、どうしても排水溝の汚泥、落葉等を掃除することが必ずある。路肩のU字溝なども同じであり、早く放射能を除去してもらうことを望む。（60代）
- ・帰還困難区域全域の除染と、資産の有効活用を希望致します。既に解除になった地域の様に、大切な資産を二束三文で手放したくありません。たとえ解除になっても、活用出来ない資産に税金を払いたくありません。（60代）
- ・里山の除染をお願い致します。（70代以上）

【除染産廃物の処理について】

- 放射性廃棄物の受け入れ（ニューモ）を行い、雇用の拡大を。（４０代）
- どう考えても、帰還困難の場所に最終処分場を造るべきだと思う。（４０代）
- 東日本大震災発生当時、１年間いわき市のアパートに住んでいました。その時の生活は、地獄にいるような思いでした。「富岡から来た家族で、放射能を浴びているから近寄るでない」と言って、朝の２時半頃から高い音を出して掃除を始めたりして、追い出しをかけられました。同じ福島県人なのに生きた心地がしませんでした。福島県の原発に賛成する人がいれば、その人の県に原発を設置し、汚染土を埋めるようにして欲しい。（７０代以上）

3-7-8 復旧・復興について

＜図表3-7-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- ・20代～40代があまり戻りたくないと感じているのは、仕事が無い事が要因として大きいと思う（自身もそう思う）。その世代が抱えている想いを吸い上げる必要があると思う。若い世代が今後富岡町をどうするか、どうしていきたいのかを発言や議論出来る場が欲しい（既にあるのであれば、もっと周知の必要がある）。良くも悪くもその世代が戻らなければ発展は難しい。色々なアイデアやチャンスがあるはずだがそれを活かす仕組み作りが周囲に比べ遅い。ぜひ若い世代を活躍させて欲しい。活躍して行きたい。（30代）
- ・現状の町内を見ると、以前の面影がなくなってしまい、自分が住んでいた町に思えない。地主の方々は競ってアパートを建てるが、住むのは原発作業員か、除染・復興の作業員ばかり。再開したヨークベニマルも中は作業員だらけで、町が復興しても自分が住んでいた町と言う実感がわからない。地元住民がいない町が復興していると言えるのか？帰還するのは高齢者ばかり。それでは町は成り立たないと思いますが、被災者の優遇があるから住民票を移動しないだけで、それが終了したら大半の人はすぐに住民票を変えようと思う。自分もそう思っている。（50代）
- ・町は将来、独自の行政運営が可能なのか？復興事業が終了すれば、農地、山林、空地は荒れていくのか？農地、山林の保全、町の美しい自然を守ることも大切だと思う。（60代）

【ライフライン・インフラの整備について】

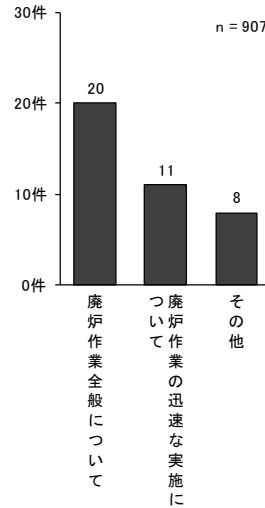
- ・たまに富岡町に行きますが、復興が進んでいるようにはあまり思えませんでした。その時点で富岡に帰りたいかという質問に対し、「Yes」とは答えられるはずがありません。お墓参りにはたまに行きますので、道路や細かい所の整備をお願いしたいと思います。（40代）
- ・約10年間富岡町で生活していましたので、震災後の数年間は帰還したいと思っていました。帰還を諦めたのは、帰還困難区域とはいえ、あまりにもインフラの再整備の遅いことが一番の理由です。水、電気が未だに復旧しない状況では、旧自宅の清掃、整頓が出来ず、帰還を諦めざるを得ませんでした。町の復興を願っています。（70代以上）
- ・常盤線全線が開通すれば復興は進むと思います。期待しています。（70代以上）

【早期の原状回復・復興実現について】

- 小学4年生まで育った大切な故郷です。お祭りを毎年楽しみにしていた記憶があります。機会があればまた行きたいと思います。今は新しい土地で一人暮らしをしています。早く震災前の富岡町に戻る事を願い、私も頑張りたいと思います。(10~20代)
- 町のイベントが多いのはうれしい事ですが、我々障害者は出向く事も出来ず、町のなつかしい人達の顔が、ちらつきます。やはり今の状況は、淋しい思いをする事が多く、早く町の機能が戻る事を祈っています。(60代)
- 町への要望としては、商業・医療機関の再開はされたもののまだまだ不十分で、帰還人口が2年前と比べてもあまり増加しないのは、上記の商業・医療・その他の部分での復興のスピードが遅く、戻りたいが決めかねている住民も多いのではないかと考える。現状を良しとせず、スピードアップして各方面へ積極的に働きかけ、帰還に迷いのある住民に戻る希望がもてる様環境作りを、もっとスピードアップする事を望む。(70代以上)

3-7-9 原発の安全性について

＜図表3-7-9 原発の安全性についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

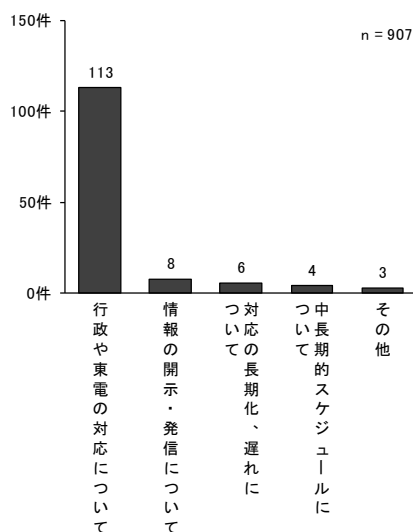
- 戻る予定のない人、退職するまで戻らない人等の家や土地を有効利用して、復興や原発の廃炉に活かしてもらいたいと思います。建物や土地の管理、固定資産税の免除等で、無償で貸してくれる人もいないかと思います（5年か10年単位で）。（40代）
- 廃炉までの長い道のりだと思います。その間に何か危険な状況が再び生じた場合を考えると、とても不安な気持ちになります。対策として例えば緊急避難所（核シェルター）の整備を図ってもらいたいと思います。原発事故災害が現にあった以上は、特に国は考慮することを要望します。（50代）
- 原発の廃炉の町にならないように、県へ新しい産業への町に出来るようにしてもらいたい。（70代以上）

【廃炉作業の迅速な実施について】

- 暮らしを返して。オリンピックの前に原発の終わりを希望する。今も怒りは治まらない。（30代）
- 震災、原子力発電所の事故から約8年半が経過したが、未だ福島第一原発の廃炉の進捗が明確になっていない。デブリの状況から、取り出し～搬出までの工程の中で、再び避難する状況になる事はないのか。また、再び同様の津波が来た場合、現況の発電所内の対策で防ぐ事は可能なのか。その時、東電、国、県、町はどのように対応するのか、出来るのか、未だ不透明に感じます。明確に回答している対策等々はない様に思います。その中で町に戻る事が良いのか、家族の中で意見が分かれています。（50代）
- 安全で安心して生活ができますように望みます。溶け落ちた燃料「デブリ」の処理は、30年～40年もかかるかと聞いています。とても不安です。子孫の事が心配です。（70代以上）

3-7-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-7-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- 復興のゴール（ビジョン）が伝わってこない。他県にしていると忘れられているようにも感じる。国や県、町が考える復興と、住民が考える復興は同じ方向を見ているのか疑問に感じる。（30代）
- 未だに町長、議員、町職員の方々が町内へ帰還していない話を聞くと、まず上の方が帰還して町民に帰還を勧めるのが筋だと思います。（50代）
- 事故前に貸家を所有していたので、個人事業主として賠償請求手続きを進めているが、東電は当然支払うべき賠償にに応じてくれない状況にある。先日担当者に自宅まで来てもらい話し合いをしたが、一括賠償後の支払いを認めただのは、わずか1～2%と説明。誠意ある賠償支払いを指導して欲しい。（70代以上）

【情報の開示・発信について】

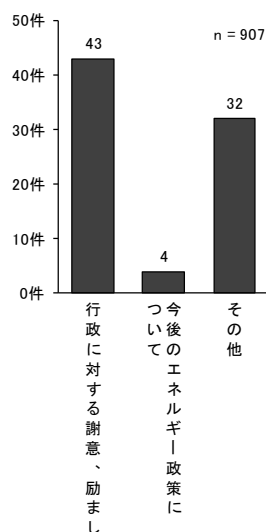
- 福島県は汚染されているので、その事実をきちんと伝えて欲しい。小さい子供が住める環境ではない。（10～20代）
- 福島の安全性を、もっと県外・国外へアピールして欲しい。いつまでも「フクシマ」「原発」だけが1人歩きしているように感じる。（30代）
- 第二原発の廃炉は決まったようですが、この件について、県知事は県民の総意と言っておりますが、私は第二原発の廃炉は当然と考えておりませんでした。なぜなら第二原発の廃炉に関しての説明が何もされていないのではないのでしょうか？使用・未使用の燃料の処理はどうするのですか。県外に持ち出せますか。それとも町内に保管するのでしょうか。そうなれば、富岡町・楡葉町は、大熊町・双葉町と状況は同じではないのでしょうか。安全になったので帰還させておいて、今更「核燃料は町内に保管しておきます」はないと思います。何故、廃炉の決定の前に事前に町民に十分な説明がないのでしょうか？（60代）

[対応の長期化、遅れについて]

- 既に住宅を取得しているので富岡町へ戻る事はありませんが、30年近く双葉郡で生活をしてきましたので、この先の事には気になります。町や双葉郡がどうなるのか。これから人口減少となるのは確実ですから、若者が少ない町がこれから町として機能して行くのか。常に「原発」の文字がついてくる双葉郡がそれぞれの町として成り立って行くのか。いわき市に住んでいる私達も、いずれはいわき市民として住所も変わって行くと思います。時折帰る町があれば足も向きますが、果して20年～30年後はどうなっているのか、見通しもつかない状況では希望は持てません。すべてが初のことなので要望を言っても無理があると思います。いつでも帰れる場所がある事が希望です。たとえ町というものがなくても、思い出の地に立つ事ができる様にして欲しいです。(50代)
- 富岡町も、もうすぐ全てを避難解除にもって行くのだろうが、いくら線量が下がっているとはいえ、原発が廃炉になるまで何十年も先の話。いつまた何が起きるかわからなく、汚染水を海に流すようなことも考えている様だが、太平洋海域の魚は一切食べたくなくなり、未だに線量が怖い。とにかく早く原発をなくして欲しい。(60代)
- 原発事故から廃炉までが長すぎです。(60代)

3-7-11 その他

<図表3-7-11 その他についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 町の祭り（さくら祭り・さくらYOSAKOI・うちわ祭り・いかだ祭り・火祭り・えびすこう市、etc）を風化させたくない。現在富岡に住んでいなくても、古里を想う仲間がたくさんいます。家族を作った友人もいます。住んでいなくとも気軽に足を運べるような環境が欲しい。家族を連れて遊べるアスレチックや宿泊施設、飲食店等…。我々の富岡町に常日頃尽力して頂き、有難うございます。（10～20代）
- 富岡を離れましたが、震災以降富岡のことを忘れたことはありません。富岡が今後、ますます復興していくことを願っています。役場の方をはじめ、関係する方々の努力には頭が下がる思いです。（40代）
- 行政運営に係わる全ての方々へ、感謝しています。帰省の都度目にする風景が、住んでいた時と変わっている事、新しい建物が増えて復興の現実が目に見えてわかる事、ありがたいなと思いつつ、住み慣れた土地、家屋の解体、これも現実。我が家も、家族で刻んだ時の全てを、解体で失くすことになりました。でも、長年慣れ親しんだ富岡は故郷で、変わりはなくお世話頂いている役場職員の方々の温かさに、町民として、感謝です。（70代以上）

【今後のエネルギー政策について】

- 全国原発の廃炉、そして再生可能エネルギーの拡充。（40代）
- 早く原発ゼロの国にして欲しい。太陽光発電が増えて、原発に頼らなくても賄えるのではないか。（50代）
- 富岡町をエネルギー基地の町として推進する。富岡町の農地（田・畑）を活用し、大規模ソーラー発電する。その電気を東京電力の富岡変電所、及び送電線を活用し東京に送り込む。また、地元でこの電気を活用し産業を育成する。（70代以上）

IV 參考資料

4-1 使用調査票

富岡町 住民意向調査

※主に、住環境や雇用状況についてお伺いします。

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- 震災発生時、富岡町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ご回答は、**世帯の代表者の方**にお願いします。
- 現在、世帯が何か所かに分かれてお住まいになられている場合には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方に、ご回答をお願いします。

● ご回答方法

- ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をされた場合は、（ ）内に具体的な内容もご記入ください。
- の中に記入をお願いしている質問には、具体的な地名や数値などをご記入ください。
※調査票は無記名でお願いしております。

● 情報の取り扱いについて

- 回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

- ご記入済みの調査票は、9月9日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-912-936

[設置期間：8月27日（火）～ 9月9日（月） 平日10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

Tel 024-521-8617

富岡町

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622番地の1

富岡町役場 企画課

フリーダイヤル 0120-33-6466

Tel 0240-22-2111

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 1 性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

【すべての方に伺います。】

問 2 あなたの現在の年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 8. 50~54歳 |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳 |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上 |

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------------|-----------|---------|-----------------------------|
| 1. 杉内 | 6. 夜の森駅前北 | 15. 上郡 | 24. 深谷 |
| 2. 仲町 | 7. 夜の森駅前南 | 16. 太田 | 25. 小良ヶ浜 |
| 3. 高津戸 | 8. 新町 | 17. 下郡山 | 26. 栄町 |
| 4. 下千里 | 9. 赤木 | 18. 毛萱 | 27. 新夜ノ森 |
| 5. 大菅 | 10. 上本町 | 19. 仏浜 | 28. 不明(わからない場合は住所を記載してください) |
| →大菅の地区名
(○は1つ) | 11. 王塚 | 20. 駅前 | () |
| a. 蛇谷須 | 12. 本町 | 21. 西原 | |
| b. 蛇谷須以外 | 13. 岩井戸 | 22. 中央 | |
| | 14. 清水 | 23. 小浜 | |

【すべての方に伺います。】

問 4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、震災発生当時の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)高校生	人
イ)小学生	人	オ)15歳以上65歳未満 (中学生・高校生を除く)	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方に伺います。】

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | { 具体的に |
| 5. 公営住宅 | } |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

【すべての方に伺います。】

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

(1) 震災発生当時のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------|-----------------|---------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 7. 学生 | } ⇒ 問7へ |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 8. 無職(職を探していない) | |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探している) | } |
| 4. 団体職員 | 10. その他 | |
| 5. 公務員 | { 具体的に | |
| 6. パート・アルバイト | } | |

【就業していた方(問6(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)に伺います。】

(2) 震災発生当時のあなたの業種(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業 | 9. 金融・保険業 |
| 3. 漁業 | 10. 医療・福祉 |
| 4. 建設業 | 11. 教育 |
| 5. 製造業 | 12. 公務 |
| 6. 電気・ガス・水道業 | 13. その他 |
| 7. 運輸業 | { 具体的に |
| | } |

【就業していた方(問6(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)に伺います。】

(3) 震災発生当時の勤務先の場所(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 杉内 | 8. 新町 | 15. 上郡 | 22. 中央 |
| 2. 仲町 | 9. 赤木 | 16. 太田 | 23. 小浜 |
| 3. 高津戸 | 10. 上本町 | 17. 下郡山 | 24. 深谷 |
| 4. 下千里 | 11. 王塚 | 18. 毛萱 | 25. 小良ヶ浜 |
| 5. 大菅 | 12. 本町 | 19. 仏浜 | 26. 栄町 |
| 6. 夜の森駅前北 | 13. 岩井戸 | 20. 駅前 | 27. 新夜ノ森 |
| 7. 夜の森駅前南 | 14. 清水 | 21. 西原 | 28. 富岡町外 |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 富岡町 | 5. 福島県外 →具体的にご記入ください。 |
| 2. 浜通り(富岡町を除く) | <input type="text"/> (都・道・府・県) |
| 3. 中通り | <input type="text"/> (市・町・村) |
| 4. 会津 | |

【すべての方に伺います。】

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15歳以上65歳未満 (中学生・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

【すべての方に伺います。】

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償) | 6. 民間賃貸住宅(有償) |
| 2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借上げ型。無償) | 7. 給与住宅(社宅など) |
| 3. 富岡町営の災害公営住宅(有償) | 8. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 4. 福島県営(本宮市・桑折町・大玉村・川内村営を含む)の復興公営住宅(有償) | 9. 親戚・知人宅 |
| 5. その他の公営住宅(「3」と「4」は除く。有償) | 10. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| | 11. その他(具体的に) |

【すべての方に伺います。】

問10 震災発生当時ご一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. 世帯でまとまって居住(一人暮らし含む) ⇒ 問11へ | 3. 合計3か所に分散 |
| 2. 合計2か所に分散 | 4. 合計4か所以上に分散 |

【分散してお住まいになられている方(問10で「2」から「4」と回答した方)に伺います。】

問10-1 分散してお住まいにならざるを得なかった理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 仕事(勤務先)の関係 | 7. 親戚・知人・友人関係 |
| 2. 育児・学校教育の関係 | 8. 住居確保の関係 |
| 3. 医療環境の関係 | 9. 放射線に対する不安 |
| 4. 介護環境の関係 | 10. その他(具体的に) |
| 5. 福祉環境の関係 | |
| 6. 生活の利便性関係 | |

【すべての方に伺います。】

問 11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。

(1) 現在のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 7. パート・アルバイト | } ⇒ <u>問 12 へ</u> |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中) | 8. 学生 | |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) | |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) | |
| 5. 団体職員 | 11. その他 | 【具体的に |
| 6. 公務員 | | |

【就業している方(問11(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)に伺います。】

(2) 現在のあなたの業種(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------------|-------|
| 1. 農業(畜産を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | |
| 2. 林業 | 9. 金融・保険業 | |
| 3. 漁業 | 10. 医療・福祉 | |
| 4. 建設業 | 11. 教育 | |
| 5. 製造業 | 12. 公務 | |
| 6. 電気・ガス・水道業 | 13. その他 | 【具体的に |
| 7. 運輸業 | | |

将来に関するご意向についてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

問 12 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「5」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 既に富岡町で生活している | ⇒ 問 13 へ |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ 問 15(7 ページ) へ |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒ 問 21(9 ページ) へ |
| 4. 戻りたいが、戻ることができない | } ⇒ 問 24(11 ページ) へ |
| 5. 戻らないと決めている | |

問 13～問 14 (5～6 ページ) は、問 12 の富岡町への帰還について、「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】

問 13 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 放射線量が低減されたこと | 8. 双葉警察署及び富岡消防署が再開したこと |
| 2. 水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと | 9. 近くに勤務先があること |
| 3. 商業施設が再開したこと | 10. 働く場・雇用機会があること |
| 4. 自宅や災害公営住宅が整備されたこと | 11. 気持ちが安らぐこと |
| 5. JR や路線バス等の公共交通機関が再開したこと | 12. 友人・知人等が町内に居住していること |
| 6. 医療機関が開院したこと | 13. その他 [具体的に] |
| 7. 役場機能が再開したこと | |

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方に伺います。】

問 14 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|---|------------------|------------|
| 1. 防犯体制の強化 | 9. 雇用確保の支援 | ⇒ 問 14-3 へ |
| 2. 有害鳥獣対策の強化 | 10. 医療機関(診療科)の拡充 | ⇒ 問 14-4 へ |
| 3. 鉄道などの公共交通機関の再開・充実 | 11. 介護・福祉施設の充実 | ⇒ 問 14-5 へ |
| 4. 町内コミュニティ活動(行政区等の活動も含む) | 12. 保育・教育環境の充実 | ⇒ 問 14-6 へ |
| 5. 公営住宅・居住環境の整備 | 13. 見守り活動の継続 | ⇒ 問 14-7 へ |
| 6. 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取り組み、放射線量低減対策 | 14. その他 [具体的に] | |
| 7. 商業施設の再開・充実 | ⇒ 問 14-1 へ | |
| 8. 生涯学習機会の創出 | ⇒ 問 14-2 へ | |

⇩ 問 14 で「1」から「6」を選んだ方は問 29(13 ページ) へ

【問 14 で「7. 商業施設の再開・充実」と回答した方に伺います。】

問 14-1 町内の買い物環境で、充実させてほしいものを教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 小売店の数 | 4. 電化製品の販売 |
| 2. 衣類の販売 | 5. その他 [具体的に] |
| 3. 医薬品の販売 | |

【問 14 で「8. 生涯学習機会の創出」と回答した方に伺います。】

問 14-2 生涯学習機会で、どのようなものを希望されますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------|--------|-------------|
| 1. 文化・芸術活動を主としたサークル等の活動機会 | 3. その他 | 〔 具体的に
〕 |
| 2. スポーツ等を主とした活動機会 | | |

【問 14 で「9. 雇用確保の支援」と回答した方に伺います。】

問 14-3 雇用確保の支援として、どのような支援施策を希望されますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|---------------------|-------------|
| 1. 町内の求人情報の広報・周知 | 4. 就業体験・就労環境を確認する機会 | 〔 具体的に
〕 |
| 2. 町内立地企業等の説明会開催 | 5. その他 | |
| 3. 相談窓口の広報・周知 | | |

【問 14 で「10. 医療機関（診療科）の拡充」と回答した方に伺います。】

問 14-4 医療機関の拡充として、どのような医療機関・診療科の開院を希望されますか。特に必要だと考える診療科に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | | |
|---------|--------------|---|
| 1. 内科 | 6. 耳鼻咽喉科 | |
| 2. 外科 | 7. 皮膚科 | |
| 3. 小児科 | 8. 歯科(口腔外科) | |
| 4. 産婦人科 | 9. 整形外科 | |
| 5. 眼科 | 10. その他(具体的に |) |

【問 14 で「11. 介護・福祉施設の充実」と回答した方に伺います。】

問 14-5 介護・福祉施設として、どのような施設の立地・再開を希望されますか。(○は3つまで)

- | | | |
|--------------------------|------------------------------|-------------|
| 1. 特別養護老人ホーム | 7. 障がい者(児)支援施設(短期入所、児童発達支援等) | 〔 具体的に
〕 |
| 2. 養護老人ホーム | 8. 障がい者職業訓練施設(就労支援等) | |
| 3. 軽費老人ホーム(ケアハウス) | 9. 障がい者共同生活援助施設(グループホーム) | |
| 4. 老人デイサービスセンター | 10. 障がい者相談支援事業所 | |
| 5. 老人短期入所施設(ショートステイ) | 11. その他 | |
| 6. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) | | |

【問 14 で「12. 保育・教育環境の充実」と回答した方に伺います。】

問 14-6 保育・教育環境として、どのような支援や施設整備を希望されますか。(○は3つまで)

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|---|
| 1. 地域住民との交流イベント | 5. 共働きやひとり親家庭の子育て支援 | |
| 2. 親子での農業体験や漁業体験 | 6. 小・中学生の学習サポートや学童保育の手伝い | |
| 3. 子どもが安心して遊べる環境の整備(屋内運動場・公園遊び場等) | 7. 子育て世代のネットワークづくり | |
| 4. 歴史・伝統継承の場・勉強会 | 8. スポーツを通じた世代間・地域間の交流 | |
| | 9. その他(具体的に |) |

【問 14 で「13. 見守り活動の継続」と回答した方に伺います。】

問 14-7 現在行われている見守り活動についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| 1. 今のままでよい | 3. 見守り体制を強化して欲しい |) |
| 2. 訪問回数を増やして欲しい | 4. その他(具体的に | |

➡ 問 29(13 ページ)へ

問 15～問 20 (7～9 ページ) は、問 12 の富岡町への帰還について、
「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 15 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている | 3. 現在検討しているところ |
| 2. 家族一部での帰還を考えている | 4. 検討していない |

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 16 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 仕事の見通しがある | ⇒ 問 16-1 へ |
| 2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい | ⇒ 問 17-1 へ |
| 3. 仕事はしない | ⇒ 問 18(8 ページ)へ |

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】

問 16-1 見通しがたっている仕事の場所(勤務先)はどこですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|-------------------|---|
| 1. 富岡町 | 2. 富岡町外(具体的な市町村名) |) |
|--------|-------------------|---|

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方に伺います。】

問 16-2 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-------------------|----------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 6. 電気・ガス・水道業 | 11. 教育 |
| 2. 林業 | 7. 運輸業 | 12. 公務 |
| 3. 漁業 | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | 13. その他 (具体的に) |
| 4. 建設業 | 9. 金融・保険業 |) |
| 5. 製造業 | 10. 医療・福祉 | |

↳ [問 18\(8 ページ\)へ](#)

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。】

問 17-1 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-------------------|----------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 6. 電気・ガス・水道業 | 11. 教育 |
| 2. 林業 | 7. 運輸業 | 12. 公務 |
| 3. 漁業 | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | 13. その他 (具体的に) |
| 4. 建設業 | 9. 金融・保険業 |) |
| 5. 製造業 | 10. 医療・福祉 | |

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方に伺います。】

問 17-2 どのような就労形態を希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--|
| 1. 正社員 | |
| 2. パート・アルバイト | ⇒ (就業を希望する時間帯をご記入ください <記入例 10:00～14:00>) |
| 3. その他(具体的に) | |

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】

問18 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1. 自宅(建て替える場合を含む) | ⇒ 問19へ |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに戸建の持ち家を建てたい | } ⇒ 問18-1へ |
| 3. 自宅とは別の場所に中古物件を購入したい | |
| 4. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい | |
| 5. 災害公営住宅・借上型町営住宅(町が町内に整備した住宅) | ⇒ 問18-2へ |
| 6. 復旧予定の町営住宅(王塚団地(戸建)) | } ⇒ 問19へ |
| 7. 復旧予定の町営住宅(新田団地(集合住宅)) | |
| 8. 民間賃貸住宅(戸建) | |
| 9. 民間賃貸住宅(集合住宅) | |
| 10. 給与住宅(社宅など) | |
| 11. 家族のどなたかのお住まい・実家 | |
| 12. 親戚・知人宅 | |
| 13. その他 { 具体的に | |
| 14. 現時点では判断できない | |

【問18で「2」「3」「4」と回答した方に伺います。】

問18-1 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 自宅周辺の放射線量の高さが心配だから | 6. 自宅が荒廃しているから |
| 2. 自宅周辺に住む人が少ないと思うから | 7. 自宅を解体したから |
| 3. 富岡町内の新たな場所で生活を開始したいから | 8. その他 { 具体的に |
| 4. 今後、津波の被害を受けることが心配だから | } |
| 5. 自宅が帰還困難区域内にあるから | |

⇨ 問19へ

【問18で「5」と回答した方に伺います。】

問18-2 富岡町が整備した災害公営住宅・借上型町営住宅のうち、最も希望する団地はどこですか。（○は1つ）

※この質問への回答により、入居申し込み等に影響があるものではありません

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 曲田第1団地(戸建タイプ・災害公営住宅) | 3. 栄町団地(マンションタイプ・災害公営住宅) |
| 2. 曲田第2団地(マンションタイプ・災害公営住宅) | 4. 上の町団地(マンションタイプ・借上型町営住宅) |

【問12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】

問19 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 更なる放射線量の低減 | 8. 放射線リスクコミュニケーションの充実 |
| 2. 商業施設の再開、充実 | 9. 帰還困難区域の早期復興 |
| 3. 医療、介護・福祉施設の再開や新設 | 10. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出 |
| 4. 教育、保育環境の整備 | 11. 子ども・高齢者等に対する見守り活動の充実 |
| 5. 公共交通機関の充実 | 12. その他 { 具体的に |
| 6. 雇用確保・就業サポート | } |
| 7. 更なる防犯防火対策の強化 | |

IV 参考資料

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。】

問 20 富岡町に戻るまで(避難生活を継続している期間)に、どのような施策が必要と考えますか。
(○はいくつでも)

1. 町外での行政サービスの継続(申請受付窓口や検診、健康相談等)
2. 町外コミュニティの運営サポート(広域自治会等)
3. 町外における交流の場の整備・継続(交流サロン等)
4. 放射線管理の徹底(内部被ばく検査、健康手帳、線量計配布等)
5. 放射線に関する学習会や相談会の開催
6. 町内不動産の維持管理(見守りや草刈り等)に関するサポート
7. 町内不動産の有効利用(空き家・空き地バンク等)に関するサポート
8. その他(具体的に)
9. 特にない

問 29(13 ページ)へ

問 21～問 23 (9～11 ページ) は、
問 12 の富岡町への帰還について「3. まだ判断がつかない」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 富岡町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 富岡町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他 (具体的に)

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 鉄道等公共交通機関の充実
2. 医療機関(診療科)の拡充
3. 介護・福祉施設の充実
4. 保育・教育環境の充実
5. 商業施設の充実
6. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
7. どの程度の住民が戻るかの状況
8. 中間貯蔵施設の情報
9. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
10. 放射線の人体への影響に関する情報
11. 働く場の確保の見通し ⇒ **問 22-1** へ
12. 公営住宅・居住環境の整備
13. 住宅確保への支援に関する情報
14. 有害鳥獣対策の強化
15. 帰還困難区域内の復旧・復興計画・「特定復興再生拠点区域復興再生計画」の進捗
16. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出
17. その他(具体的に)
18. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
19. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

⇨ **問 22** で「11」に○をつけなかった方は**問 23**(11 ページ)へ

【問 22 で「11. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】

問 22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------------|----------------|
| 1. 農業(畜産を含む) | 6. 電気・ガス・水道業 | 11. 教育 |
| 2. 林業 | 7. 運輸業 | 12. 公務 |
| 3. 漁業 | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 | 13. その他(具体的に) |
| 4. 建設業 | 9. 金融・保険業 | |
| 5. 製造業 | 10. 医療・福祉 | |

【問 22 で「11. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】

問 22-2 仕事の場所(勤務先)はどこを希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------------------|
| 1. 富岡町 | 2. 富岡町外(具体的な市町村名) |
|--------|--------------------|

【問 22 で「11. 働く場の確保の見通し」と回答した方に伺います】

問 22-3 どのような就労形態を希望しますか。(○は1つ)

1. 正社員
2. パート・アルバイト ⇒ (就業を希望する時間帯をご記入ください < 記入例 10:00~14:00 >)
3. その他(具体的に)

IV 参考資料

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 23 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う ⇒ 問 23-1 へ 2. わからない 3. そう思わない

↳ 問 23 で「2」「3」を選んだ方は問 29(13 ページ)へ

【問 23 で「1. そう思う」と回答した方に伺います。】

問 23-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. まちづくりへの参加機会の創出
【具体的に | 4. 町内での宿泊施設・交流施設の充実 |
| 2. 住民参加行事の充実 | 5. 継続的な町からの情報提供 |
| 3. 町内で働く場の整備 | 6. 住民間交流機会の企画・実現・サポート |
| | 7. その他 【具体的に |

↳ 問 29(13 ページ)へ

問 24～問 28 (11～12 ページ) は、
問 12 の富岡町への帰還について「4. 戻りたいが、戻ることができない」、
「5. 戻らないと決めている」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

問 24 富岡町への帰還について「戻ることができない」、または「戻らない」理由を教えてください。
(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 自宅が帰還困難区域内だから
5. 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 富岡町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 公営住宅の整備が進んでいないから
10. 富岡町外への移動交通が不便だから
11. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商業施設などが不足しているから

【今後の生活に関わるもの】

16. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
17. 子供の遊び場(屋内・屋外)が無いから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
20. 鳥獣による被害が心配だから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. すでに生活基盤ができているから
25. その他 【具体的に

復興公営住宅についてお伺いします。

◆復興公営住宅とは◆

「将来の帰還に向け、仮設住宅等から安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するため、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※富岡町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方に伺います。】

問 29 福島県営の復興公営住宅(富岡町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------|------------|
| 1. すでに入居している | 4. 入居を希望しない | } 判断できない理由 |
| 2. 入居の申し込み中である | 5. 判断できない | |
| 3. 今後、入居の申し込みをしたい | | |
- ⇒ 問 29-1 へ

└─┬─> 問 29 で「1、2」「4、5」を選んだ方は問 30 へ(14 ページ)へ

【問 29 で「3. 今後、入居の申し込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 29-1 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|------------------------------|
| 1. 福島市 | 6. 二本松市 | 10. 福島県内のその他の市町村 |
| 2. 会津若松市 | 7. 田村市 | →具体的にご記入ください |
| 3. 郡山市 | 8. 南相馬市 | <input type="text"/> (市・町・村) |
| 4. いわき市 | 9. 本宮市 | |
| 5. 白河市 | | |

※この質問への回答により、入居申し込み等に影響があるものではありません

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8617

【すべての方に伺います。】

問 30 日ごろ、富岡町の行政情報やイベント開催情報を得るために、どのようなツールを活用していますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 広報紙「広報とみおか」 | 7. 新聞 |
| 2. 町公式ホームページ | 8. ラジオ |
| 3. 町公式フェイスブック | 9. 家族・知人・友人 |
| 4. 町公式 LINE | 10. その他 |
| 5. とみおかアプリ | 〔 具体的に
〕 |
| 6. テレビ・CM | |

【すべての方に伺います。】

問 31 行政からの情報で強い関心があるものは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 身近な出来事
〔 具体的に
〕 | 6. 防火・防災・災害情報 |
| 2. 各種手続きに関する事 | 7. 医療・福祉・介護に関する事 |
| 3. 町内の状況(復旧・復興) | 8. 子育て・教育に関する事 |
| 4. 観光・イベント情報 | 9. 生涯学習・スポーツ・施設利用に関する情報 |
| 5. 町長・職員メッセージ | 10. その他 |
| | 〔 具体的に
〕 |

【すべての方に伺います。】

問 32 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書き下さい。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
9月9日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

**富岡町 住民意向調査
報告書**

令和2年3月

復興庁 福島県 富岡町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

